

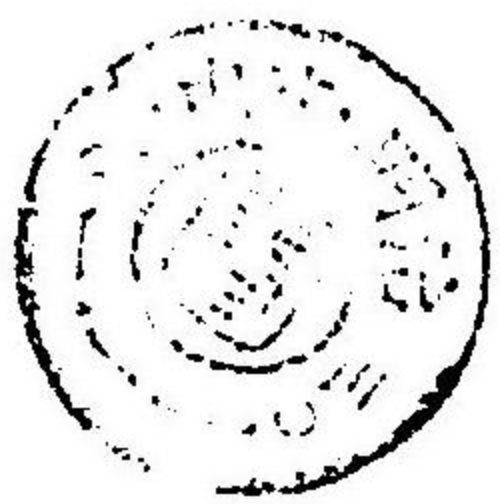
英國 多羅句氏原著
日本 同情會員譯述

刑罰及犯罪豫防論 全

發刊 同情會

77-95

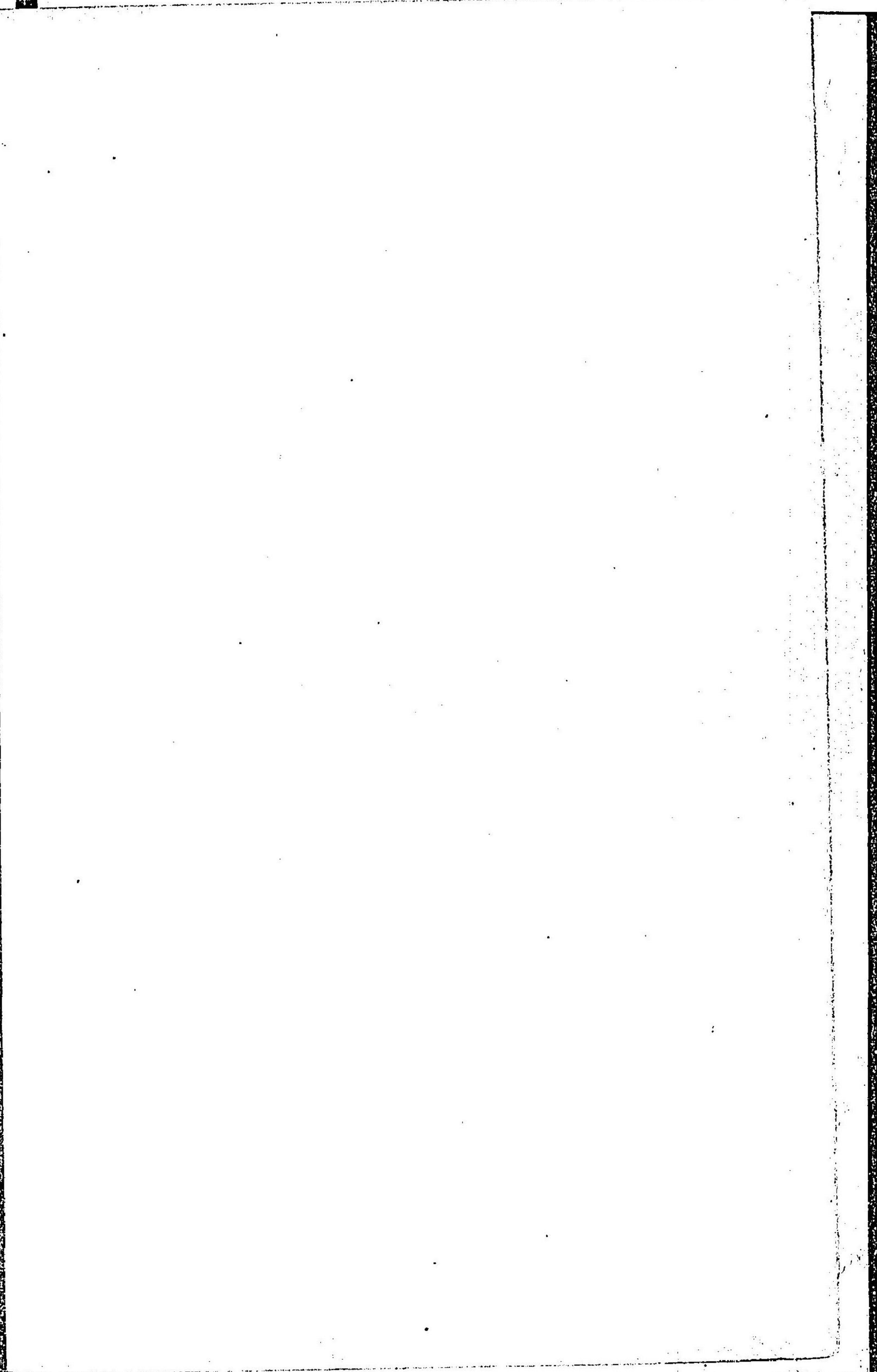
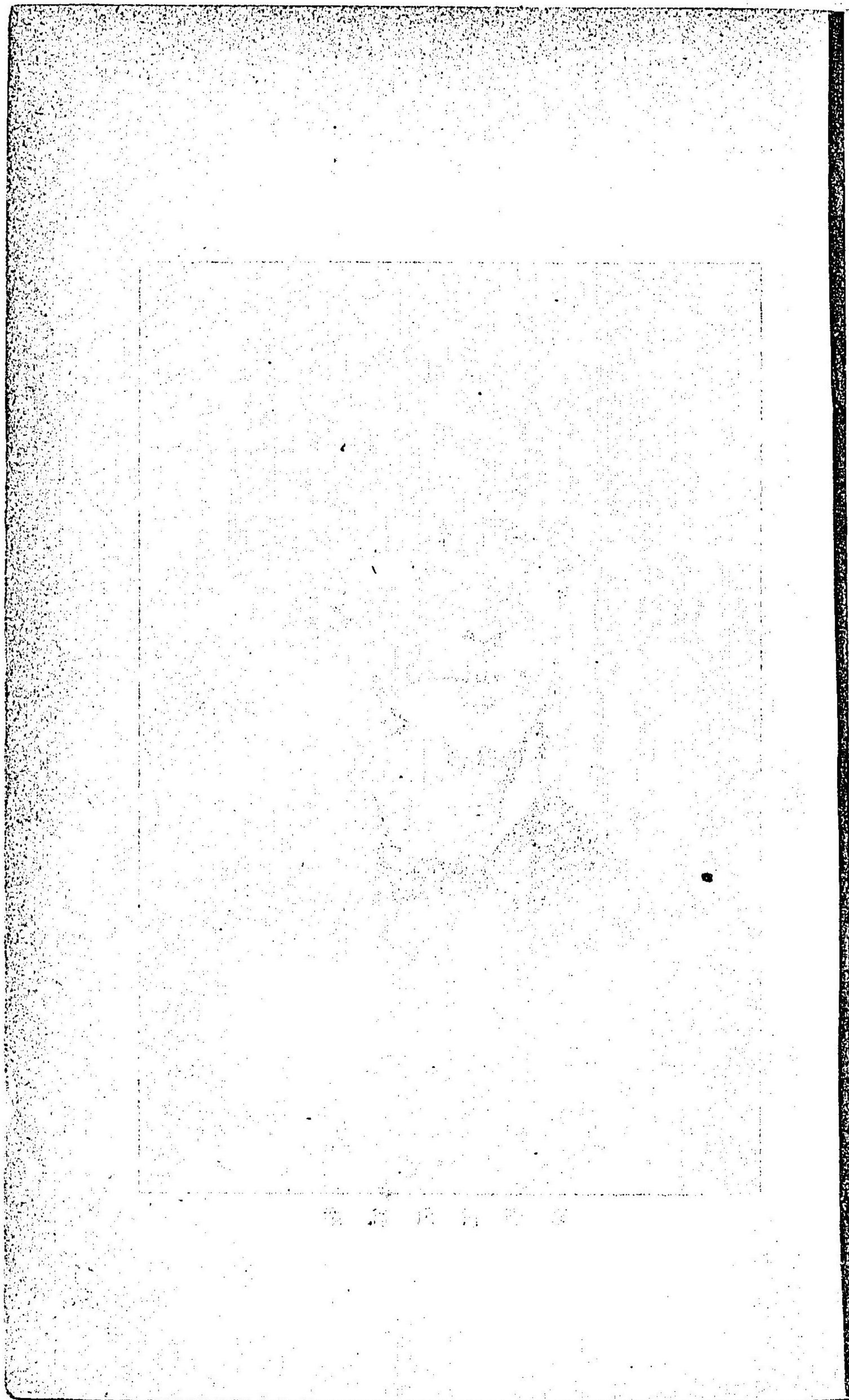
英國 多羅句氏原著
日本 同情會員譯述



刑罰及犯罪豫防論 全



發刊 同情會





多羅句氏肖像

序

維新以來年を閲する僅かに三十年滔々として流れ來る文明の
進歩は恰も急激なる河水の如く古制古格を洗滌し去り改良の
聲革新の響きは殆んど社會の根底に透徹して將に餘蘊なから
んとす於是乎文物燦然東洋の日本たるの名は早く既に過ぎ去
りて將に世界の日本たらんとす豈亦偉ならずやそれ然り然り
と雖ども世上の獨り監獄改良を唱道せる者未だ甚だ多からざ
るは抑何ぞや是れ乃ち文明の一汚點たるにあらざるなき乎ギ
ゾー曰く一國文明の程度は監獄の良否によつて卜するを得と
蓋し千古の格言なる革新の聲改良の實をして乞ふ進んで闇黒
隠々たる獄裡にまで透徹するを得せしめよ

タラック氏は獄事社會に於ける木鐸にして其英名隆々今や四

海を壓せんとす而して其論公正其識斬新その著能く世に行はる刑罰及犯罪豫防論の如きは特に氏が経営苦心の結果にして章を分つ事十有七刑罰の根底を論じ犯罪豫防の心髓を究め免囚保護幼年感化等に論及し而して又歐米における現今行刑上その弊害を摘發論究し敢て忌憚する所なし然かも徒らに學理に偏せず經驗に流れざるは眞に斯業に於ける良著たるに背かずと云ふべし

今や世上漸く監獄改良を唱道し來るもその智識と經驗とに乏しく好著を待つとの急なるに際し同情會は大に此に見るありタラック氏の刑罰及犯罪豫防論を翻譯上梓して世に公にせんとするは實に此れ好期を得たるものにして恰も燃なんとする薪に油を注きたるが如き乎蓋し此れ監獄改良に於ける好指鍼た

るや決して疑ふべくもあらぬ也この書の翻譯せらるゝ既に佳なり而して同情會より上梓せらるゝに至りては更に大に佳なるものあつて存す。抑同情會なるものは北海の僻隅に呱呱の聲を放ちたるものにして世上此を知るもの甚た少なく斯業に關係を有する人士も尙大に注目せしなきを疑ふ然れども同情會が斯業に効果を與へたるは今や決して掩ふべからざる事實にして乃ち原胤昭氏留岡孝助氏の如き實にこの會の主唱者にてありき世人は罪囚に座するに残忍酷薄恰も野獸を遇するが如き時に際し愛憐同情の念を以て能く彼等に對し其の會に冠するに同情の二字を以てせしが如き余輩實にその識見の高くして偉なるを嘆美せずんばあらざる也クローチー曰く監獄事業の大根底は可憐なる囚人に一掬の涙を注く同情の心なり如何

四
に失敗し墮落したるものも忽ち警起奮興すべしと嗚呼此の心あり以て罪囚を悔悟遷善せしむるに足る思ふに同情會がこの書を翻譯上梓せる只に社會問題の好材料監獄改良の好指鍼たるを期せしのみならず亦將に衷心禁し難き罪囚に對する同情の意に出でざるなき乎余輩がこの書の翻譯を佳とし特に同情會よりの上梓を佳とするもの實に此れが爲めのみかくの如くして此の書出つ世の斯業に志あるの士この書によつて監獄改良の急務を語り免囚保護幼年感化の必要を察し併せて罪囚に對する同情の念を興起するを得ば一は以て著者と同情會との本志を全ふし一は以て文明の汚點を洗滌するに至るべし然らば乃ち燦然たる文物一層の光輝を發揚するを得て眞に日本をしてその外形に於ても内容に於ても共に世界の日

本たるに耻なからしむるに足らん乎聊か蕪辭を叙して卷首に辨すと云爾

小河岳洋生識

本書は著者の博學卓見且つ實驗を細に精究し以て刑罰及犯罪豫防の要を論述せられたるものにして實に行刑方法の精粹を新に論じたるものなり故に曩日吾か同情會月刊の獄事叢書に掲げて其一端を世に公にするに臨み本著に行刑新論の名を冠せたるは其意義を譯出したるにあるものなり、今全編を上梓するに當り原名を直譯して刑罰及犯罪豫防論と云ふ讀者乞ふ之を諒せよ

出版者 敬白

多良旬氏行刑新論

自序

英國の俚諺に「醫師にして相互に異論あるときは誰れか裁斷する者あらんや」とあり此語は著しく犯人處遇、犯罪撲滅に關する複雑なる問題、加ふるに貧窮及び惡弊の減少に關する難題、解明の困難を説破したるものと謂ふべし。本書の著者、多年獄務に従事し各種の問題に關し各自の持説を有する實際家の雜多なる經驗、特殊なる意見を聞く毎に未だ曾て此俚諺を想起せざんばあらざるなり。而して更に内國及び外國に於ける普通監獄、感化監獄其他の諸制度を躬自ら巡視して又犯人處遇法の箇々異なるを認識せざんばならず、斯く其意見及び實際に差異あるに拘はらず或る點に於ては經驗上深く尊重すべきもの存するあるを認む、本書は實に此精粹なるものを蒐集して讀者を裨補せんとするにあり。

二十年以上の間著者は「ハワード協會」(犯人處遇及犯罪撲滅の最良法講究の爲め千八百六十六年ロンドンに創立せられたる會)の書記として、親しく醫咳に接し、又通信によりて刑事及監獄諸制度の官人に交誼を辱ふ

し討究せしのみならず、豫て又斯る問題に有力なる人と交通せり。

斯る人々の意見を幾度も引用せしは此道の學者及び實際家に慙からざるの興味を興ふるを信ず、著者の助力と注意を蒙りしを感謝すべき重なる人々は英國のテイ、エル、ペアウイク、マイカー、フレデリック、ヒル、エキス、シエリイフ、ウァートン、サア、ウオルター、クロフトン、サア、ジョセフ、ダブリュー、ピース、ダブリュー、エン、ハンコック、フランシス、ピック、エドマンド、ストルジ、アール、ウイカー、獨逸のイリング、ドクトル、フ井リング、エケルト、ドクトル、アシロット、フチン、ホルツェンドルフ、丁抹のストックケンボルグ、佛蘭西のチアール、ルカス、フェルナン、デスボルツ、エヴェテス、和蘭のジョーシ、ベリンファン、氏、伊太利のベルトラニ、スカリア、瑞士のドクトル、ギラウメ、白耳義のマイ、ステヴェス、ベルデン、パロン、レテンホフ、米合衆國のドクトル、イー、ウ井ノス、ドクトル、エフ、エイチ、ウイノス、ダブリュー、エム、エフ、ラウソンド、ゼテラル、ブリンケル、ホツフ、ダブリュー、リーズ、アール、プロツク、ウエー、フランシス、ウエーランド、チャールス、エフ、コフィン、シ、エフ、グリフ、ス、シ、イー、フ

ルトン、シ、デ、ラ、ン、デル、ダブリュー、ピ、レ、チ、ウ、オ、ル、ス、也。又此書の準備と出版に關しては著者は閨妻より多くの必要なる注意と價値ある助力を蒙れり。

著者は廿五年間格段にパーウイク、マイカー氏より書信により又音容に接し思慮ある實際上の忠告を受けたり、氏は其長き生涯の間監獄事業に最も謙遜に又忍耐に努力せられたる方なり。

此書は専ら現在及び將來の要求に應じ豫ねて永久不動の原理を述べんと欲するにあり、故に監獄制度及び其状態に就き過故の歴史を追求せず、著者は専ら實際に盡力せらるゝ人々の裨補たらんを期す、是れ此著ある主因たり、著者は本書の如き歐米に於ける近代の經驗に徴して著せし該博なる犯罪撲滅論を他に發見する能はず、又著者は其論究せし種々なる難問に對しては熱心に公平無私たらんとを務めたり。

著者は慈善事業に當る或る人々の所見と種々の點に異なるを熟知せり、此等の點は論より證據他日の批判を待たざるべからず、ハワード協會の委員諸氏は此書の準備及び出版を奨励せられたり、然れども本書の議論に對し責任ありとなす勿れ、

是れ諸氏のうちにも或る點は異論なしとせざればなり。著者は本書の必らずや尊
 敬する友人及び此事業に當る諸氏の嘉納せらるゝを信じて疑はず。
 千八百八十八年八月

多良旬氏行刑新論

英國倫敦ハワード協會書記 ウィリヤム、タラック氏著

日本北海道樺戸 同情會 員 譯

第六章

第一原則

余は多年間格段の注意を以て種々なる社會問題を考察したり而して之か考察を
 爲すに従ひ愈々深く感覺したるとは此の社會の害惡を救治するに數個の大原則
 を必要とするの點なり尤も斯る原則に就ては從來全く不問に付せられしには非
 ずと雖も其考察に於ては屢々當を失したるものあるなり就中如何せば罪惡と貧
 困とを滅却し若しくは之を豫防するを得べきやに就ては人々大に注意する所
 あり如何にもして斯る害惡を退治せんと欲し希望其切なるものありしと雖もさ
 て其實行の一段に到りて脆くも中絶の憂を免かれざりしは蓋し其實行の法に於
 て明確なる根底存せざりしに由らずんばあらず思ふに社會改良家の行路は幾多

の思慮を要すべきもの存て存するは勿論なりと雖も、先づ第一に必要なる注意は、社會の害毒を制遏せんとて設けられたる方法を以て却て其害毒を進むるが如き結果を生ぜしめざるの點にありとす、

夫の精確なる腦力と熱心なる情愛と此二つのものは慈善事業の成效に最も必要なる條件なるが、罪惡救治の道途に於ても亦此二者の必要最も大なるを見るなり

貧困と第一原則

貧困を治する方法として濫りに貧人又は乞丐の徒に金錢を與へ、若くは他の施與を爲せば即ち足れりと云ふが如き極めて單純なる救助法の今日に尙實行せらるゝものあらは事實なり、而して是却て彼等が自助の精神自奮の氣力を滅殺するの惡結果を促すものにあらざるはなし、貧を憐むの精神は誠に嘉すべしと雖もこれが爲め却て益々貧困を發達せしめ且之を増殖せしむるに到ては實に悲むべき次第と謂はざるべからず、之を眼前の事實に徴するも濫りなる施與は却て其地方の禍害を醸すとあるは炳然として火を見るが如し、即ち懶惰漢と詐僞者とは得々として斯る地方に蝟集し來り、もろくの**不徳飲酒等を是れ事とし、益々惡風俗**

を増長して以て良民を害するに到るなり、要するに或僅少の例外を除きては乞丐者——乞丐を慣業とするもの——は凡て不義不徳にして罪惡に滿ちたる詐僞者なり、尤も特別に乞丐者の身分につき一々探究を遂げたる者はあらざるべきも恐らく二十人中の十九人までは即ち右の如き輩なるべし、さればにや彼の乞丐の徒は鐵面皮にも其自活の途を立ん爲めとて職業を取るを嫌惡する旨を公言して憚らざるなり、一日此種の乞丐者か或貴女に向ひて請ふて曰く、願くは即今我が身に迫れるの禍より我を救ひ賜へと貴女之を憐みて半クラオン(二)クラオン(三)の金を與へ、さて其乞丐者に向ひ、今我が與へたる金に依て汝は如何なる禍より助かり得たるやと問ひけるに彼れいとも嘲りたる風情にて、今日中勞働すべきの禍より免れたりと答へりとなん、又或他の乞丐者が職業に就くべしと勸めたる人に答へたる語に曰く、否とよ我は一日に十二シリング(一)我ニシリング(二)の金を貰ひ得る間は決して職業に就かざるべし、職業を爲すは愚者と牛馬とのみと

慈善法を過重するの弊

深く考察を加へざる救助法は乞兒貧困者に對して個人的に其懶惰心を増長せし

むるのみならず團體的にその自助心を滅殺せしむるものなり即ち親たるものをして其身に固着する兒女教育の責を逃れしむる等の類弊害一々數へ難し、倫敦、新約克、其他の都府に於ても多くの慈善家あり、慈善會あり而して慈善家は其慈善事業に據り常に疾聲大呼して曰く、世の慈愛に富める士君子よ此幾千の頼べなき兒女と憫れ果敢なき人々々々を見ずや、願くは彼等のために救助法を設け裕に金錢を投ずるのみならず食物なり衣服なり家屋なりを更に喜んで之れに施與し彼等をして全く諸士の仁愛に沐せしめよと如何にも此の如き仁愛は或點までは善良の實効あるに相違なしと雖も濫に之を主張するに於ては其極測るべからざるの害惡を惹起し、管に救助の目的を達する能はざるのみならず却て社會を毒するの結果を見るに到るや明けし、蓋し如此にして貧困を免れしめんとせば自助と自奮の氣力を以てせよとの天賦の義務を忽にせしむるに至ればなり、折角施與したる慈惠其物が却てます／＼貧困を惹起すとありては深く省察を加へざるべけんや、之を物に譬へんに一個の石を取りて池中に投せば其餘波延ひて周邊に及ぶが如し彼の濫りなる慈善金は却て幾多の惡影響を其周邊の群衆に及ぼし彼の

自家の生活をなすに自家の勞力を用ゆるなく却て他人をして其力を盡さしむるが如き無數の無賴、放蕩、怠惰、漢をして益其横道心を増長せしむるに到るなり、若し慈善家あり公言して、汝等の兒女を盡し擄へ來れよ假令幾千人あるも費用を要せずして之を學校に入れ而して凡て汝等が固有するの責任を免かれしめんと云はば、勿論幾千人の偷安者は直に其命に應じて蟻集し來るべし而して其結果たるや只良民の租税を苛重し其金錢を傾倒せしむるのみにして、慈善の大目的に至ては更に達する能はざるべし、夫の道義上の感化力を與ふると、換言せば其個人が天より受け得たるの能力を發達せしむるとこそ、即ち真正慈善事業の要素なり、若し此要素を輕忽視するに於ては事の失敗を招くや必然なり、有識家コルテニ氏曰へるとあり、人を以て自助の精神を滅却せしむるが如き助力は毫も助力を與へざるよりも尙ほ惡しと宜なりと云ふべし

今一二の實例を擧げんに、紀元千八百七十五年新約克州に於て救兒法なるもの發布せられたり、其法たるや知事の職權を以て頼るべなき兒女を私立若くは公立の學校に入れ而して一人に向て毎週二弗づゝの金を與ふるにあり、尤も是等の費用

は凡て租税より支辨するものなり、而して其効力の如何なりしかを究むるに紀元千八百八十七年一月發行に係る合衆國イントルナショナルリコールド録に據れば、此法律の結果として人民増加の割合よりは非常に大なる割合を以て窮兒の數を増加するに至れり、千八百七十五年に於ては新約克州窮兒の數、八千人なりしもの千八百八十四年に於ては一萬四千人の多數に上り、又千八百八十七年に於ては殆んど一萬八千人にまで増加したり、看るべし似非慈善が社會に及ぼす結果の甚だ宜しからざるを必竟兩親たるものを刺激して其當然の責任を盡さしめざるのみならず却て之を免かれしむるの方向に陥らしむればなり、大英國に於ても同じく其結果や惡し、無月謝實業學校に於ける小兒の數は千八百六十一年に在ては四百八十人なりしもの千八百八十六年即僅々二十五年の後に於ては二萬〇六百六十八人に増加したり、顧ふに新世界(米國)に於て舊世界(歐洲)の斯る失策に鑑戒する能はざりしは慨歎の外なしと雖も、エドモンド・ドーリー氏は千八百八十七年慈善會の弊に就き殊にカリホルニヤ州に於ける成績として最も明晰なる報告を爲したり、氏は同州の子女保護會の會頭なり、氏の言に曰く、我合衆國の大都府

は政治界の無法者と飲酒家との支配下にありと云ふも可なり或は斯る有罪者の爲めに全くは支配せられずとするも吾政治上又は社會上の出來事の大部分は彼等の勢力に依て潰されつゝあるは明なる事實なりと、此公平無私なる米人の證明は甚だ價值あるものと云ふべし、ドーリー氏は尙又慨歎して曰くカリホルニヤ州に於ける小數の良民が折角貧困と罪惡とを救治せんとて、一層有效にして且經濟なる法律を改定せんとするに當り、彼罪惡の慣性を有する汚濁人の爲めに屢妨害を受けたるは悲むべき事實なりと

カリホルニヤ州に於て公費を以て支給せらるゝ兒女中一千人に就き其六百人以上では兩親及親屬に依て教育せざるべからざるものなり、而して斯る慈善的事業の漸次其數を増すと同時にかの吾人が防遏せんと欲するの禍害と貧困とは却て愈増長しつゝあり、此故にカリホルニヤ州に於ける貧兒はミシガン州の貧兒より人口の比較上十二倍の多きを見る、且又カリホルニヤ州の罪囚は勿論ミシガン州より非常の多數なり、そは如何なる理由なりやと云ふにミシガン州は貧困を遇するの途に於て最も適當なる方法を探ればなり、試に其方法の主眼とすることを觀察

するに主として豫防の點に注目せり、殊に青年者に對しては其方法尤も嚴かなりとす、勿論此州と雖も或制限内までは實際に頼るべき而も未だ罪惡と疾病とに陥らざる貧兒は公費を以て之を支ふと雖も是れ畢竟此等の貧兒をして二ヶの教育順序を履踐せしめんが爲なり第一は公立小學校に於て平均一ヶ年以内實業準備教育を受けしめ、第二は其州内に於ける農業者若くは他の實業家に是等の貧兒を紹介して以て就産の途を得せしむるこれなり是れ貧兒をして學校的生活を送らしむるよりは家族的生活を送らしめんとの主意に出づるものなり而して此種の貧兒は二十一歳未満の間全く公權を以て命令的に支配し日常萬般の事に至るまで悉く監督を加ふ、其他郷に備使せらるゝ場合に於ても斷へず之れに注意を加ふるなり斯る方法の結果として近來ミシガン州に於ては一般の人口四割の増加をなすにも拘はらず貧民の數は只二割の増加を見るのみなりと之れに附帶して注意すべきは彼の頼るべき兒女の爲めに設けられたる貧院若くは孤兒院に於て之れが備付品たる器具繪畫及數物等の濫りに美麗を裝ふが如き觀あると是れなり是れ些末の事に似たりと雖も其結果や有害なるの虞少からず若し此邊の注意な

く彼れ貧兒をして奢侈に類するの實況を目撃せしむれば自ら彼等をして驕奢の心を長ぜしめ、加ふるに彼等兩親の懶惰をも誘致せしむるに至るべし、抑も懶惰にして不義不正なるものゝ兒女をして同地方に於ける律義一遍の勞働者の兒女より優りたる生活をなさしむるが如きは實に慈善の主旨に適はざるものなり、若夫れ斯の如くんば是れ慈善事業にはあらで、徒らに一個人若くは社會の恩賜物を浪費するものにして退て其結果如何んと顧みれば勉業の精神を滅却し懶惰の氣風を其周邊の人民に傳播せしむ豈恐れて懼れざるべけんや、如斯の方法に因て貧人を救治せんとするも其目的を達する能はざるは勿論、却て其害惡を社會に増長するに到るは免かれざる所なり

且又貧兒に取りても單に器械的組織の下に群集して其身を養育せらるゝは却て家族的の生活に於て必要なる訓誨と獎勵とを得て其身を養はるゝの良きには如かざるなり、米國の一雜誌は近頃此點に關し一條の意味ある談話を掲げたり、それは或都府に住へる娘が或田舎の朋友を訪問せんとて其家に至り、花園に於ける慣れたる知更雀を見て大に喜び、餘りの嬉さに憐なる小さき知更雀よ汝は籠を持たぬ

よなど、いと哀れげに叫びたりとぞ、此娘、鳥は籠を離れて自由に飛翔するを其最幸とするを思はざるなり、想ふに世間幾多の人士が救濟院、感化院に對するの觀念は恰も此小女が鳥に對する籠の如きを免かれず

最も裕かなる資本を有し且完備せる所の感化院、工業學校、保護會、又は貧院等の續々我英國に於て設立せられ飲酒漢、悪人又は放埒なる兩親の手より其兒女を取り來りて救助をこれに與ふるが如き一目甚だ嘉すべきに似たりと雖も、其實小兒に對し又兩親に對し善果を結ぶよりは寧ろ惡果を結ぶの段階たるぞ是非なけれ、予を以て之を見るに若しなすとを得ば斯る怠慢なる兩親には罰金を科し禁錮に處する等の嚴罰を加ふるか然らずんば少くとも彼等をして爾後其兒女を支配するの權を失はしむるを可とするなり

似非慈善と他の良民の費用

今代に於ける大弊害の一とも謂ふべきは普通撰舉權若くは殆んど普通撰舉權に近きものを普及せんとするの傾向にして之れが爲めに益々貧困を増加せんとするとなりとす、蓋し最も不注意にして且つ最も無智無能なる人民と雖も既に投票

の權を其市政上及國政上に有すとあれば勿論彼等は機會の容るす限り其權利を利用して以て一見何の害なきが如き無月謝の學校、無見料の書籍館、無料の運動場、無料の飲食店等の設立を企て而して其費用は官民の租税を以て之に充てんとす、斯くて投票權の亂用により一國及一地方の重荷をして容易く其社會の勤儉正直なる者に負擔せしめ今や將に其禍害に堪へざらんとす、大英國のみにてても其都府並びに地方の公債に屬するもの已に殆んど二億磅(一磅は錢一圓)の大額に上り米佛兩國に於ても此種の公債は驚くべき速力を以て増加しつつあるなり、然るに私利を計らんとするの政治家と詐欺師の煽動とに依て近年の立法府は實に一國施政の重權を此愚昧任に堪へざるの徒に歸せしめんと狂奔せり、テニンソン氏は彼の巧妙なる諷刺的の詩藻を以て艶曲に此愚かなる時運の傾向を戒めたり其詩に曰く

汝等、こわね巧なるものは行て汝等の王達に告げよ、古へよりの實驗は皆愚かなりしと、而して國政を司らんものは只眼に一丁字なきものにして始めて可なりと、彼の圖に乗つたる王達に教へよ、上を下へと顛倒して頭に草鞋を戴き足に冠

を穿き騒ぎどよめくさまのうたてき。

而して普通選挙権によりて撰出せられたる者の種々の團體、協會、俱樂部は屢其威を濫用して利己的精神を直接に間接に實行し而も其歸著や貧困と罪惡とを獎勵するの外なきなり、事跡如斯悲むべしと雖も之を矯正するの策に至ては是れ容易く得へきにあらず、只僅に其一方法として取るべきものは彼の金力あり智力あり且眞實ある良民の權利にして未だ彼等下等民族の爲めに蹂躪せられざるものを擴張し以て自家の安全は自家之を守るの法により少なくとも彼の不道徳、利己、懶惰漢よりの無法の加害を防ぐべきあるのみ、今や各國中、正當必須なる租税の義務を盡さずして只政權を弄せんとするもの漸く其暴威を逞ふするの運に向へり一例を舉げんに英國に於て或煽動者に教唆せられ毎年の所得百五十磅以下のものは凡ての租税及び課税を許さるべしとの議を主張し内に向つては國用の浪費を憂へず外に向ては苟めにも戦端を開かんと欲し而して其費途は則ち良民の膏血たるを顧みざるあり夫れ世に不正、利己、暴戾と云ふものあらば此種の所爲より暴戾、利己、不正なるはなかるべし。

第一原則と強勉主義

貧困者と無職者とに對して最も有害にして且最も愚妄なる取扱法は彼等を公立職工場に雇入るゝに當り其勞働の度は良民よりも緩にして而かも其賃錢の割合は却て之れより裕かに遂に良民をして寧ろ彼等を羨ましむるか如き事情を存せしむるにありとす、無經驗なる新聞記者或は演説家は屢其筆舌を弄して左の事を云へり、

貧民をして公立救助工場に入らしむる時は其附添官の月給及其建物の損料とを包含して毎週一人に付十、シリング乃至十五、シリングの費額を要すとせば寧ろ彼等を解放して私家に働かしめ而して單に八、シリング乃至十、シリングの賃金を給與すること社會の爲めに得策にあらずやと、

然りと雖も是實に思はざるの甚しきものなり、もし救助なるものが強勉主義工場の嚴規嚴制も受けずして容易く得らるゝものとならんには斯る救助工錢に與からんとする者非常に増加し終には如何ともすべからざるに至らん則ち現今貧民の爲めに支出しつゝある金額は直に五倍若くは十倍の多額に上り良民をして苦

ましむるに至るや遠からざるべし、然り而して此に注意すべき實例特に米國に於けるもの、如き強勉主義工場其物すら尙ほ懶惰漢と貧究者とを誘致するの勢を呈せり、貧究者と無職者とを減するに最も必要なる原則は彼等をして通常良民の勞働よりは一層苦痛なる勞働をなせしめ而して其賃錢は却て良民の得る所より一層低廉ならしむるにあり、此方針は單純なるか如しと雖も實際に施すに於て最も効力あるものとす、其他の方案は結局良効を收むる能はざりしとは既に事實に徴して明かなり、近年英國に於ける貧民救助法は重もに此の原則に基き立案せられたるものにて此の原則を確むるに至りしは最も廣き研究と最も長き實驗とを要せしなり、然るに爲めにするところある煽動者或は愚昧なる慈善家は勉めて之れに反對を表するものあり、

嘗て屢々起りし如く非常に職工の不景氣を來す或時期に於て職工の多くは其雇主を求めんとて東西に奔走し若くは官立の工場に雇はれんとを要求す、而して其要求に應じて救助を與へ同時に嚴正なる規律を立て、之れを守らしめ以て大に其懶惰心を禁遏せしめたるに今まで雇主を求めて狂奔せし職工は、忽ちにして非

常に減却したるは毎度實驗したる處なり、又英國の或大都會に於て彼の貧困者を助くるには必ず其公立職工場に入る、を以て既に一旦之に入りたるものは嚴正なる注意、階級制限、清潔、禁酒、及早起の法を守るべきとを以てせしに數千の貧困者も次第に其數を減するに至りたり、尙一例を擧げんに公の事業に雇はれんとを希望するもの即ち道路開鑿、石材採掘、其他の工事に役せられんとを希望するものに對し其要求を入れ一家を支ふるに必要なる給料を與ふるは勿論なりと雖も斷して良民間に於ける同事業の賃錢よりは平均少からしめたりしに此の方法著しき實効を奏し彼の雇主を求むるに汲々たりし下等人も大に其數を減するに至りたり、思ふに現今の英國貧民救助法は尙ほ懶惰者を刺激するに於て不充分なるものなきにあらずと雖も全躰より之を見るときは實に其成效著しきものと云ふべきなり、

此原則と浮浪者

浮浪者流に對しては彼等が真正に其雇主を求めんが爲め奔走するものなるか但しは懶惰不徳なる純然の無賴漢なるかを職判すると最も必要なりとす、去りなが

ら此二者の識別は甚だ困難なるものなれば其目的を達せんとするには巡查を以て貧民救助役に充つるを便益なりとす、凡て浮浪者と雖も正直善良の性質を有するものは速に食物衣服家屋等の救助を與へ而して適當なる職工場若くは傭人に推舉して其生活を立たしむべしとる代りに一方に於て乞丐を以て慣業とするとは明白なるものには假借せず監禁を以て之れに報ひ其期限も亦決して短かるべからず、教授ウーランド曰く「コンテシチョットに於ては浮浪の徒を遇すると他州よりも嚴重なり」と而して語を次で曰く「同州に於ては浮浪者を監獄に投し已決囚に類する衣服を着せ又重罪人と等しく勞役を執らしめ其期限は四ヶ月以上八ヶ月以下となすの定めなるが此方法の結果として驚くべき良効を奏したり」と然りと雖も茲に記憶すべき最要件は救助館に来るところの浮浪者百人ある場合に於ては他に千人は斯る究屈なる場所に來るを好まず寧ろ之れよりも一層自由にして且心安き救助場即ち邊鄙なる田舎の老婦若くは正直なる田舎漢の家に立寄り強て救助を求むるの法によるとある是なり、ドルセツトシャイアに於ける或老練なる乞丐の語に我二十一年の間乞丐を業とせしと雖も救助館に至て救助を仰ぎし

とは只二十度に過ぎざりしと云へり是れ以て乞丐者の標準とするに足る、如斯にして彼等は公衆の上に殊に勤勉にして而も餘財を有せざる良民の上に重き課税を徴するものなり尤も一國の人民たる以上彼の憐なる貧困者に向て飽までも我が慈悲心を閉んことは殆んど爲し能はざるところにして又なすべからざるところなりと雖も真正に貧人を救はんはと欲せば必ずや公權に依り貧民救助法に依らざるべからざるを確認せば彼の有害なる姑息の慈惠は自然に止まるに至るへし、姑息の慈惠は實に貧困を起すの源泉にして克ち難きの病根なり夫れ嚴正に救助の法を施行せんには各地方の公權を以て彼の救助者を個人的に觀察し果して救助を必要とするものにて其性質正直なりと認めらるゝ者は勿論之を救助し其故意に怠り且乞丐を以て慣業となすものに至つては宜しく監獄に投することなきべからず、賢明なる實際的の慈惠家故エドワード、デニンソン氏は此問題に對して最も深く觀察せし人なるが終に左の如き論結を下したり、

乞丐と浮浪者との滅却は一般の社會公衆が彼の救助者個々に適切なる救助を與へんが爲め又其當人の性質を取調べて罰すべきは乃ち罰し誠むべきは乃ち

誠めんが爲め其國內所々に公設せられたる組織的制度を重んずるの精神如何に比例するものなりと、

然りと雖も之れに就き一の注意すべきとは獨逸國の諸州に於て近來凡ての浮浪貧困者に對し公權を以て廣く扶助を與ふべしとの實行を試みたるも其州内に於ては乞丐浮浪の徒を遇するの舊慣依然として人民間に行はれたる點なり、斯る場合に於ては巡查の壓制こそ國民の輿論よりも頼るべきものなり數年前倫敦の近村サイアンハムとブラツクホースに於て長年月間著しく乞丐の數を減じたることあり其所以を問ふに救助券の配付を最も嚴正にし之れと同時に乞丐取締の方法を最も緊密になし真正に不運なるものに向ては直に救助を與ふるも然らざるものは容赦なく罰したるにあり、此方針は人氣に適ひ且成效ありたるも漸くにして或地方長官の此取締法を緩漫に付するあり加ふるに一般人民も此方法は徒らに乞丐を苦むるやの如く思ふに至りければ巡查も終に落膽して折角成效ありし乞丐取締法も終に空文に屬するとなりたり去りながら此取締法を嚴にせし間は其結果實に善良なりしは確かなる事實なり、

眞の與ふるは取去るの義にあらす

汝に求むるものには之れに與へよとある經典の命令は必ず人間の常識と經典の他の命令則ち働かざるものは食ふべからずとあるに參酌調和して實行せらるべきものなり、濫なる施與而も其施與にして慣習的乞丐者に與へらるゝが如きときは其實與ふるにあらすして却て其者の勤勞と自助の刺激力を取去るものなり有害無益のこと、謂つべし、夫れ眞實の慈惠は道義上の氣力を與へ其當人の性質を高め且其能力を發揚せしむるにあり今一個人として病者、不具者、孤兒其他此種の薄命者即ち正當に憐れむべきの實あるものに對して之れを憐れむは可なりと雖も彼の名も知れざる而も一目して乞丐を職業とすると判然たるものに對して宜しく各地方に於ける公立の救助會にて之れを取扱ふを最良となす、

佛國に於てエムエフ、オザナン氏の設立したる慈惠會は大なる實効を奏したり、且合衆國ホストンに於ける、ユニテリアンの内國傳道會社其他倫敦リバープール、マンチェスター等の市街に於て博士タツコルマン、ミストル、コルクラン其他有名なる人士の監督下に立てられたる慈善會も大に其實効を奏したり、獨逸國に於て半民

半官の組織に成りたる最も緻密なる貧民訪問會はエルベルフェルドハンボルグ其他の市街にて頗る良結果を奏したり、然りと雖も此法たるや不徳者、懶惰者、不注意者に對して強勉主義を適用するの要素を欠けり且又數年前獨逸國に於て貧困者と浮浪者の數を著しく減却したるとありしが是れエムフォン、ポードルシウインヒ其他の慈善家に依て勞働殖民地又は浮浪者寄宿舎の設立ありしに由るなり、實に基督教會と基督教徒の働きは眞正の慈善をなす最大機關にして彼等の働きに依らすんは世に慈善の事業は其良効を修むると頗る少かるへし昔時聖徒が「金銀は我に無しナザレのイエスキリストの名に由て立つて歩めよ」と物乞ふものに云ひたりし一言は實に救助の大真理を顯すなり蓋し天助、人助、自助の三者を併一したる金誠なればなり恰も之れと同じく近世に於ける最良の慈善法は貧民の上より不衛生なる状態、群聚せる陋居、排水の不良、及び飲酒其他諸の不徳に誘引する事情を除去し以て彼等を自立せしめんとするにあり、要するに有効なる救助は其救助をして譬へば跛者の腋下に鐘木杖を與へて斷へず之に全身を倚托せしむるが如くならず寧ろ其手に息杖を與ふるが如くならしめざる可らず、和蘭の國民は

種々の方法に依り好んで貧民を助くと雖も又必ず嚴重なる取締法を設け決して彼の鐘木杖を興ふるの方針を探らざるなり加ふるに和蘭に於ける寺院の慈善は政府之を保護するを以て自餘の國々に比するに貧困の害を減ずると頗る著しきものあり、さても貧困を治するに萬能膏はなしとかや故に貧困を處するの道は種々の方法を以て種々の事情を察し忍耐以て其目的を達するの外はなきなり、此處に少しく彼處に少しくてふ經典の金言は貧民救治法に於て最も其適實なるを見るなり一見すれば全く貧困を治するに間接の方法たるに過ぎざるものにして却て非常の良効を奏するものあり即ち目前の急を救ひ尙ほ將來の再發を防ぐに足るなり夫將來の再發を防ぐは必要中の必要なるものにして茲に一個の桶あらんに水あり斷へず之れに注下す人若し此桶を空虚ならしめんと欲せば須らく其注水を防止すべきが如し吾人に最有益なる教訓はノルサンプトンシヤアの教師ダブリウプリー氏の云へる所なり其語に曰く

田舎の村落に於て一個の共同貯蓄倉庫を設けたる人は彼の徒らに慈善を口にして其生を終るものに比すれば幾層倍の慈善を興ふるものなるや知るべから

ず堅牢にして快適なる屋舎を家賃廉く貸與するは綿布の山、酒の川を作りて貧民に與ふるよりは更に有益なり衛生法教育法の適宜に施行せられ其實効を遂くるは多くの慈善家の姑息なる慈惠よりは更に幾千倍の効ありと云ふべし余が附屬する一地方に於て救助法の實行せられし以來其當初にあつて人口十二に對する貧民一の割合なりしも今や六十に對する一とまで減したり其成效の著しき從來他に比を見ざるの狀況なり、

監獄と此原則の作用

罪惡の豫防を期する方法を以て却て罪惡を誘致するが如きとあらしむべからずとの原則は監獄に關して特に其必要なるを見る若し監獄の懲戒にして緩漫に失し柔弱に流るゝが如きとあらんか其目的を達する能はざるは勿論犯則と虚偽とはますゝ勢を逞ふし惡人をして恐怖の念を起さしめ能はざるのみならず却て其罪惡を増長せしめ身軀の虛弱にして防衛の力なき者には屢殘害を加へしむるに至る蓋し罪惡防遏に必要な嚴正を欠くを以てなり故に當今最良の模範監獄として誇示せらるゝ監獄中にも之を監禁の大目的より考察する時は却て最惡の

模範獄たるに過ぎざるものあり觀察力に富める或司獄官の言にダブリンの近傍ロスクの農業監獄は其囚徒をして刑期の盡くるを厭はしむるまでに彼等の歡心を得若し満期の至る時は之を蹴出ださしめ去らすとなん著者も一度ロスクの監獄を巡見したるとありそは其近傍に住するもの言に當監獄の周圍には全く一墻壁の設けなく囚徒は自由界に出んよりは寧ろ獄内に繋るゝを以て樂しみとなすものゝ如し故に逃走の憂は更になしと聞きたればなり又女監として最も有名なる某監獄を視察せしに其監獄にあるの囚徒は監獄を出て、自由界に生活するとを却て喜とせずとて大に該監獄の誇るを聞きたり且又倫敦の近傍なる男監或はインデアナポリス州の女監に於ても往々左の如き囚徒の言を耳にするあり

然り紳士よ我は此處を以て甚だ愉快なる場所と思ひ實に樂しく暮せり此處は全く満足をして我を住はしむるなりと、

さりながら囚徒をして監獄の生涯に全く満足せしむるが如きは果して誇るに足るべきや否や甚だ疑はしき所なり夫れ監獄内の生活をして嚴正なる規律の支配

を欠かしむる時は是罪惡をますます増長し且之を社會に傳播せしむるに異ならず而して獄事改良の前途は全く妨止せらるゝものと謂つべきなり。

第二原則

貧困と罪惡とを減却するに必要な第二の原則は、常に一致の運用を有たしめざる可からざる要素互ひに相分離せしむるを避くるの必要なりとす殊に罪囚に關しては豫防防遏改良この三つのものに常に相合致して運用せらる可きものなり罪惡の取扱上に關しては固より完全無缺の域に達したりとは云ひ難きも地球上恐くは大英國の如くこの三法(豫防防遏改良)一併の運用を全ふせんと期したるものあらざるべし而して我英國が罪惡豫防の實行を始めしは則ち國內各地の教會が通俗傳教の法を興起せしによれり就中倫敦市傳道會社の如き或は其他これと同種の團體組織の如き且又宗教的並に世俗的教育の精密なる組織と之れに附帶したる貧兒孤兒の薰陶法の如き實に豫防事業に有力なるものなり抑亦防遏の法に對しては英國監獄法なるものを布き適實にして而も仁惠を以て充てる嚴正主義を其監獄組織の上に應用し而して改良の法に向ては公立或は私立の事業に依り出獄

人保護會又は假出獄者視察會なるものを設けたりかゝる事業の結果として近來英國に於ける罪惡の減少は實に著しきものあり。

而して他の各國に於ても此三法一併中の一個若くは二個の要素は之を實行せざるにあらずと雖も此三素一致の運用をなさしめざるが爲めに其効を收むると完きを得ず例へば北米合衆國の如きは通俗傳教の組織に依て罪惡の豫防上見るべきの成效を奏せんとす少くとも或地方に於ては大なる成效を奏しつゝありと雖も此豫防法を助くるに嚴正なる犯罪人防遏法を以てするときはその結果更に大なるものあるべきに惜むべし同國に於ては此必要なる嚴正の措置を欠き居れり南米洲に於ては殺人罪を犯すもの非常に多く爲めに絞首の刑を用ゆる頻繁なりと雖も犯罪を豫防するの點に於てピストル及び短刀の携帯を許す等實際注意の至らざるものあるが故に到底之を滅するに能はず以太利及西班牙も同しく此點に於ては失敗を招き居れるなり。

白耳並に於ては一樣にして大ひに有効なる獨居房の制確立せりと雖も罪惡を入獄前に豫防する方法と之を出獄後に監視する方法とに於て著しき欠點ある

か爲め再犯者の割合は非常に多く且飲酒惡徳はますます增長するの傾ありき而るに幸ひに同國民は近來大に此に悟る所あり今や若々改良の方針を取るに至れり、和蘭瑞西蘭土スキアンチナヒヤの諸國も稍大英國が實行しつゝある彼の三法一體の運用に注意を加へ随つて其成效著しきものあり以上記する國々の外他の邦國に於ても此三要素一致の發達を計りつゝありとはいへ而も未だ幼稚の觀を免れず譬へは建物の基礎既に定まれるも未だ屋根を葺かざるが如き憾あるなり、
諸此三要素は何れも必要欠くべからざるは論なしと雖も就中豫防の一點に於ては大に注意を加ふべきものとす、單に刑罰若くは懲戒に依て罪惡を防遏せんとするの方法は屢々過重せられたりと雖も有力嚴密なる警察法も亦同様罪惡の防遏に有効なるを忘るべからず譬へば大英國に於て追剝強盜犯の如きものは從來死刑を以て罰したりしに今や如斯嚴刑を施さずして却て是等の大惡を減するに至りしものは乃ち刑罰の外別に罪惡を制するの力ある證據なり、共產黨社會黨其他の無政府黨等に對しては大英國和蘭米國スキアンチナヒヤが現に行ひつゝあるが如き適法の自由こそ却て狡豪若くは牢獄の力よりも其暴虐を防くに於て力ありと謂つへし、

豫防防遏改良の三者は常に同時に施行せらる可く特に豫防の點に就ては最も強々且廣く注意せざるべからずとは上來既に論したるが如し豫防に關しては種々の部門ありと雖も凡て互に密接なる關係を有せざるはなし譬へば大酒、群居、無智、懶惰、不信神等の度を減せしむるが如き即ち其例なり、テンプルの群雜せる惡徒等に對し之れが罪惡を防遏せんが爲め刑罰を加へばとて果して幾何底の結果を呈せんや無教育無信迷信の群集を鎮制せんとて單に懲罰のみを以てするか如きは到底其なまものど知るへし、罪惡の樹の根には斧を置かざるべからず不徳の流れを清めんと欲せば須らく其源泉を清めざるべからず暴戾の破裂罪惡の横行は罪惡の命脈たる其中心を打摧き其活動の根原を滅絶せざるべからず若し事此に出でずして首尾本末を誤り徒らに社會の害惡を掃蕩せんと欲するも豈能く其功を全ふするを得んや、夫れ社會の安寧秩序は彼の三要素併行の度如何に比例す其併行を怠るときは之れに應じて社會の害を來すべし見よ彼の鐵鎖の力は其鎖中の一輪否其鎖中最弱の一輪に依て計らるべきにあらずや之れと同じく社會改

其の事を計るにも只一要素を欠くの故に依て折角他の其効を收むるに足るべき方法までも其實用をなし能はざらしむるに至る是を以て一法は即ち一法として充分の活用をなさしむ可きと同時に之れをして他の方法と相伴ひ以て一致の運用をなさしめざる可からず是れ實に必要中の必要なるものなり、尤も防遏の方法も之を適度に運用せば社會の安全を保つに於て欠くべからずと雖も實際上深く記録すべきの要件は之を豫防の勢力に比すれば甚だ小なるの點之れなり「豫防は治療より緊要なり」とは常に吾人の云ふところなるが罪惡治療の上より見るも豫防こそ最も大切なるものなり去ればとて「權力は罪惡の救治に一切無効なり」とは極論すべからず是亦一種の偏辯論にして道理に合せざればなり只吾人の注意すべきは權力は社會の罪惡を防遏するに於て必要なる一分子なりとのことにあり、切近世に於て最も社會を害毒しつゝある娼妓と大酒との二者を救治せんとて切りに其救治策を唱道するものありと雖も其實効を收むるの甚だ鈍きものあるは之れが先導者たるものゝ間に只權力を以てこれ足れりとなし濫に權威を過重するの傾向あるに由らざんばあらず、

娼妓及び之れに對する豫防

社會公德の護持者を以て自ら任ずるものゝ中にも其目的を達せんとするに主として警察刑罰監獄の力に依頼し夫の道義勸誘の大勢力に至つては之を信ずると甚だ薄きものあるが如し例へば娼妓に對する措置の如き多くは彼の不運なる婦女を飽迄も警察力に依りて驅り盡くし追ひ盡くし彼等をして其足を止むるに所なからしめ然して後妓樓を廢せば即ち可なりと爲すなり、伯林に於ては此種の方策格段の勢力を以て實施せられ爲めに可憐なる婦女子は幾千となく拘留せられ而も亦幾百となく再捕せられ一時は幾許の妓樓を廢滅に歸せしめたるかの觀を呈したりと雖も其實決して然らず、伯林は今尚ほ依然として歐洲列國に於ける最も不徳滿々たる都府の一として存在せり、是れ必竟罪惡の根本及其原因の治療に對して未だ盡さざる所のものあればなり、夫れ深く罪惡の根底にまで進入して之れが治療を加へんと欲するには多くの忍耐と個人的盡力とを要するは最も明かなるとなり、而るに此忍耐と盡力とを彼の單に權力にのみ依頼せんとするものは楮を省ざるなり、大惡を治するに單に權力のみを以て足れりとするは恰も庸醫

が癩病人を癒せりとして其皮膚に白堊を塗れるが如し故に近來英國に於ても種々の方法を立て又少からざる入費を投して以て廢娼の道を講ずと雖も隨て廢すれば隨て興り今に至るまで其効を見ると能はず男女間の不徳義は依然として減少せざるが如し是れ其方法只皮相の豫防に過ぎざればなり、

抑娼妓を廢滅せしむるに有力なる方法は只之を其大原因の嚴制に於て求めざるべからず即ち暴酒を止めしむると(暴酒其の丈けにても)貧民の居宅を改良する(亂雜に群集せる借家は不徳の行はるゝに至る)女子の實業教育を擴張すると及歐洲各國の常備兵を廢するとは是なり夫れ常備兵なるものは概ね未婚の壯丁なるが故に彼等の屯集せる都府は自ら婦女子の不徳を現せしむるの患を免かれず婦女子を不徳に陥るゝと同時に兵卒其ものも未婚の婦女子をして墮落せしめつゝあるものなり夫れ常備兵を廢せんと欲するには之れに代ふるに他の國防策を以てせざるべからず他なし要は萬國公法と世界同盟平和會の組織とを一層適實ならしむるにあり國と國との爭論は之を干戈と暴力に訴へて決せんよりは寧ろ穩當なる法律に訴ふるの優れるに若かず且夫娼妓を廢せんとするには出來得へ

きだけ宗教上の感化を盛ならしめ以て貞潔敬虔の精神を發揮せしめ敬天の望と恐とを道理に合せ人情に適することく誨へ以て其心情に徹底せしめざるべからず凡そ男子たると女子たるとを問はずかゝる罪惡より脱せしめんとするには其心情よりすると最も大切なり則ち愛と信神と來世との力を以て之を刺激するを要す、略言すれば社會的の清潔を進むるの事業は常に米國の神學博士ホレイヌ、ブシナル氏の云へる萬般改良の心髓は人の心髓を改良するにありとの此根原眞理を實際に證認して此基礎の上に建設せざるべからず、

禁酒と權力

飲酒の大害に關しても單に權力のみに訴へ以て之れが豫防をなさんとする方法は甚だ不完全にして且効力の薄きものたるを知るなり而して實際の事實に徴するも禁酒法てふ法律に依て禁酒の實を擧げんとしたるの結果は實にあさましき狀況を現じたり則ち合衆國の或州に於ては慈善家の好意と熱心とよりして法律の力を以て酒店を禁ずるととなしたりしに則ち二個の現象を呈したり第一は各所に於て人民も警官も殆んど斯る法律の實行を強ゆる能はざるに至りしとなり、

第二は法律の明文を潜りて酒類を密賣するの店數次第に増加するに至りしとなり、プロビデンスヨルナル新聞は千八百八十七年に於てロードアイランド州の禁酒法に關し此法律の發布以後其以前よりは該市に於て百二十二軒の酒店を増加したりとの統計表を公にせり、而して禁酒家の味方なるニューヨークの「ゼボイス」新聞も千八百八十七年の夏に於て禁酒演説家リベンド、アロンゾ、エフ、アボット氏がメイン州を旅行して感じたる失望の通信書を掲載したり、曰く「此州に於ては禁酒法の現行せらるゝに拘はらず飲酒の風大ひに行はれ或一村落到於ては二百軒餘の密賣酒店を發見したり、而して是等の密賣酒店は附するに改良俱樂部の名稱を以てし其他ボルモント、ニューハンプシヤ、イアメインの各州は何れも禁酒法の施行せらるゝに拘はらず、往くとして密賣酒店の存せざるなし」と又氏は該通信の末尾に至り左の意味ある數語を添加したり

或禁酒家が禁酒の模範としてメイン州を見よと云ふか如きは「マホメット」教徒がメツカの土地を見よとて誇り顔に其地を指示すると同じとにて果して其地に至り見れば實に大なる落膽と失望とを招くに過ぎず恰も獨逸の宗教改革家ルイテルが羅馬に至て失望したると同様の觀あるものなり、人或は是等各州の間に於ては飲酒泥酔の惡習慣は曾て見る能はざるべしと想はん、に其實他の諸州に於けるが如く到る處に酒店の設けあるは驚歎の外もなき次第なり、

看るべし、此事實は米國禁酒主義新聞の先導たる其筆頭より證明せらるゝものなるを、されば他は推して知るべきなり、

米國禁酒家の有力者ゼラル、ニール、ダウ氏すらも千八百八十八年ニューヨークにて發兌せる獨立新聞に寄書してポルトランド、メインに於て酒店として五十の飲食店あることを明言せり、加之米國に於ける禁酒法強行の一事は大に禁酒主義の進歩を害し且慈善家の事業を妨害すとて之を咬くの聲頗る喧し、蓋し暴酒泥酔の徒を實際に減少するは道義上の感化力に訴へ且又麥酒火酒等の代りに「アルコール」分子を含まざる他の好味飲用物を製出し之を安價に用ひしむるの方法を可とするなり、

千八百八十八年に於て英國外務大臣は合衆國華盛頓府駐劄の大英國全權公使の編制に係る米國禁酒法の運用と結果とに關する報告を公にしたるとあり、其細文

は今茲に云はず只其結論を擧げんに禁酒法は明かに其目的を達する能はざりし
唯重税を賣酒店に課し以て其濫賣を制限する方法は僅に成效を收むるものゝ
如しと

尤も米國及歐洲中數個の村落都府例へばシカゴの近邊なるブルマンの如きアイ
ランド國に於けるベスブルシの如き慈善家なる大地主の権力其他の威勢により
賣酒の業は全く廢滅に歸し實に大なる其結果を呈したるは否むべからざる事實
にして誠に喜ぶべきの甚しきものなり去りながら是れ凡ての人間を権力もて聖
人に化せしむるの類にしてかゝることの一般に行はるべくんば之れに優るの満
足はあらざるべしと雖も人間の性質にして依然今日の如く社會全般の道義土よ
り禁酒の必要を感じざる以上は到底法律の力に依りて之を禁ずべくもあらず若
し強ひて之を實行せんとするときは巧に其法律を潜り密賣酒店の起るべきは既
に明なり若し夫れ他の一方に於て道義上の感化力強盛なるときはかゝる法律の
設けなしと雖も人々自ら禁酒するに至るべし或は法律も時により僅に必要なる
場合あり之れ禁酒主義發端のときのみなりとす發端の際に於て國法を以て禁酒

すると案外の美果を結ぶとあり然りと雖も之を持續して永久に禁酒の正理を守
らしめんには即ち道義上の感化力に依らざるべからず、カンサス州に於ては道義
的禁酒主義甚だ人氣に適ひ擧て之を奉ずることなるが故に従て禁酒の法律に對
しても人氣甚だ其し以て道義の感化は法律の感化に勝るを知るべし、

道義勸誘、節酒主義、對酒好味物

禁酒と謂つて全然酒を禁ぜしむるよりは寧ろ道義上の勸誘をなし節酒主義の實
行を促し且酒に對する他の好味物を製出して以て飲酒を減却する方法を取る
を却て最安然なりとす、禁酒問題に關して法律の効力と威權とを全ふせんとする
には人口に比例して賣酒店の數を出來得べきだけ制限し又重税を賣酒店に課し
其小賣の餘錢は法律上に於て取立つるの權なからしめ且又少年に向て酒を賣る
ものは之を嚴罰に處する等の法を立つるにあり、尙ほ語を進むれば一人に一免許
の主義を取らざるべからず、即ち何人たりとも一人にして決して一戸以上の酒店
を開くとを得ざるの制なり、斯の如き方法を用ゆるときは權力的に之を禁ずるよ
りは大に穩にして而も其實際の結果は却て多し

扱賣酒業の行はるゝは其責賣酒店よりも寧ろ一般人民の上に在るものなり故に人民一般に勸めて酒類を用ふるとを減せしめ、或は其濫用を制限せしむるにあらざるよりは到底酒店を減却すると能はざるへし、是れ需要は供給を生ずるものにして需要を減ぜずして供給の減せんとを望むは其本末を誤るものなればなり、然るに世間往々主として酒店の上に責任を歸し之を責罰し却て其原動者たる一般人民に對して其責を及ばさるゝるが如き狀あるは甚だ心得難き次第なり、諸威國は歐洲中最も飲酒國の名を博したる國なりしが近來非常に節酒國となりたり、是れ畢竟國內各地方を通して人民謹慎の情厚くなり従つて酒類の賣買及其賣酒店數の割合大ひに減じたるによるなり、大英國に於ても近來個人的の良模範道義の勸誘并に對酒好味物の製造等に依て追々飲酒の量を減するの運に向へり、去りながら彼の禁酒法てふ法律のみによりて以て飲酒を禁ぜんとする場合には必ず背法者を出し既に最も有害なる實跡を呈し居れり、例へば日曜日と夜中或時間を経過したる後とは決して酒を賣るべからずとの善良なる目的を有する法律の發布さへも之と比例的の歩武を以て密賣酒店は續々として現はれ恣に其害毒

を流し居れりミッドル、セキス州の知事は近來一書を公にして密賣酒店こそ眞に盜賊の巢窟なれと云へり、依是觀之全然飲酒を禁ぜんと欲する禁賣酒法は之を概論するに其目的を達する能はずして而も政治界と個人間の不道徳を獎勵するものなり米國に於て屢々見るところなるが、或政黨家は禁酒主義者に約して曰く若し卿等にして我黨のものを議員に撰出せば我黨は禁酒法案に向て充分盡力すべしとかゝる約定を以て禁酒法を國內に布くに至らしめ以て其法律の實効を見んと欲するは實に愚妄の甚しきものと謂つべし、故に禁酒法の實行を促さんとして之を視察するの巡查にして自ら酒瓶を携ふるが如き奇躰を演ずると屢これありニューヨーク州の或人か禁酒問題に對して答へし語に、然り吾人は充分に禁酒法を贊するものなりと雖も之れが強行をなさんとするに至ては大反對なりと

抑社會改良を企てんと欲するものは百折不撓の精神を要す此精神こそ最も大切なるものにて權力は只道義力を助くるの一方法たりと知るべし、權力或は法律力の宗教力又は善人の實行より劣るものなるは明なるとにて前にも云へるが如く

真正の改良進歩は先づ人の心情を勸化するにあるものなれば勉強と忍耐とを以て事に當り古語に「善を以て惡に勝つべし」とある一言を肝に銘じ主として道義上精神上の進歩に訴へ刑罰法律の戒規は之を第二とするの覺悟なかるべからず、

希望と恐懼

天の合せ賜へるものは人之を離すべからずとは聖經の命ずるところなり、今之を擴張して社會上監獄上の事に適用するも希望と恐懼賞譽と刑罰とふ二つのものは決して相分つべからざるの理を見るなり、然るに世間恐懼と刑罰の過重せらるゝに拘はらず希望と賞譽とに至ては之を不問に付し去るもの多きは、何んぞや、之れ實に實際上頗る注意すべき點にして此の二者の分離は嚴に避けざるべからず、ベンザム、マコノキ、バルウイツク、ペーカ、クロフトン、チバルマイエル、ルムフォルド、プロックウエー、プリンクルフ、其他諸行刑法は決して完全なりと云ふべからずと雖も此賞譽と希望との力に格段の重きを置きたる點に於ては大いに賞賛すべきものなり、風と日光との争を記せる昔時の寓話に日光の温にして且快き輝きは彼の烈風のたけしき強暴力よりも更に勝りたりとは理の當然を示したるもの

にあらすや、去りなから日光も風も各其本領の内に於ては必要なる効力を有するが如く賞譽と刑罰とも各其制限内に於ては必要なる効力を有すと知るべし、

國家の働と個人の働

尙ほ且つ離すべからざるの一對方あり、一國と一個人、地方部と中央部との力是なりとす、是等の力も各其領分内に於ては最も必要なるものにて何れを無用として廢すべくもあらず、そは若し其一を廢して他の一にのみ依らんとする時は却て他の一をも其効を全ふる能はざらしむればなり、夫國家の重なる責務とは一個人の安全を守り且之を増益せしむるに外ならず、故に國家にして此制限を超えて以て其干渉を逞ふする時は其結果や屢有害のものたるを免れず、彼の恐るべき戦争迫害殺人官金私用其他公金浪費等の出來事は何れの世に於ても概して政府の失策に基かざるはなし、以て國家の力は善にも惡にも用ゐ得らるゝものたるを知るべし、然り而して宗教上道德上の感化は何の世に於ても必ずや一個人の活動に依りて世界に溢れ來るものにて即ち豫言者により説教師により慈善家に依り著述家に依り哲學者に依り或は各自單獨に或は同心協力して終に大改革を社會に及ぼ

すなり而してかゝる改革に向ては國家のこれに助力を與へたるは甚だ稀にして却て之に反對したると屢なり、例へば監獄事業の上に徴しても之が改良の起因は實に之れ一個人の活動によりしものなり、ジョン・ハワードの如きサライ、マーチンの如きエリサベス、ブライの如きソル、フオウエル、バックストン、ドクトル、ウィチエルント、マス、エチー、フェレシー、ペンザム其他多くの慈善家の如き何れも皆一個人の資格を以て終に大感化を社會に及ぼし果は政府をして其公權に依り其法律に依りかゝる事業を助けざるを得さらしむるに至りたり、惟ふに天下公衆に依り又一個人の批評に依り鋭く刺激感動せらるゝにあらずんば怠慢と優柔不斷とに陥るは殆んど政府の事業に離るべからざるの弊害にして何れの地を問はず、官吏に對する強大の誘惑は出來得べきだけ其尊榮に傲り出來得べきだけ其月給を貪り而して其なす所は成るべきだけ僅かなる勞力を費し成るべきだけ先官の蹤跡に従はんとするものになり、而も亦た他の一方に於ては一個人の最も注意し且盡力したる事業も政府の助力と奨励とを欠くは折角の企畫も其効を全ふし其組織を確ふする能はざるもの多しとす、

一個人の事業は必ず徐々として其歩を進め其活動や急劇なると能はざるが故に一般の社會よりは動もすれば輕侮せられ政府の急速なる活動に是れ依らんとするもの屢なるに至る、去りながら之を實際に徴するに決して急速にして事の成りたる例はあらず、昔者救世主が二人づゝ徒歩にて其弟子を謙遜と忍耐とに胸を固めさせて世に遣はしたる如く、爾來今日に至るも大なる慈善的の事業宗教上の事業は大抵其始めは微弱なるものにて所謂徒歩の速力を以て進路に就かざるはなし、然るに此微弱事業の多く集りたる結果は實に驚くべきの大事業となると恰も珊瑚の蟲が粒々相依り終に深き海をも埋め上げ珊瑚の島を築くが如し、抑も政府の權力は此世界が要求する道德の改良に向ては其効能甚だ弱きものにて一個人の盡力と精神力とは却て非常に強きものなり尤も此世の權力も一時は種々の惡徳を限制するとなきにあらずと雖も時としては之れが爲め却て其惡徳を益々強め且之を後世に迄傳播せしむるとあり、見よ温和と忍耐と誘導と宗教の力とのみは惡を其根底より抜き去り誠によく人の性質と感情をも改良し得るものなるを然りと雖も此事たるや實に困難中の最も困難なるものなれば決して一朝一夕

の能くすべきにあらず、

第三原則

世の所謂輿論なるものを採用するには最も鋭敏なる視察熟考を必要となす。

人民の聲は決して神の聲にあざると只に政治上のみならず慈善事業又は監獄事業に於ても亦然りとす、夫れ多數の意見又は勢力ある團體の意見なればとて決して正鵠を失せずとは信ずべからず又眞理は必らずしも多數の中に住すとすべからず却て屢々人の氣付かざる少數の中に之を發見するとありダンテの詞に曰く

誰かの方角に輿論の枉げらるゝといひに屢なりかくて感情は、智力を、取り、拙ぎ、と近代の實驗は人民多數の決議も帝王の專斷に於けるが如く社會全體の利害には無頓着にして屢愚蒙なる戰端を開き愚蒙なる立法を主張するものなるを證明したり英國の諧謔なる帝王チャールズ二世は或時眞面目なる顔相にて哲學者の集まれる帝室學士會に向て左の問を發したり
死したる魚の生ける魚より重きは、何ぞや、

と學士會の博士達は之を聽き帝王の口より出でたる事實は學問上に於て眞理ならざるべからずとて急驟にも死したる魚は生けるものより重しと斷定し、さて種々の説を附會して以て其事實を證明せんと試みたり、然るに多くの博士中或鋭敏なる思想家ありて靜に言を發して曰く、天皇陛下よ、陛下は左宣ふと雖も、其實生ける魚は死せる魚より重きにては候はずや、と其時王之れに答へて、予が朋よ、今卿は正しき行路を歩み來れりとて則ち多數者の頼み少きを笑ひ賜へりとなん、之れと同じく多數人の説の如き内又は國會の意見の如き又政府其他官衙より發する統計表の如き皆充分に之を批評的に觀察し以て其正否を定むるにあらずんば決して之を採て直に眞理なりとはなすべからず、

世に定論と稱せらるるもの、の中に就き實際上より之を探究するときは大に其非理なるを證するに足るもの多し、一例を擧げて之を示さん、彼は無宗教々育主義の如き現今既に定論として實施せらるゝところなり、勿論此主義の理に適ふ所あるは疑ひなかるべしと雖も人生に必要なるは皆に智力の教育のみにあらず其慣習を與へ實業的道義的の性質を養はしめざるべからず、是實に社會の幸福を増進

し罪惡を豫防し不徳貧困を滅却するに於て最も必要にして且有力なる方法たればなり、假令書を讀み字を書し數を解し其他の藝術をなし能ふ様教育すとも若し他の大切なる教育要素を忽かせにするに於ては愚昧にして害少き惡人を出す代りに狡猾にして奸智に長けたる大惡漢を生ずるに至るへし、現に英國警察事務には最も熟達の聞へある諸名家にして公立干涉寄宿學校の制實施せられし以來之を既往に比するに一層危險にして且處し難きの罪人を生したりとの眩きをなすは一大事實なり之れと同時に多くの學校中にて宗教的道義的の要素未だ全く湮滅せざりしどころには其結果大に見るべきものある也

獨逸國米國の監獄統計表に依るも民間に無宗教々育主義の普及する度は犯罪者入獄者の數の増したるを以て證明せらるゝに足ると云ふ、智識は勢力なり、然り智識は勢力なるべしと雖も善に對して勢力なる如く惡に向ても又勢力となるなり、惡魔と彼れの武器とは智識をもて特質とせり其之を用ゆるの目的は全く汚れたるにせよ、

監禁及び監獄作業に關する一般の誤謬

監獄の問題は今や官民共に之れか批評的檢察を必要とするの事柄となれり長期間獄内に監禁するとは罪惡防遏上欠くべからざる方法として各國とも之を過重し英國の如きも亦其譏りを免かれざるものなりき、而るに今日となりては罪惡を減するに一層有力なる方法は即ち行政的并に慈善的事業と加ふるに嚴正にして而も刻薄に失せざる警察の取締と此三つのものにあるとを發見するに至れり此方針に依りグロヂェスター州は四十年間に於て州内七個の監獄中より其六個を全廢し而して該州に於ける毎日の犯罪者平均數は以前より著しく減するに至りたりされは此方針にして恰好^{じやく}他の地方にも適用せらるゝに到らば同一の良効を收むるや疑なかるへし、

且又監獄に關して一問題となれる囚徒作業の事に就きても二個の謬説あり何れも其極端に達するものゝ如し、(第一)一方に於ては囚人に對して職業工藝を教へ若くは彼等を用ひて利益を得るの工業をなさしむるか如きは甚だ當を得ざるものなるを主張し其理由として良民と囚徒との間に自ら工業競争を起さしむるの事

を以てす是れ思はざるの言のみ彼等囚徒は既に正直なる職業界に於ては其競争場裡に敗を取りしか故に即ち此罪囚界に墮落せしものなりされは彼等をして力のあらん限りは其身體を勞し以て自家の糊口を營ましむるの方向に使用せずんは彼等は彼の作業上の競争より來る最大の損害よりも更に苛重なる租税を良民より吸取るの一原子として永く社會に存在すへし且又彼等を放免するに當り其出獄後に適實の技能ありて以て糊口の途も立つへしとの望みを有せしむるにあらすんは彼等は再び良民に對して害毒と失費とを被らしむるに至るものなり無能無藝の囚徒ほど社會の大厄介物なるはなし近頃英國監獄の或囚徒が其同囚に告げたる語に曰く我は七たび此監獄に投せられたり去りなから我は尙ほ勞働をなさるべし我最後の盜みに於て四百八十磅を得たり我此所を出るを得は復同じく盜賊の業を營むべしと夫れ國民はかゝる大悪人をして其懶惰と罪惡のまゝにて放免せしむるを肯ずべからざるなり扱又競争に就きて詳論せんに監獄工業と民間工業との競争は其實殆んど云ふに足らざるほどの少額なり是れ囚徒の數は幸ひにも自由人民に比する時は各國何れも甚た少數なればなり大英國に於

ては平均良民一千人に對して囚徒一人の割合に出てす且又囚徒の多數が一種の工業例へは靴製造壘製造等の如き工業に集まるとは甚稀にして自由職工に不利益を感せしむるが如きは誠に僅々たるとなり之を要するに囚徒僱工の一事は之を論駁するの點に於て未だ充分の根據なきものと云ふへきなり(第二去り)とて又他の極端論に於て實際經濟に合はざるにも拘はらず只々囚徒を以て實業をなさしめ以て利益を得るを唯一の目的とせざるべからずと主張するも亦是吾人の容易に同意し能はざる所なり此種の事實は殊に南北米州の或部分に實見せらるゝところにして同洲の或監獄の如きは既に全く獨立の會計を保ち居るものあり其結果の茲に至りしは必竟囚徒を職工受負人に貸與し而して南米に於ては之を居外雜居法に依て使役せしめ北米に於ては屋内雜居法に依て之を使役せしむるによる斯くて兩國共にますく罪惡の根本を助長し且其害毒を社會に傳播せんとす實に監獄は罪惡練習所たるの有様を現せるなり故を以て一層嚴密なる監禁法と一層完全なる改良法を施し一時は多額經費を要して不經濟の如き感を起すも結局其大體に於ては非常に罪囚を減するの實ありて大ひに有益なる彼の獨居制

の監房を作らざるへからざるに至る監獄の大目的たる獄内の囚徒を皆無に歸せしむるにありとは實に金言と言ふべき故に監獄制度の良否を驗するには結局社會全般の上に於て果して犯罪者の滅却せしや否やを知るにあり此實際の効驗こそ則ち監獄作業の利益如何よりは更に一層精確なる標準と謂つへし、

第四原則 正義

第四の必要な原則は正義なり正義とはよく物の兩端を衡量し決して一方に偏飲せざるを謂なり然るに世上往々正義を神聖の名稱をもて一極端なる嚴酷てふとに適用し或は一階級に屬する私益を保護して他の一階級に向つては其權利にも事情にも全く眼を閉ちて省みざるか如きにも適用するなり例へば財産の權利を保護する法律は各國共に極めて周密なるに拘はらず更に一層大切にしてい且貧民にまで普及するところの道義上の權利に至ては之を保護すると誠に薄きが如し蓋し貧困者は概ね自家の懶惰に起因するもの多しと雖も其多數の中には社會的或は遺傳的の緣由よりして止むなく貧困に陥れるもの亦なきにあらす自ら好んで貧困に陥り若くは故らに怠りて意を貯蓄に用ひず以て貧困に迫るが如

きの徒は固より嚴密に處分すへきは當然なりと雖もかく今日の貧困に墮落せしは全く他よりの關係よりせるものなれば實に哀憐を以て救はざるへからざるなり略言せば一の極端を避けんと欲して他の極端に走せ去らざらんとなり、今正義てふ意を短簡にして而も實際的に解釋せんと欲せば己の欲するところ之を人に施せと云ふ彼の金誠に外ならず而して之れか應用は單に個人的に止まるのみならず國際間に於けるも亦然り尙ほ此義を擴張するときは言はぬ禽獸に至るまでも宜しく此恩惠と注意の念を以て待遇すへきものなり况んや如何に墮落したればとて人は即ち人なれば更に一層の恩惠と注意とを加ふべきは固より言ふまでもなきとなり、

さればにや吾人か一滴の水一杯の飯を或は與へ或は與へざるの瑣事さへも之を良心に背ひてなすときは必ず相當の天罰を受けざるへからず彼の中世の壓制家アルバ侯ヘンリッ八世ロベスピール其他の奸徒の如き或は無名の師を起し或は殘酷の所行をなし以て人世を禍したるものゝ如きは必ずや其他人に與へし禍害苦痛と同一のものを其身に受くへきなり又如何なる慈惠心に充ちたる人と雖も

かゝる悪人に天罰の來るとは決して否まざるへし然りと雖も天は生々を以て其徳となす故に其悪人を罰すと云ふも之を滅亡せんと云ふにあらす畢竟之を懲戒矯正して終には圓滿なる幸福に導き至り彼の清淨潔白にして初めより嘗て犯罪せざりしものと共に其福樂を俱にせしめんとするにあり、斯くて天道は惡に克つに善を以てし凡ての惡心惡靈を勸化するに神聖至極の方法を以てし終には嚴正と仁惠とをして靄然として和合せしむるなり、夫れ人間世界の終局は正義全く勝を奏し萬民舉て天理の儘たるに至らんされは人類の開發を計り又は其改良を企圖せんと欲して單に權力のみにこれ倚らんとせば假令神明の權ありとも決して其目的を達すへからざるなり、即ち道義上の勸誘力に依り人々の心中よりして自ら善道に入らしむるの法に依らざるへからす吾人は人類進歩の前途をもて際涯なきを信するなり而して其無限の進歩は只此正義とふ理法の支配するものなるを信するなり、さて社會の權利國家の法律を侵犯するものに對し最も正義に適せる處分をなさんとするには先以て仁惠に充ち而も嚴格を失せざるの刑律を以て漸次彼等を矯

正するにあるなり、去りなから若し犯罪者を圍繞する社會の状態若くは祖先遺傳の慣習にして犯罪に至るに最も容易ならしむるの實あるに於ては大に其罪科に酌量を加ふべきものなりとす例へば遺傳的情慾に依て刺激せられ加ふるに無智と落魄とを以て昏迷せられ尙ほ其上にも兩親及社會が加へたる不親切等によりて終に罪惡に陥れる者の如き則ち是なり、抑も罪人の社會に起るは強ち其責を當人にのみ歸すへからす蓋し現今社會の法律なるものは尙ほ未だ大に不完全なるものありて人をして寧ろ罪に陥らしむるか如きもの少からす著者一日英國の或監獄を巡視したるに無情なる人民が濫りに不運なる囚徒を蔑如するに對し老練なる看守の之を戒めたるを聞けり其言に曰く「人民は獄内に在る囚徒を見れば忽ち叱咤して曰ふ大なる惡人よ汝の奸惡なる心情は其而相に顯然たり實に汝は罰しても、尙ほ嫌らぬ奴なりと是れ實に過酷なる言と謂ふへし抑彼の罪人か今日の如き憐むべき境遇に立至りしものは實に其もの一人の罪のみにあらず或は兩親自ら惡事をなして惡例を示せしか爲めさもなくは其子を棄て、省みさりしか爲めか或は生なからにして住ふべきの家もなく徳義上の教育とては更に受

けす臥床の代りに或は橋の下に或は人家の土間に或は街衢の邊隅に於ける穴の中に或は警察署の拘留所に或は貧民救助工場に若くは監獄内等に於て漸く其生長をなしたるものなるか故に終にかゝる悪人ともなり果てたるなれされば罪囚に對するもの豈是等の事情を念頭に記せずして可ならんやと實にかゝる罪人に對しては國家も亦其責を免るべからざるは誠に此人の言の如しそは是等の徒か此くまで罪惡に陥らざるの前に於て豫め意注すべきは國家當然の義務なればなり

又貧民に對するも同じく懲察すべきもの少からず即ち憐なる兩親より借財或は遺傳的の虛弱質若くは疾病等の不運よりして他人の曾て夢想だもせざる幾多の不利を其身に脊負ひ而して幾多の困苦艱難を嘗めて之れと戦ひしにも拘はらず終に現今の貧窶に陥りし者の如き豈深く察せずして可ならんや尤も彼の貧民中には故意に勞働を怠りし者も多々なればかゝる者には嚴しく處罰を與へて其精神を矯正すべきは勿論なりと雖も若し彼れに職業を授けなは喜んで之に従事するか如き淳良なるものには宜しく保護を與へて之を救助すべきは當然なりとす

和蘭及獨逸の農業殖民地の如きは縱令低廉なる賃銀を與ふるにもせよ出來得べきだけ貧民を集めて其糊口の途を得せしめんとを勉めり又ルムフオールド伯の計畫に成れる工場にしてペバリヤにある乞丐及貧民授業場の如きも今や著しく成效を奏するに至れり而して同時に貧民を處するには慈惠に富み而も嚴格に満てるの方法を以てすべきを證明しつゝあるなり

扱又罪人の罪に陥るは家庭の教育如何によると實に著きものにて昔殘酷なるアザライアの子アハザヤ王に就て記されたる彼れの母は其子の惡事を犯すに善き相談役なりしとある數語は其訓誡今に甚た切實なるを見るなり人間自然の成立よりするも母の感化力は善惡ともに非常に強大なる勢力を有するものなれば母の教育如何は實に社會の罪惡に對して最大なる關係を有するものと謂ふ可し有名なる著述家カーヂナルマンニング氏は或新聞に投書して曰く人間界にて最早齒牙に掛くるにも足らざるほどの墮落者と雖も其原因を究むれば兩親の不運と社會の狀態とか其當人に對して不利なりしより此に至りしもの滔々皆然りとグラスゴウエヂンポロイ其他人の群集せる都府に於て罪惡の盛に行はるゝは實に

驚くべき有様なるか其此に到るや抑も源泉あり今彼等貧民の實況を觀察するに彼等の多數は狹隘なる一室の内に群居し若くは長屋の或一と間に集り産所にも病室にも婚禮の式場にも食堂にも寢所にも作事場にも只一つの部屋の外は有せざるなり斯くの如き有様にして其生を送るに於ては恐く罪に陥らざらんと欲するも得へからざるの事情之れあらん、さて斯る蕪雜狹隘なる所に苦むもの多き世の中に他の一方に於ては廣漠なる土地を所有し或は空しく之を荒廢に委し以て遊獵歡樂の場所となすの富豪者あり實に斯くの如きの輩は天に對し人に對して大なる不義を行ひつゝあるものと云ふも敢て誣言にあらざるへしスコットランドに於ては殊に此種の狀態著きを見る想ふに何れの日か此慘狀を脱却し彼の苦痛に呻吟するの貧民を救助し得るに至るへきや長歎大息に堪へざるなり、刑罰を嚴にし懲戒を重くせんとするの場合には宜しく萬事の實際を究極し必ずや正義に戻るとなからしむるを要す夫れ人間の受くべき榮譽と尊敬とは既に其人の天賦に屬するものにて道義的能力に至りては限りもなく發達すへき價値あるものなり、喩へば人の心は猶ほ一粒の椰子の如し一粒の椰子夫れ小なりと雖

も其中には幾千歳を経て生長すへきの原力を包含するをかし人の能力も亦之れに類す假令墮落し果てたるものと雖も尙ほ其心裡には限りなく發達すへき活力を有し居るなり故に吾人は如何に微賤なるものに對する時も必ず其本末の價値を認めて以て之れに接すへきを忘るへからず、

第五原則 信心

凡て以上の諸原則に優りて罪囚の滅滅又は其歸善改良に最も強大の力あるものは眞正の信心則ち是れなりとす、夫れ炎々たる慾情の熱火を消さんとするには此慾情に打克つの非常力なくんばあらず、蓋し救世主に依て顯はされたる神明の慈悲力、未來永劫の喜望と恐懼こそ則ち其非常力にして人類の普通歴史に徴するも此慈悲力の人生を改良したる跡昭々乎として火を見るか如し是れ取も直さず信心の結果に外ならず、然りと雖も此信心の大義も亦漫りに稱道せられたるとなきにあらず是れ其本意に背くものと調つへし救世主嘗つて誠めを垂れて曰く、汝等若し互ひに相愛せばこれによりて人々汝等の我弟子なるを知らんと弟子等も善く此意を躰して仁愛

喜樂平和忍耐慈悲良善忠信溫和節節の諸徳を顯揚したり夫れ凡ての社會と一個人に取つて切要欠くべからざるものは神明の公鑑幽明を徹して動かじとの信是なり、そは此一點の確信は則ち正を蹈んで恐れす忍耐力行の刺激力となり又他の一方に向ては惡業慘酷頑冥不潔等の惡徳を行ふに強硬なる保障となればなり見よ仁は神明の全徳なり此仁徳救世主に顯はれて羈乎たり彼は人間の弱點遺傳の勢力數百世の積習が如何に打破し難きかを充分に洞知して深く同情同感を表し給へり乃ち是れか爲めに一身を捧げて犠牲となし我等の爲めに永劫の救ひを開き給へりこれを信する者は救はれ信せざるものは其罪定まる我等の神は焼き盡す火なりとあるか如く其寛なるや限りなく其嚴なるや又限りなし信賞必罰毫厘と雖も違はず以て慈善家司獄官孤兒院貧院の擔任者を鼓舞活動せしむるに足る、夫れ此の如き希望と敬愛と畏懼とは社會を建つるの基礎たるべきものにして近代の監獄改良家エリサベス、フライ、其同盟者ボックス、ストン、コルニー及び他の人々か囚徒と司獄官に此信心の欠くべからざるを主張せるも宜なりと謂つへし瑞西一監獄の典獄エム、シユア、イ曰く、罪囚の罪囚たる所以は神明を恐るの恐れなきを

以てなり故に吾人の重大なる責任は彼等に此信心の大義を教ふるにあり蓋し宗教の光輝に依つてのみ善良の感情は燃へ來りもろくの美德は花を開けはなり世人は云ふ是唯言語のみと去りながら試みに宗教の力を借らすして罪囚の改良に着手せよ思ひ半に過ぐるものあらん、マヨック、クレーの傳を讀むに左の如き言あり、罪囚に向つて天國の樂を説くも彼等は下等なる眼前の娛樂より他に思想を浮べざるか故に恬として感を惹くとなし地獄の苦を話すも彼等はこれを虚偽として疑ふなり去りながら基督の十字架の死を説き示せよ、彼等か猛惡の感情も次第に融解し去て終に奮發善途に向ふに到ると、夫れ真正の宗教は社會の改良に欠くべからざる原則なり之を實際の國史に徴するも、ニユーイングランド、ペンシルバニア、スコットランド、和蘭、ウエール、スコルン、ウタール等の如き其効驗最も著しきものなり、之に反して不信心の國家に及ぼす惡害は千七百八十九年佛國革命千八百七十一年のパリス騒動其他輒近歐洲列國間互ひに常備兵を増加して其兇器を練磨するか如き皆其適例にして社會は之れか爲め幾許の禍を蒙れるぞ實に國民に眞正の進歩と自由を與ふるものは人類の父三位一神の神を拜する眞正の信心

にあるなり之れ決して忘るへからず、

第二章 監獄制度は一般に不完全なるを論ず

一難問

如何なる監獄制度を以て最良となすやは百年以前より盛に歐米に於て論究せられたる問題なり、之れか爲め幾多の書籍も著述され之れか爲め政府も幾多の委員を撰ひ幾多の委員會を開き以て内國に於ける調査をなさしめしのみならず人を外國にまで派して其實際を研究せしめたり隨て獨居房と雜居房の利害、刑罰的作業と收利的作業との得失、及監獄の建築法、管策法、視察法、其他治獄上の方針等にして幾多の變更と改革説とを提起するに至りたり、隨て幾百萬の大金は是等監獄論の變遷に應じて或は新監舎建設の爲め或は舊監舎破壊の爲めに費消されたり而して今や全歐洲に於て囚徒を分房制によりて隔離せしむるは最も良効あるべしとの感念大に勢力を占むると雖も尙ほ未だ監獄の最良法如何の問題は有識者の間に一致するどころにあらざるなり、

此十九世紀に於て言論上の討究と建築と破壊とに多額の費用を消盡したる結果

として追々有識者の感動を惹きたるものは從來最も有効にして且最も善良なりと認められたる監獄法すら其實は只効益の半面のみに重きを置き他の半面即ち弊害の點に於ては甚だ不注意なりしを發見するに至れり、尤も諸國に於ける適切なる監視と假出獄及び放免の結果より觀察して一結論の生せんとするものあり他なし監禁の年限を短くするに依り却て罪人改良の度を進むものあるを確めんとするとは是なり、蓋し長日月間獄内に繋留するとせば自ら囚徒をして我運命の定まれるを觀念せしめ終に自暴自棄に陥り毫も將來に向て希望と恐懼とを抱くとなきに至らしむればなり、

英國の監獄

英國の監獄は之を他の監獄に比するに其囚徒に對する監禁上の効力は一層優れりとは云ふもの、尙種々の悪習は去りもやらす再犯囚の割合實に非常なるを見るなり、或場合に於ては一人にして數百回の犯罪をなすものありさればとて窃盜犯強盜犯其他の犯罪者を長く監獄内に抑留するも再犯者の數は必しも減せざるなり、

何故に長監禁の効力薄きやに就ては種々の理由あり、若し囚徒をして健全に其身
 軀を保たしめ而して其制規の労働に適せしめんと欲するに、は、勢ひ彼等をして、良
 民界の労働者よりは更に優りたる待遇を受けしめざるべからず、殊に食物の點に
 於て然りとす、如何となれば囚徒として其監禁の不自由に堪へんとするには、勢ひ
 自由界に居りしよりは更に一層の滋養物を要するは明かなる事實なればなり、若
 しも囚徒に給するに外界に於ける最貧の労働者と同一食量を以てするときは、往
 々衰弱を極め死亡の患害を誘起するに至るべし、故に食物衣服住居及暖室の度の
 如き已むを得ず貧困なる良民よりは更に優りたる境遇に置かざるを得ず而して
 良民よりは之を見て極めて不當なる措置の如くに思ひ彼の刑罰の真意は主として
 不徳なる戯術遊技飲酒等を嚴禁し又一定の時間に起臥し嚴格なる管束の下に
 労働せしむるにありとを看過するなり、
 囚徒の食量に關して特に多くの困難を見るは何れの監獄法にも免かれざる處也
 例へば英國已決監の如き或者は其給與の食量を喫了し能はずして之を除すもの
 あり他方に於ては定額の食量尙ほ不足にして斷へず饑餓を訴へつゝあるもあり

又入獄當初の囚徒は過度の労働の爲めに食物の寡量なるを感ずる者もあり、

歐洲監獄の概況

歐洲各國に於ては近來監獄制度の改良に關し大に熱心を喚起したり就中和蘭白
 耳義、日耳曼、諾威、瑞典、瑞西、丁抹の如きは智識あり熟練ある司獄官を有し以太利、佛
 蘭西、奧太利の如き之れに亞ぐ殊に瑞典と諾威に於ては皇帝オスカール一世の畏
 き大御心よりして善良なる結果を生じ又多くの監獄熱心家をも出すに至れり、
 ム、ア、イ、ム、ク、イ、スト、エ、ム、デ、リ、ナ、リ、ベ、ク、ロ、ナ、エ、ム、シ、エ、ス、エ、ム、ア、イ、ル、ベ、ツ、テ、ル
 セ、ン、エ、ム、ボ、ル、チ、ラ、イ、シ、エ、ン、ワ、ル、ド、エ、ム、バ、ン、ク、其他の如き鐵中の錚々たるものな
 り去りなから凡て此等諸士の盡力あるにも拘はらず種々異様の罪惡は尙ほも全
 歐洲に瀰蔓し監獄の必要は未だ其度を減するに至らざるなり、

佛國の監獄

前節に記載せし諸國に於ては監獄問題に關する政府の盡力遙に人民より進み居
 れりと雖も佛國に於ては之れに反す蓋し佛國政府は軍備上其他の事件の爲めに
 全力を傾瀉するか故に社會を罪惡より保護するの點に至ては不當にも怠慢に付

し去れり然りと雖も敬重すべき佛國監獄協會の一組織は一個人の資格を以て監獄事業の進歩に熱心なる尊き慈善家の結合より成立てり、是等監獄改良家の姓名を列擧せんにエム、ボンチビル、デー、マルサンギーパロン、デー、ハウソンビル、エム、ラ、イ、エイチ、ラウツセル、エム、ヴィクトル、ユーゴ、エム、フオルナン、デー、ポルテス、エム、チャイレス、リュキッス(有目なるがら非常に)エム、エフ、エル、ホルベッ、ター、エム、リポット、エム、ベレンゲン、エム、レ、イコル、ビー、エム、ヂュ、フタル、エム、イー、ア、フコラス、其他の諸名家なり、かゝる有識なる人々の盡力するにも拘はらず從來政府よりは極めて冷淡なる協賛を興ふるのみなりき、

佛國監獄殊に巴理の監獄に於て刑罰の嚴酷なるとは千八百八十五年、エム、アイベス、ギ、オー、氏の筆に籍りて世に公にせられたり、氏は官廳の統計表を引證して佛國に於ては過去三十年來非常に囚徒の數を増したることを明示し其原因は主として奸惡なる囚徒を雜居せしむると出獄人保護の途なきことによるとなしたり、而して氏は其精密なる調査をなして巴理の或監獄に於ては恐るべき有様にて晝夜囚徒を群居せしめ老弱となく輕重となく大惡漢も小惡漢も皆一つ汚れと懶惰との間に閉ち込めらるゝと屢にしてまゝ暗黒内に投せらるゝとあり爲めに彼等は氣に惱まされ病に侵さるゝ等其外言語に絶えたる不道德を相犯しつゝあることを表明せり

千八百七十五年發布の短刑期の囚徒に對しては分房制を適用すべしとの良監獄法も只僅に或部分の監獄に行はるゝのみにて之を全局より見る時は全く無實の法文とはなり了せり、今吾人をして忌憚なく佛國國民を概評せしめば彼等は其國內の罪人を適當に處遇するの點につきては冷淡極まれりと云ふの外なきなり是を以て其罪人の數は恰も毒蛇の蕃殖するか如くますます増加し立法者たる者も殆んど當惑して最早此上の道とては彼等を太平洋中の島嶼に流し以て其自家の汚れの中に朽ち果てしむるか將た近傍英國殖民地に逃走して其良民を害するも爲す所に任せて顧みざるかの外なしと思はしめたり、

千八百八十七年プリンス、アラボトカイン氏は其佛國に於て實見せし監獄現狀を倫敦に於て公にしたり、氏の所見によれば佛國最良監獄と謂つべきものさへも實に淺ましき有様なり是れ畢竟下等司獄官の殘酷なるに因るものなり汚穢と不規

則即ち時としては非常の苦役を執らしめ時としては非常の怠惰に付し去るか如き皆惡弊の一ならざるはなし又或監獄に於ては頑固なる半狂氣の囚徒に藥用せしむるに唧筒を用ひ而して其濡れたるまゝにて極寒の時節にも捨て置くを見たり又或監獄に於ては其在監囚徒に毎日十二時間一種奇なる運動をなさしめ僅少なる休憩を與ふるのみにて數ヶ月間引續きて之をなさしめ終には之れか爲め狂疾を發するに至るも更に省みるところなく若し其囚徒にして苦痛の餘り號泣するものあれば直ちに之を捕へて暗室に幽閉し以て饑餓に陥らしむるもあり里昂に於ても囚徒の不徳と汚穢とは實に甚しく幼年囚の如きも只恐るべき肉慾の不徳を犯すを以て唯一の目的となし爲めに當人の精神益墮落し或は監房内或は教誨堂或は庭園等所に耻つべき所行をなすつゝありと又氏は左の一事を言顯はしたり曰く佛國に於ては他國に於ける如く囚徒の妻子家族か其夫の關係よりして屢々大なる刑罰を受くるか如き結果に接す即ち夫の不在より次第に貧困に陥り終には娼妓となり或は盜人となるか如き是なりと千八百八十七年に於て佛國の監獄協會は其最精密なる報告を公にしたるか其報告によれば同國小監獄の

囚徒一萬七千五百五十六人の中六千八百八十八人即ち全數の三分の一有餘は怠惰なる状態に放擲しありて一職業たも爲さず只空しく獄内に繋かれ居るものなりと

魯西亞の監獄

魯西亞大帝國に於ける監獄の多數は囚徒に對し殊に憐むべき女囚に對し其處遇の殘酷なるは實に道義上形骸上の汚穢に充てる焦熱地獄として世に表白されたり近來是等の監獄記事にして流罪者の筆になりたるもの頻々歐米の著明なる新聞雜誌に表はるゝとなるか恐く其記事中には或は故意に慘狀を捏造せるものもあるへく或は針小棒大の虚構もあるへしと雖も之を全軀より評論するに其多數の表白中常に同一轍に出づるの事項あるを以て見ればこゝに眞實の事實を含有するや疑ふへからざるなり試に彼等か表明する重なるものを擧げんに或監獄の監房の如き憐むべき囚徒を數ヶ月或は數年間全く交際を絶ち只單獨にして常に濕氣勝なる床上水の滴れる壁下に幽閉せしめ且囚徒は鼠の爲めに苦められ動作も讀書も共に禁せられ而して光線の透射甚不充分なるか爲め物見るとは殆ん

と難く又日々の食物の如き其品質最粗悪にして爲めに疾病を醸し甚しきは死を招くか如きとすら之あり空気の流通悪く常に便臭と混して其臭氣甚しく而して其身に纏ふの衣服若くは夜具の如きも甚薄くして且風を以て充たさるゝの有様なり斯くて恐るへき寒氣に曝露さるゝのみならず時に或は残酷なる笞杖の下に懲戒せらるゝとあるなり、

かゝる一般の表白に對し魯國監獄の爲めに辨護の勞を取りたるは即ち英國のランスデル氏なりとす去りながら氏は魯國の言語に通せず加ふるに僅々數ヶ月間に於て彼の大帝國を飛ぶか如くに巡視を了へ且之れか案内者たるものも魯國政府の官吏なりしを以て其觀察の他と異なるあるも敢て怪むに足らざるなり、近來の魯國監獄事情に通する名家の一人は巡遊者エドモンド・ノール氏に若くはなし氏は魯語に熟通し土民に接して自在に談話するの便を有せる人なり而して氏は千八百八十五年に魯國巡遊記なる一書を發行し中に魯西亞帝國の監獄及其囚徒を遇するの實況を最も詳密に記載したり終りに氏は魯國現今の監獄は英國に於けるハワード以前の監獄よりも尙ほ残酷なりとの旨を表示し且氏は魯國名家

の言を引證して魯西亞本國及西伯利亞の監獄事情即ち囚徒か其取扱の過嚴なるより或は自殺を圖り或は狂疾を發し中にも女囚の如きは獄官の爲めに其身を汚さるゝか如き醜態あるを表明せり、

勿論魯國政府は斯の如き認定に對しては事實無根なりと辨疏すべく若くは着々之を改頁せんと欲するも萬已むを得ざるものありと云ふならん如何にも其言の如く難者の言説を悉く正當なりとは言ひ難からんさりながら其言ふどころにして半は信すへしとなすも實に其扱の苛虐なるは恐るへき程の次第なり此問題に對し最も公平なる觀察を下したる記者の一人はジョージ・ヂケンナン氏なり氏は魯國內地を廣く旅行し親しく多くの監獄を巡察したる後其實際と意見とを新約克の「センチュリー・マガジン」に報じたり其報文を見るに甚だ穩當にして決して感情的の文字にはあらず然るに此報文すら尙ほ彼のプリンス、アラボトカイン又はステリア監獄と雖も決して世に言ひ觸らすか如き残酷なるものにあらざるべしとの信仰を以て行途に就ける人なり然るに千八百八十四年の四月に於て其實況を報

告して曰く「我意見は夥多の實例に依て全く變したり」と去りながら氏も魯國本土に於ける監獄は世間の唱導するか如く甚しきものにあらす之れか監獄官吏たる者も力を盡して其改良に従事せんとするの精神に富めるを決して疑ふべきにあらすと云へり、

魯國に於ける虛無黨及び反逆人の勢力は其強猛實に驚くべきものあり人或は曰く魯國政府は暗殺に依てのみ制限すべき壓制政府なりと憲法の制定なく新聞發行の自由なく又官吏の惡徳殘暴に對し之れに抗辨するの自由なきとは即ち人民をして暴力に訴へ以て其無量の怨恨を露らさんとするに至らしむる所以なり魯國人は多くの徳義を備ふる國民なり彼等は忍耐力に富み勞働力にも富み忠君の情にも富めり又彼等の多くは克己と任侠の精神に富めるなり又信教の點に至ても之を眞實なりと認むるときは熱心之に歸依するの風あり又近來の帝王中にも仁恵に富めるの君主多く就中亞歷山第一世及第二世の如きは著しき仁君なりき然るに第二世か彼の暗殺に罹らせ給ふに至りしものは畢竟其官吏たるもの制法の名を以て濫りに人民を虐遇したるによらすんはあらず實に魯國の一大欠點と

も謂つべきは國民困弊の實況を洞然瞭然に達し得ざるにあり、

亞歷山第一世曾て英國の巡遊者に語り賜ひて曰く世人は朕を呼んで專制君主なりと云ふ去れども其實朕か有する實權は比較的に少きものなりと之れ魯國の如き其國民間には神は天に在り帝王は遙か隔れて遠しとの諺ある程の大帝國を支配するには免れざるの事情なるべし而して凡ての壓制は屢々民を刑戮に觸れしむるに至り其慘狀謂ふに忍びざるものあるが是れ到底魯國が立憲制度を建て萬事の改良を施さざる限りは決して除去し得ざるの國憂なるべし故に國中愛國有志の士は熱心以て國家の改良を圖り殊に其監獄に對しては充分の力を盡さんとするもの多し今其姓名を擧げんにエム、ガルキテラススコイ、エム、ウルテンフェル、ドカオント、ソロホツアエム、フオイニツキ、エム、フリツシエム、デー、グロツトエム、ココブツエフエム、モールデンハウイルプリンス、オールデンボルグエム、ポール、ピルワンスキ、其他の名士なり就中有名なる改革家の一人はエム、エル、ラウカピツチニ、コフ氏にして實に氏の如きは殆んど聖人に近き人なり氏は大なる財産を父祖より受け継ぎ裕かなる金鑛家の息子なりしが全く其一己の富貴榮譽を顧み

す自ら其富豪の家を棄て、貧人及孤兒の爲めにモスコイの感化院に其居を占め唯淡然たる一個の院主として働き居れり。エム、サロモン氏は羅馬の監獄會議に於てラ氏か貧兒を救恤せん爲めに投じたる非常の金額も氏の貧兒間に及ぼせる道徳の感化に比ふる時は之を第二の位に置かざるを得すと公言せり。

他の國々の監獄

西班牙、葡萄牙、土耳其、埃及其他各國の監獄は大抵未だ改良の緒に就かざるものにて奸惡極れる者共を晝夜の分ちなく共に雜居せしめ之れに加ふるに司獄官の不徳壓制を以てするを其一般の特質となすか如し、然りと雖も西班牙に於ては稍々將來に望を屬すべきものあり即ちエム、ラスツルス、エム、エイ、ワイ、コルチットマダム、シー、アレナルエム、シルベラードン、エイ、キヤステルロテ其他の熱心なる監獄改良家續々輩出して大に盡力するところあればなり、モロッマの監獄に至ては其慘狀實に言ふに堪へざるものあり彼の未だ罪に染まざるものも其既に大惡に染みたるものも共に汚穢にして暗黒たる牢獄に監禁せられ而して其食物の如きも僅に其朋友又は訪問者の憐れみに依り漸く飢餓を免かるゝもの少からず、マホメツ

ト教國政府か一般に囚徒を虐待するは戒しむべきことなり尤も基督教國政府と雖も時に或は罪囚を虐待することなしとせざるも、日耳曼大帝國の人民は百般の文物全世界の率先をなしたるものなり監獄學の進歩に向ても亦其功勞著し殊にドクトル、シュエリオスエム、ミツテルマイエルエム、ルイデルバロン、ホルツェンドルフ等有名家の指揮に依り實に其良効を收めたるなり、去りながら千八百八十六年に於て觀察に富める記者エム、グツテンツ氏により北獨逸國の小監獄は之を概論するに分房の制未だ適當に行はれず囚徒互に談話をなすか如きことありて結局監獄は盜兒の談話所たるを免かれざるの狀あり其結果は施ひて國內に普及せんとする旨を公言せられたり、尙又千八百八十八年に於てエム、エム、ホルツェンドルフ氏とシャグマン氏同著の實に信用すべき、ハンドブック、デス、グファングニウスエヘンスにて書には普魯西監獄の拘禁囚千人中八百人までは再犯者なることを發表せり又同書は獨逸監獄組織の改良を主張し且つ監獄法の不完全なるより大に憂ふべきの影響を國內に及ぼせるものあることを主張せり。

最良なる監禁

最も進歩したる邦國に於ける最も改良したる監禁法と雖も必ずや大弊害の以て之に伴ふあるを免かれず、英國其他の各國に於て善良の聞へある監獄にして政府は囚徒の爲めを慮り宗教上道徳上の教師を雇聘し囚徒をして充分其精神を翻正せしめんことを勉むるものと雖も彼等は容易に其精神を改むるに至らず、而して思へらく勤勉するも懶惰に終るも其傭工錢は實に僅少ななるものなり到底放免後の資力とするに足らずして只一時の糊口を凌ぐに過ぎざるべし、されば在監中は出來得べきだけ職業を怠るに若かずとの決心を爲さしむること屢也蓋し他日自由を得るに當りては再び彼の惡業をさへ働けは數ヶ月間監内に勞作して得たる工錢に幾十倍するの巨財をも一擧して得ること實に容易なるを知ればなり、且又監獄に於ては囚徒は自ら法律と社會に向て憤恨の情を激成し其心中常に平なる能はず是れ道義心の發達と其修養に甚だ不適當なる所以なり殊に惡心の未だ深からざるもの、如きは我か妻子の消息に掛念し爲めに其生命を短ふするものあり又其親族縁者は身分ある人にて若し通常の交際を保ち得べくんば大に訓

誠誘導の益を與ふるの人なるべきも之れには自由に親炙する能はず其れと同時に舊惡友には頻々相接するを得るか故に益す惡心を増長するものあり、且又假令教誨の道整備せりと雖も元來獄内の生活は自由界とは大に其趣を異にし彼の自由界にての惡黨にも會するを得ず酒も飲み色に耽るか如き人の財物を強盜竊取するか如きの惡所爲も之をなさんと欲するも得へからざるの境涯なりかゝる境涯にあるに際しヨシ其精神を發揮せりと稱するも果して之を自由界に活用するの曉に至り確乎不拔なるへきやは是れ吾人の容易に信を措く能はさるところなり。

大英國和蘭白耳義ペンシルバニア其他の國々に於ては分房の制を短刑期囚に應用し大惡人と雜居群集するを防止せるにより著しき其効を收めたり、然れども是等善美の監獄も只權力のみにては其監禁に伴ふの弊害を除去し能はさるなり、彼の分房法に依り他囚よりの腐敗を防止するは大に嘉みすべしと雖も此法により彼の罪囚の眞心悔悟を促さんとするは未し分房の方法は將來に於て更に罪惡を増長せんとするの憂ひを免れしむべしと雖も自由生活の狀態を以て之を遇する

能はさるか故に其及ぼすところの偏激なるは前既に陳ふるが如し去りながら之を雑居制に比すれば其勝れると萬々なり之を物に譬へば分房監禁の囚徒は猶ほ籠中の鳥の如く若し自由自在の活世界に立たしめなば未だ充分の活動をなし得ざるならん要するに監獄の最大職務は囚徒現今の狀態より成るべく其悪心を増長せしめざらんか爲めに監禁するにあるなり、

右等の理由により經驗に富める司獄官中往々慣習的犯罪者を眞實に改良するとは如何なる監獄法によるも其在監中に於ては誠に稀少なるを證明す尤も稀には著しく改良し其改良や只に一時に止まらず終世之を持續するものなきにあらざると雖も是等は殆んど例外とも謂つべきなり全軀囚徒改良の薄き所以は畢竟事柄の止むを得ざるものあると人類の心意及其性質の上に慣習の理法相働くによる、再々司獄官に依て初めの犯罪者——殊に年少なる犯罪者の入監し來るや恐懼憂愁の情に堪へず數日若くは數週間は殆んど爲すところを知らざる者の如きも年月を経る漸く久しく獄内の事情に通ずる漸く熟するに従ひ次第に心中に變化を生じ彼の恐懼の念は何時しか消失せ却て一種未驗の快樂をさへ感ずるに至るさ

れは満期出獄の時に及んでは其改良はさてをきまず——犯罪の巧者となるなり」と言はれたる如く久しく監獄に監禁するほど人はいよ——鐵面皮となり破廉恥の所業をなすも少しも恥ぢざるに至る加之此世の權勢と自由人民とに對して怨恨の情を重ね外面上は一に官吏の指揮命令を遵奉するの風を装ふと雖も其實恐るべきの偽善たり、

英國其他の監獄に於ても賞表の制を設け又假出獄等の特典を設け以て大に囚徒の希望を喚起せしめ前途立身の光を與へたるものありと雖も其勢力尙ほ未だ微々たるの有様にて到底監獄組織に隨伴するの弊害を償ふに足らざるなり屢々吾人の實見するが如く最も監獄生活に慣れたる惡漢は既に監獄の實情を知悉するか故に其在監中は誠に從順を表し且眞心改良せるものゝ如しと雖も之は只利己の念より一時かゝる外貌を装ふに出でたるものにて其心中を窺ふに改良はさてをきまず——悪心を増長しつゝあるなり彼の再犯者の多數は其初犯の監禁中に於て多くの賞表を得たるものなるか如き以て之を證するに足るべし慣習的犯罪者は監獄に入るを以て殆んど其常となし少しも之を恐れ憚るの念慮を有せず熟

知は輕侮を生むと云へる諺は即ち彼等の實驗するところなし屢々監獄に出入して其状態を熟知せしむる程監獄を侮り國法を輕んずるの念を増さしむ

監獄内の死亡

監獄に關する幾多の害惡中監禁の結果として死亡者の増加する傾向を呈せるは其一なりとす抑も健康を保全するに最も必要なる二條件は空氣と光線とを自由に感受し得しむるにあり然るに監房の狹隘なると墻壁の高きとは何れの監獄に於ても此點に不便を與ふ勿論世にかゝる弊害なきものもあるへしと雖も之を概論するに監獄は實に肺臟病を起すに最も適當なる所と謂つへし今囚徒にして肺病の爲めに死する者の數は之を通常人民に比するに其多きと二倍せり此は是各地各國の監獄に現存する一大事實なれば宜しく注意すべきものなりとす且又尙ほ一の記憶すべきは監獄内にて病原を得而して出獄後に於て死亡するもの甚だ多きと是なり然るに是等は囚徒死亡者の統計表には上らざるものあれば若し之を統計するときは監獄の爲めに死亡を速くもの實に驚くべき多數なるべし或インヂアンの監獄及び合衆國南方の監獄に於ては死亡の數實に驚くべき程にし

て慘酷の責は政府の免る能はざる所なり

英國監獄の如き平常囚徒の健康に對しては大に注意を加ふるものすらも屢々非常なる不健康を醸さしむるとあり殊に其短刑期の者にして入獄前には温なる綿衣或は胸當等を着用するを常となせしに入獄後は俄に之を奪ひ去られ爲めに肺患を醸すと甚多し千八百八十八年「パルマルガセット」新聞社の代表者が出獄早々の一人と對話したる筆記を公にしたるとありしが其出獄人は一ヶ月の監禁に處せられたるものにして肺病の兆候を醸し居れり而して之が病因を説明して予は平常厚き胸當てを着るを以て習慣となせしに俄に之を取去られしが爲め病を起し二度まで醫師の診察を受けしも毫も其結果を見る能はず加ふるに監房の寒さ實に甚しく風邪は終に我肺を襲撃せりと曰へり

尤も斯る事實に對しては頗る道理ある辨明を試みる者あり曰く監獄の主眼は囚徒の健康を保つにあらすして社會の安全を計り罪惡を鎮遏するにあり故に罪囚たるもの其罪惡の結果として或は病氣を起し或は他の禍害を招致するに至るも是れ畢竟自業自得なり社會の安全を圖り罪惡の鎮遏を計らん爲めには飽く迄之

を監禁し其監禁の爲め死を來すか如きとありとも之れ已むを得ざるの結果なりと諦めざるを得ずと、確論と謂つべし去りながら茲に一の考ふべきことこそあれ成程監獄の目的は論者の言ふ如くなるべしとするも其之を達するに於て人を死亡に陥るゝか如き方法を取らずとも他に良法ありて其効果や同一なるものある時は宜しく之を採用すべきにあらすやとの點則ち是なり

流刑并に外役

各國共に囚徒を其獄内の工場に於て服役せしむるは自ら其地方の自由職工と競争を起し爲めに幾多の弊害を醸さんとし若くは既に醸せしものあるよりして屋内の作業に代ふるに屋外に於て土地を開墾せしむるの方向を取るに至れり而して此方向に於ても亦弊害の伴ふあるを免れざるは是非なき次第也、大英國に於ては其本國にも屬國にも長刑期の囚徒を用ひて重もに野外の勞役を爲さしむるの方法を執れり彼の濠洲の囚徒殖民地に於ては其流刑囚を用ゐて道路を開墾し又多くの土地を開墾し架橋築港其他宏壯なる煉化屋を建築せしむる等多くの公共事業に従事せしめたり實に是等の事は益は即ち益なるが如しと雖も退て仔細に

觀察するときは其成效の實際は其消費したる勞力と費用を償ふに足らざる也而して此流刑の囚徒を寛待し大に自由と幸福を得せしめ殆んど通常人民の生活と等しからしむる時は其影響本國に波及し國內囚徒若くは其貧民間に流刑は以て幸運を開くに足らんとの情を生せしめ其結果や犯罪を輕視せしむるに至るさればとて之を嚴待するに於ては其慘狀實に見るに忍びざるものを呈すボタニーペーホルト、マヤクソン、ノルフオルクラン、トマツクワター、ハーボル其の他濠洲罪囚殖民地の年報は則ち殺人自殺不義惡德毆打其他此世界の地獄とも稱すべき慘狀の記録なり管柱及絞架は此殖民地に於て斷へす用ゐらるゝの刑具なり斯く殘酷を極めたるが故に聖なるピシヨフ、ウイルソンは大に感憤して是等の殘暴に大反對を唱へ終に英國政府をして此有害の行刑法を廢するに至らしめたり

英國ダートムールに於ては尙ほ一小規模に據て囚徒を開墾事業に試用せしに地を開くこと随分多かりしと雖も其結果や同く悪くして言ふに堪へざるものありき則ち囚徒をして往々遁逃の企てをなさしめ其少額なる收穫は其消費せる勞力と費用を償ふに足らず殆んど一磅の金を費して漸く半「クラオン」の收穫あるに過

きざるほどなりければ徒に近傍の農民等をして官業の甚だ愚妄なるを冷笑せしむるに過ぎざりき。

佛國の流刑

佛國も大計畫を以てカイチーに於て囚徒開墾場を開きたりしが其結果や非常なる死亡と費用とを見るに止まりたりき、又ニューキアレドニヤに於ける經驗は之を言はざるこそ却て可なるべし實に同地の囚徒は絶えず其近傍なる自由人民に對して一の禍根とはなりたり。

千八百八十六年に於てエム、レン、モン、セロン氏は一書を世に公にしたり同氏はニューキアレドニヤよりの代表官として佛國中央政府に遣はされたる人なり其書を見るにニューキアレドニヤに於ける流刑の弊害及び腐敗の有様に對して痛快なる攻撃を加へ其中に曰く佛國は數年間本國に於て持て餘したる惡漢を續々ニューキアレドニヤに送りければ其數積んで七千餘人に及びたりし爲めに多數の官吏を派し多額の入費を損せしに其結果は却て不徳亂暴怠慢を以て彼等を放置するに止まりたり、かの最も單純にして又最も必要なる橋梁道路溝渠の開墾家

屋の築造の如き公共事業さへも故意に怠りて之をなさず之れが爲め集治監近傍の道路街衢は全く荒蕪の様になるに至れり、尤も英國所轄の罪囚は其流刑なるにも拘はらず有益の作業は之を勉強し殊に橋梁道路及建築の如きは著しく成效を奏せり是畢竟其遇囚法の不完全にして今に至るも尙ほ其舊態を改めず終に一國の面目を汚す如斯の有様とは成り行ける也。

さて佛國か其流刑囚を遇するの法を見るに本國にて持て餘せる最も兇惡なる者共に籍すに最も放恣怠慢の狀を以てし謀殺故殺其他極惡の罪科を犯したるものにまで之に與ふるに非常の寛待を以てするなり、エム、モン、セロン氏は一人の囚徒にて三たび死刑の宣告を受けたるに三たび其赦免を言渡されたるを證明せり、又他の一例を云はんに極惡なる女囚にして其以前二人の子供を殺害したるに之れさへ無罪として放免され加ふるに再び結婚することをも許されたり然るに結婚後又候小兒を殺害したりと云ふ凡そ斯の如く猛惡にして其惡心を改めざる者に只僅なる監禁の後之を免し或は自由に土地を與へ或は器械金錢までも之れに貸與し之れに加ふるに彼等相互の間に結婚をなすことさへも獎勵し斯くて人殺し

の男と人殺の女と盜賊と娼妓と似た者同士の夫婦を作り之を認めて官吏も僧侶も皆共に祝賀すとは抑も驚歎の外なき次第ならずや千八百八十四年のことなりかゝる惡漢同士が新夫婦となり未だ二晝夜を出てざるに其新郎は新婦の首を斬らんとして現場に取押へられたり然るに間もなく其捕縛を脱して森林の中に逃げ入り尋て土人の家屋を燒燬したりき囚徒の亂暴狼藉概ね斯の如きものあり之を約言せばニユーキアレドニヤとバイン島囚徒の狀況は殆んど地獄に彷彿たるものなり、

監獄の秘密と弊害とを概論す

歐洲開明の國々に於ても其監獄法は多少の弊害を以て伴はれざるものなし或は此點に就ては種々辨護の道もあるべきならん曰く人間の所爲に過失あるは其免れざる所にして凡そ人間世界の組織に一として弊害の伴はざるものなしされば此監獄組織に其弊害あればとて何ぞ必らずしも深く咎むるに足らんや、と去りながら茲に吾人の注意せんと欲する弊害は特に監獄組織にのみ存するものにして彼の人性の弱點より生ずる一般の弊害にはあらずるなり而して是れ畢竟監獄は通常官廳の如くなる能はず頗る事の秘密に隠れ易きを以てなり勿論中央政府より巡閱官を派遣して精密に査察せしむるの國々もあり其外定期監獄の巡視をなすものなきにあらずと雖も而も其視察や未だ全きと能はずして其視察の及ばざる餘地頗る多く乃ち此餘地に於て彼の恐るべき殘酷と怠慢とは其威を逞ふするなり、

英國裁判所の拘置監

監禁の弊害に就て最も顯著なる實例の一つは千八百八十七年英國内務大臣の撰定に係る刑事被告人拘置監の調査委員が其報告書を公にするに及んで世に知られたる事實なりとす、今其委員の姓名を列舉せんに判事ソル、エー、ウィルス佐官ソル、イー、エフ、ヂュ、ケー、ン國會議員ソル、ロベルト、エヌ、フアウレルと尙其他に二人の紳士と都合五人なり此委員の報告こそ實に英國社會の注意を喚起したるものにて大に矯正の策を講ずるに至らしめたり是れ英國は百有餘年の間活潑なる法律と慈善家の働により遇囚法改良の爲めに幾多の委員を設け幾多の巡閱官を派し又幾多の費用を費したるに拘はらず今尙ほ其弊害の帝國內殊に其主要なる都

府の裁判所拘置監に存したればなり

又此委員の報告に依るにイングランドとウェールズの裁判所百八十九ヶ所の中眞に満足なる有様を保つものは實に僅々にして其他は殆んど言語に絶えたる程の有様なり即ち人間の日常其生命を保つに欠くべからざるものすら之を欠き且治獄上最も嚴戒すべきの亂雜群居は是れ其通患にして所謂惡人中の惡人と稱せらるゝものと婦人幼童若くは成人にして無罪なるべき者又は判然無罪なる者とを一つ所に混居せしむるなり、

又他の場所に於ては刑事被告人は形の如く分房さるゝと雖も其實際を窺ふに只身軀に苦痛を與ふるの外一も取るべきところなく彼等は方三尺の狭少なる監房内に閉込めらるゝのみなり而して其監房の或ものに至ては常に濕氣暗黒に満ちて寒威強烈に又或ものに至ては温熱其度に過き汚氣充溢し空氣の流通甚不便なり其他のものに至ては坐するに床なく若し之あるも只敷石或は鐵板の床あるのみなり、

又調査委員は男女の分房に關して左の事を謂へり「男女は分房すべしとの監獄法中極めて初歩の事すら尙ほ且つ實際に行はれざるなり」と又語を繼で曰く「或場合に於ては兩便を達するにも二人乃至八九人の面前に於て之をなさしむるを得ざる始末にて其惡臭は他の惡臭と相和し殆んど堪ゆべからざるの有様あり」と而してかゝる殘酷なる拘置監の名稱も現に指摘せられたり、

抑もかゝる憐むべき状態の下に年少の婦人又幼童にして中には道德を有し全く罪なきものをも彼の盜賊娼妓其他奸惡なる醜類と數時間若くは數日間相群居して隔てなからしめ之れに加ふるに拘置監より裁判所に或は一監獄より他の監獄に轉送せらるゝに際し殆んど無辜の被告人も兇惡殘猛なる罪人と同一檻車に搭載せられ爲めに大害を蒙るに至らしむるなり、

而して茲に特に記憶を要すべき一事は是等委員が實に數代の間有名なる司獄官又は慈善家の盡力したる監獄に於て尙ほ彼が如き弊害あると見出したること是なり、夫英國の如き自由制度大に行はれ公私の別なく或は訪問に或は巡視に鏡意監獄の改良に従事する國に於て尙ほ其弊害を一掃し能はずんば彼專制なる魯西

亞モロツコ又は土耳其の如き國々に於て其監獄に慘狀の存するあるも何ぞ怪むに足らんや。

凡そ監獄と稱し其墻壁の存し監房の存する所には必ずや管理上の危險的秘密を合むは殆んど避くべからざるが如し、是れ畢竟適切なる巡視をなし能はざると其監獄官の習慣的自負心に起因するものなり尤も英國にては期を定めて監獄巡察をなすの法を實行すと雖も裁判所拘留置監のみは例外たりしなり去りながら其巡察を嚴にせし監獄すらも尙ほ弊害あるを發見せしことなれば國民一般は非常に不滿の感を起し斯くの如くんば隠し得らるゝだけの秘密は今尙ほ隱微の間に存して依然其害毒を逞ふするやも計り難しと疑念湧出大に其注意を惹きしなり

暗黒塲裡の博士ワインズ氏

合衆國に於て萬國の監獄を巡視せること新約克の故博士イー、シー、ワインズの如く廣き者は他になかるべし氏は決して鋭敏なる批評家にあらずと雖も彼の「監獄事情」と題する大著述に於て世界の暗黒塲裡は殘酷を以て充さるゝものなり就中監獄は最も暗黒たる場所にして人の觀察に遮斷し易き所なり彼の監獄の墻壁は

罪人の逃走を防ぐに足ると共に批評家の有益なる批難をも防ぐに足るものなり囚徒を待つこと甚だ酷に只懲戒は苦痛をのみ之れ施し以て足れりとなす所の監獄官は其實眞實の監督嚴密の探察は之をなし得ざる也と言へるが如き適切の言と謂ふべし之を要するに何れの監獄にても多少此等の語の適中せざるはなかるべし。

監獄の弊害殊に都會より遠隔したる監獄に就て其矯正改良を圖るには先づ第一に監獄の巡視及び其情願許容の實權は決して之を中央政府の執權者にのみ一任し或は監獄部當局者にのみ放棄するが如きことをせず宜しく方法を廻らして其地方の新聞記者若くは名望家をして相當範圍内に於て各囚に近かしめ以て獨立不羈の觀察をなさしむるの用意なかるべからず然るに此方針に向ては各國とも尙ほ未だ甚だ遅々たるの有様なり抑も自家權内に屬するの事項を觀察するに自家權内に屬する人を以てするが如きはあるまじきことにて既に行政上の原則として認定せらるゝ所なり必らずや門外よりの忌憚なき評論を要するは啻に監獄事業のみに限らざるべし然るに世間此點に注意をなすもの果して幾何ぞや、大英

國に於てすら尙ほ此用意足らざるか故に囚徒をして非常なる禍害に沈淪せしめ不正と壓制との下に呻吟せしむるもの蓋し少々ならざる也。

米國監獄の弊害

舊世界に於ける監獄制度は概して欠點と失敗とを以て其特質となせり、さて大西洋對岸の大共和國に於ては其實験果して如何と云ふに亦是同様にて或點に於ては更に一層不満足なるものあるなり米國の住民たる歐洲にての持て餘しものを混同せること夥く隨て一般に不義不徳の所行には同情を表し易く爲めに惡人に向て嚴正なる處刑を加ふるに躊躇するの傾あり殊に肉刑を加ふるには甚だ躊躇す、雖も是實に正直なる勞働者をして惡人の害毒より免れしめ且婦女の徳操小兒の善性を保護するに切要なるものなり、此故に米洲に於て少くとも其大勢力ある合衆國に於ては罪人處刑の緩慢なるより其害毒を社會に醸せること既に顯著なるに至れり而るに尙ほ肉刑を加ふるの不可なるに付ては歐洲各國よりも此米洲に於て更に熱心に辯護せらるゝを見る而して其結果や罪人に對しては其罪惡を増長せしめ道德秩序を重んずる人士に對しては無量の害を被らしむ。

今犯罪人に對する米國一般の感情如何と云ふに之を三種に大別するを得べし第一は其罪惡に就て其豫防にも其處刑にも殆んど無頓着不注意なるものにして大惡至極の者は最少費額を以て其都度處刑をなすべしと云ふにあり第二は全く感情的に支配せられたるものにして是等の主張者中には事理を辨へ居るもの多しと雖も只叨りに道義上の勸誘を以て治獄の本旨となし以て其改良を計らんとするものなり之れ蓋し熱したる慈善家或は宗教家の腦中より起るものにて其精神や誠に善しと雖も盜賊浮浪者其他の惡漢をして容易く其惡道に陥らしむるの影嚮あるに於ては決して首肯すべからざるなり彼等は愛と云ひ信神と云ふと雖も畢竟其愛や真正ならず其信神や只に表面上に止まるものと謂ふて可なり罪囚を遇する此の如く緩慢にして以て其改良を計り以て社會の安全を保たんとするも豈にそれ得べけんや概するに合衆國は之を歐洲各國に比してかゝる表面的の慈善を施すこと更に一層甚しとす。

第三は米國に於て尙少數なれども幸に漸次増加の運に向へる眞の智慧と眞の人情とに依て罪惡の害毒を撲滅し以て其國家を救はんとするの人士あり就中有名

なる人々を擧ぐれば内務大臣エドワード、リビングストン氏、ベンシルバニアの監獄改良家キヤレブローテス氏、ダブリウ、ブラットフォールド氏、フイリツプ、シ、キヤレツト氏、イ、タオンシエンド氏、アール、ヴオツクス氏、シエー、ライツル氏、エム、マエー、キヤシデー氏、シエー、バルクレノ氏、博士、シ、ウイスター氏、博士、アウルト、シエー、テ、ウイリガン氏、シエー、ダブリウ、リ、ズ氏、又監獄學の探究に於て有力なる教授フランシス、ウイ、ランド氏、コンテクチャット州のビルスブリス兄弟、ヨルヂニヤのエイチ、シ、グラデー氏、インヂアナのチャレンス、エフ、コツフィン氏、ミシガンのシ、デー、ランドル氏、シ、ウイ、アール、ボンド氏、ロバート、エ、ビンゲルトン氏、イスライル、シ、ジョーンズ氏、ダブリウ、フエムフレノ氏、エ、エイチ、ヒツユツクス氏、ヘンリー、ダブリウ、ロールド氏、シエー、ニコルソン氏、新約克のトマス、エデー氏、アイザツク、ライ、ホツボル氏、アイザツク、グイ、ベ、カル氏、シ、デー、ワルチル氏、シ、デー、クロツク、博士、フオスグード氏、博士、リ、ベル氏、チャ、レンス、エル、ブレイス氏、ダブリウ、ビ、レツチウオルス氏、ダブリウ、エム、エフ、ラウン、ハ氏、博士、イ、シ、ウイ、ノス氏、エイチ、シ、モー、氏、及び、エ、エ、ブルツシ、イ、リ、ノ

イズの博士、エフ、エイチ、ウイ、ノス氏、チャ、レンス、イ、フイルトン氏、シ、マクロリー、氏、及び、シエー、ダブリウ、ブロムマル氏、マサチユ、セツツのエフ、ビ、サンボル、ン、氏、シ、ダブリウ、ケー、ブル氏、シ、トフツ氏、及び、ダブリウ、エフ、スバル、テイ、ン、グ、氏、カリフォルニヤのイ、デー、ド、リ、ミストル、ウツド、ヴオルス氏、及び、イ、ア、ール、ハイ、ト、ン、オ、ハイ、オの將軍、ブ、リ、ン、ケ、ル、ホ、フ、氏、エ、キ、ス、ブ、レ、シ、デ、ン、ト、ヘ、ス、氏、及び、博士、エ、シ、ペ、イ、エル、ス、氏、ヴ、エ、ス、ユ、ン、シ、ン、の、エ、イ、オ、リ、ト、氏、及び、エ、イ、イ、エル、モ、ル、氏、ロ、イ、ド、ア、イ、ラ、ン、ド、の、テ、ル、ソ、ン、ヴ、イ、ア、ル、氏、及、サ、ム、エ、ル、オ、イ、ス、テ、イ、ン、氏、メ、リ、ラ、ン、ド、の、シ、エ、ス、ク、リ、フ、非、ス、氏、ニ、ユ、ハ、ン、フ、シ、ヤ、イ、ア、の、エ、ス、エ、ス、ド、ツ、チ、氏、ニ、ユ、セ、ル、シ、の、エ、ス、ア、リ、ン、ソ、ン、氏、メ、イ、ソ、の、シ、エ、ス、ビ、ン、氏、及、ダ、ブ、リ、ウ、イ、ラ、イ、ス、氏、ミ、チ、ン、タ、の、エ、イ、チ、エ、イ、チ、ハ、イ、ト、氏、及、び、博、士、エ、ム、シ、ダ、ナ、氏、テ、ン、チ、ツ、シ、の、博、士、ビ、イ、デー、シ、ム、ス、氏、其、他、既、に、死、し、た、る、者、生、け、る、も、の、ど、を、合、し、て、合、衆、國、の、各、地、に、散、在、せ、る、所、の、人、々、な、り、是、等、熱、心、な、る、改、良、家、は、非、常、の、注、意、と、方、法、と、を、貧、窮、と、罪、惡、と、の、防、遏、豫、防、に、盡、し、た、り、き、而、し、て、彼、等、の、希、望、は、道、義、勸、誘、を、以、て、其、方、法、と、な、す、所、の、禁、酒、會、例、へ、ば、シ、カ、ゴ、の、故、シ、ヨ、ン、ピ、ー、ガ、ウ、氏、エ、フ、エ、フ、エ、ル、メ、ン、ド、ル、

フ氏及びアン・ドレウ、バックストン氏等の組織にかゝる類ひのものにより格別なる助援を受けます。其効力の著しきを致せり。

又かの貴ぶべき合衆國の一團躰なる合衆國監獄協會の如き新約克フィラデルフィア其他に於ける合衆國社會學協會の如き其餘多くの基督教傳道會社及感化院の如きは何れも監獄改良に向て最も必要な働きをなすものにして多くの紳士貴女は之れに加はり以て運動の大中心となり居れり。

去りながら合衆國一般の人民をして安全なる罪惡處遇法及其豫防法は此くの如きものなりとのことを知らしめんとするには尙莫大の盡力を要するなり、蓋し同國に於ては感情的の慈善主義最も其勢力を占め居ればなり近く之れが實例ともなすべきものは千八百八十六年マヨルヂニヤ州のアトランタに於て開會せられし合衆國監獄會議にて知らるべし該會に集りし人々は實に非常の多數にして殆んど歐米間に未だ曾てあらざりし程の大會なりし此大會に於て固より有益なる演説及論議の多くありしは疑ひなしと雖も尙も感情的慈善主義により以て監獄事業を全ふせんとするの傾き著しく見はれ中にはかの似非慈善にして囚徒を費

澤に陥らしむるの遇囚法をも尙ほ益々擴張せざるべからずとの愚説を唱ふる者さへ多かりし、去りながら博士エフ、エイチ、ワインズ氏の在るありてかゝる方針に大反對を表し其弊害の量るべからざるを唱導したり氏は囚徒の費澤に陥れる一班として下の如きことを指摘せり曰く、或監獄に於ける囚徒の食物は驚くべきの佳品なり現に某監獄の如き其朝食には「ビステーク」ビスケット「バター」等のものを用ひ又晝食には更に一層の美味を調へ飽く迄之を食ふて後尙ほ菓子を用ゆることさへ屢あり晩食の如きも亦之に準じて實に佳良の食品を給するなりと。

合衆國最良の監獄として有名なるフィラデルフィア分房監獄に於てさへも其食物は獄外の最貧民をして欽羨せしむる程なり、此に就き博士エフ、エイチ、ワインズ氏は千八百八十八年二月に於て左の如き證明を公にせり、食物は品質の最佳良にして又其品量も頗る多く或は蒸羊肉、炙豚肉、野菜、ソーブ、漬菜、火腿を與へ日曜日に於ては尙此上に佳美なる炙牛肉を増加するなりと、又曰く囚徒は毎週發刊の新聞を看讀することを許され且太鼓とホルント(喇叭の一種)を除きては如何なる樂器をも許さるゝを以て彼等は毎夕六時より九時迄共に相集りて音樂會を催すも

其自由なり其他彼等は壹萬巻を藏する書籍館を有せり而して此監獄には七百二十五の監房あるのみなるに千八百八十八年の調査によれば其囚徒の數千人の餘に上れりと謂ふ去れば一監房毎に一人以上の囚徒を入れ置くや論を俟たず此れが取締法に於ては甚だ嚴にして二十三匹の最も猛烈なる西伯利亞獒犬をして夜間斷へず監内を巡視せしめ居れり。

彼のアトランタ監獄會議の開會に少し先たち觀察力に富める英國の旅行者ウイリヤム・サオンドル氏は米國全地漫遊の後合衆國の東部は兇暴なる乞丐の徒群をなし夜中の通行は殊に危険なり田舎地方に至りては到る處浮浪徒出沒して擅に人家に立入り無禮にも坐敷に押上り以て堂々救助を強請し若し之れに應ぜざる時は倉庫なり納屋なりを燒燬すべしなど脅喝す而して終に監獄に送らるゝに至れば彼等は此處に恰も小極樂を發見するなり則ち日用の必要物は不足なく備具せられ智識上にも精神上にも皆適當の快樂を與へられ食物には國內の最良品を以てせられ衣類には清潔と注意とを盡したるものを以てせらるゝなりサウン・ドル氏余に云て曰く米國に於て盜賊をなすは最も易き業にて此業に達するには

殆んど何の力をも要せざるなり盜賊の一人にて寡婦と孤兒とを艱めしこと新約克府に其比を見ざるの惡漢さへ捕縛後僅に五ヶ年の禁錮にて事濟みたり而も其當時裁判官は之れか宣告をなすに滿眼の涙を以てし全法庭の官吏も皆涙を流したりと而して此極端の慈愛主義こそ却て各州の罪惡流行に大關係を有するなり」と實に米國に於けるかゝる例少からざるなり。

米國の有名なる著述家シー・ドッド・レイナル氏は千八百八十七年「ニュー・ブリュクストン・レビュー」雜誌の名に記述して曰く「合衆國の監獄は其遇囚法に於ては尙ほ野蠻の風を免る能はざるもの多し彼の模範監獄として格段に慈惠主義を施すものゝ如き或は慰愉的の講義讀書娛樂祭日饗應花卉賞表等の方法に依て監禁の嚴峻なる威力を緩ぶるなり」と而して氏は此緩慢なる遇囚法に對して批評すらく「斯の如き改良監獄が果して囚徒を改良するに足るべきや」と氏は米國にて賢明なる小數人の間に行はるゝ「罪囚を集めて之に良食を給し之に良家屋を供へ安樂に其日を送らしむるは實に謂はれなきことなりそは罪惡の量は之れが爲めに減少せざればなり」との意見の正當なるを表明する者なり、ワルテル氏語を繼て曰く「合

衆國一般の人心は改良監獄の果して感化力ありや否やに就ては未だ信用を措くに至らざるなり是れそもく何の故ぞやと氏は更に筆を進めて合衆國并に英國が適用せる遇囚法即ち罪惡慣業者に對し短刑期の宣告をなし幾度となく放免し幾度となく監禁するの愚を指摘して曰く我々は彼の罪人たること全く明白にして機會もあらば盜賊人殺しをもなさんとする惡人を警守せんが爲めに非常の金額を費し彼れ果して犯罪せば又之れを捕へんが爲めに大金を費し已に之を捕ふれば又之を審問せん爲めに大金を費し漸くにして判決し之を監獄に入るれば則ち鄭重なる待遇を與へて更に不自由を感せしめず暫くにして其刑滿ち期終るに至てや又た其害毒を社會に加へしめんとして放ちやるなりと實に合衆國に於て極端に罪囚惡漢を寛待することは屢々彼等の道義的改良を度外に附せしめ其實殘酷なる處遇をなすと同一の結果を來すなり殊に南米の黑人及黑白雜種人を多く監禁する監獄に於て最も然りとす。

南亞米利加貸下囚

南米の諸州に於ては久しき以前より農耕法なるものを適用し則ち全幹の囚徒若

くは其大部分の者を工事受負人に貸渡し或は土地開墾に或は植物培養に或は鐵道の架設運河の開通石炭採掘等の業に郊外に於て服役せしめ居れりそもく是等の諸州が此制度を布くの理由とする所は蓋し左の如きものならん。

吾人は社會の兇行者を支へんが爲めに一圓の費用たりとも負擔することを好まざ宜しく彼等自らをして自ら口を糊せしむるの方法を取るべきなり或は之が爲め四肢五體を害するありとも或は肉體及靈魂の滅亡を來すありとも是れ吾人の顧慮する所にあらざるなり彼等若し放免の後再び罪を犯して入獄するが如きことあらば今度は一層長く監禁して以て嚴格處遇をなすは勿論たるべし彼等にして其勞働の爲め死に瀕するが如きことあらば是れ死せしめて可なり如何となれば自業自得の致すところにして吾人の敢て關する所にあらざればなり之を要するに吾人の希望はかゝる惡漢を社會より除去するにあれば事の如何に係はらず正さに罪囚が苦むべきの苦みを吾人の肩に負荷し或は吾人の財囊に影響せしむるが如きは斷じて取るべからざるなりと。

斯の如き理由を以て是等諸州の中には全く一定の監獄法を廢するに至りたるも

のあり而して囚徒一人に對し幾許の利益を得せしめよとの結約をなして之を受負人に貸渡し既に貸渡したる後は全く囚徒の事には關係せざる方法を取れり此方法たるや少くとも眼前の費用を減ずる効能あり而して多くの實例に徴するも生來の懶惰漢をして漸次勞働に進ましむるの結果を見はしたり且又南米諸州に於ては監獄以外の良民に對し勞働上の競争を起すが如き思も甚だ少きが故に殊に便利多しとす或米國の監獄家は得々として左の事を語りたり、吾人は強盜竊盜拘摸の徒を良民の内に放ちて勞働上の競争をなさしめんとす、それは彼惡漢等が墮落して此監獄に來れるの大原因は其自由界に生活するに當りて只々惡業を以て生活せんことを企て絶へて生産的勞働界に立ちて競争することを知らざりしにあれば吾人は此惡習慣を打破し以て勞働界に競争するの力を得せしめんことを望めばなりと。

南米の諸州に於ては一般に此方法を適用して囚徒を勞働的に懲戒し其結果大に見るべきものありと雖も亦他の一方に於ては之れが爲めに言ひ解くべからざるの殘酷を醸し居れり。

千八百八十四年及千八百八十五年に於てメレーランド出獄人保護會の會頭ジョーエス、グリフィス氏は英國「ハワルド」協會に一書を送りて自ら南米の或州を巡閱したる報告をなせり即ち其諸州の囚徒は所謂受負人に貸渡されて勞働するものなり氏は此制度に伴ふ一つの有害なる傾向をもて無暗に長刑期を執行するの惡風を助成すとなせり該諸州に於ては幼童も男女も區別なく皆此奴隸に等しき苦界に沈淪す而して其犯罪を問ふ時は甚微小なるもの屢これなり彼の報告書に曰く「ジョルマコヤに於ける一千二百四十三人の貸渡囚中其百人は十歳以上十六歳以下の少年にして其四百人は十六歳以上二十歳以下のものなり又或監獄内に於ては卷烟草の箱を盗みたる爲め五ヶ年の刑に處せられたる二人の小供あるを見たり而して是等の監獄に於ては男女分房のことさへも甚だ不注意にして獄内に於て出産を見ること屢あり且其不徳は嘗に囚徒間に於けるのみならず甚しきは監獄官吏すら之れに與り居るなり尤も夜間に於ては彼等囚徒は堅固なる監房内に繋かれ糞犬と看守とは巡回して之を警戒し若し逃れんとするものあるときは直ちに無慘の死をもて報せらる鐵道線路建設の爲めに傭はれたる場合の如きも夜

間は柵内若くは車中に閉込められ犬及邏卒に依て戒護せらるノルス、キヤロソナ州に於ては過る二ケ年間に千九百六十六人の囚徒中其二百三十七人は逃走し百四十人は死亡し而して九人は逃走を企てたる爲め斬殺されたり其後の經驗に徴するも貸下囚作業法の結果はますます悪しきを顯はせり。

テキサス州の公報によると千八百八十五年より千八百八十六年に至る二ケ年間に於て逃走したる囚徒の數二百三十六人あり而して其逃走の或場合の如き堅固に「ライフル」銃もて身を裝ひたる二人の者卒然囚徒勞役場に入り來れり然るに之を看守する番人は只短銃をもつのみなりければ終に之を防禦すること能はず看すく三十六人の囚徒を彼の惡漢の爲めに奪ひ去られたり尤も右の内八人を除きては盡く再捕されたりとはいへかゝる暴舉をさへ企つるものあり又同州の或部分に於ては二人の兇漢突然顯はれて十四人の囚徒を劫奪せしことあり其外同州よりの報告を見るに二年間に於て二百二十一人の死亡者ありし中其十八人は直ちに殺戮されたるものなり尙ほ之れに類するの報告極めて多し而して是等の報告は悉く官廳の公報にかゝるものなれば事の最も確實なるものなり。

千八百八十七年に於ける監獄及慈善會に關する新約克萬國報知は南米國の囚徒出役場の慘狀を序して曰く、普天の下何一つ恐るべきものなしと云ふ惡漢無賴の徒どかの婦女子とを同一の監房に入れ置くが如きはそもく亦何等の野蠻ぞやと、又同雜誌はジョルヂヤ州の貴婦人等如同州の立法部に建白したる一書を載せたり其文に曰く、無責任なる者の手に鐵砲と武器とを渡して以て囚徒を戒護せしむる如き抑此州に於ては囚徒受負人の便宜により黒奴或は白人種にても頗る下賤なる者を用ゐて看守となす而して罪の輕重を問はず同一の鐵鎖に繋ぐか如き少年者も女囚徒も共に混して顧みざるが如き殊に精神上の改良には更に意を用ゐず唯愆情を違ふして名狀すべからざるの不徳を行はしむるか如きは決して理に協ふ能はざる制度なりと。

千八百八十五年ランネッシー州衛生會々長博士ヒュー、シムス氏は該州の囚徒間に存する恐るべき死亡を痛歎して職務上よりの一報告を公にしたり、該州監獄の一に於ては年々の死亡囚徒一千人に付百四十七人の割合なり且氏が他の種々なる報告中にかゝる事態の面前には人情なるものは驚き果て、立ちすくめり而

して我米國の世に誇りたる文明も今は恥ぢ感ふて其顔を隠さるべからず吾人は實に其慘狀に驚くものなり一たびは任俠と公共の精神に富めりともまで評判を博せしテンネシ州も今や天下公衆の前に立て自ら殺人犯者たるの責を免れざるに至れりと是等の言は決して偏見妄斷なる外國人の口より出でたるものにあらず苟も一州の官吏として確めたる職務上の公言なりア、十九世紀の末期に於て合衆國の各州が其數千の囚徒に對するの處遇法は實に尙ほ斯の如きものあり。

米國地方監獄

立國の躰をなせしより尙ほ未だ年所を経ざる彼の銳氣ある五千萬の人民は舊世界の各國が其監獄上に經驗したる成效と失敗との蹟に鑑み何事も其覆轍を踏まざる様なし得へきの便宜を有しながら皆に其大監獄に於けるのみならず其地方小監獄に至るまでも或二三の例外を除きては大抵監禁の大目的に於て失敗せざるものなきは何ぞや合衆國の最も信據すべき統計表によるも罪惡と監禁者の増加は一般人民の増加よりは一層急速なる割合を以て増加すると確むるに足る。

而して米國の士民中最も愛國心に富み教育の度も亦高きものは公けに彼の地方監獄に於ける結果の甚だ不満足なるを探究す、合衆國監獄協會の實務委員はセントルイスに開かれたる監獄會議に於て同會書記博士アイ、シー、ワインズ氏の調印ある公務上の報告をなせる中に左の如き痛言激語あり。

「若しも或不可思議なる方法に依て我合衆國內二千の地方監獄の屋根を取除くを得て其中に伏匿する所の實況を有躰に一見するを得せしめば此議會よりも此國民よりも驚憤の聲は一時に發し皆に一國の津々浦々に達するのみならず遠く地の極にまで達すべし尤も此多數監獄の中には砂漠中に「オーセス」の點在する如く僅に善良の監獄もありと雖も其大數は所謂渺茫たる大砂漠にして殘酷汚穢怠惰惡德暴言等は漫々として充溢し見るものをして轉戰慄に堪へざらしむ」と。

夫れ此表白は是れ千八百七十四年と云ふ近年の調査に係るものにて合衆國監獄に關する最良の報告なりとす、爾後十年を経て千八百八十三年七月北米評論(雜誌)の名に於てエルマイラ感化監獄長ズイー、アール、ブロッツウエー氏は「今日米國地方監獄の現狀は此處彼處に例外ありと雖も概して彼のハワード氏が十八世紀に

於て英國地方監獄を目撃したる當時の有様と同じきものなりとのを云へり同氏は米國治獄上の實驗に於ては何人と雖とも之れに卓越する能はざる所の入り。

米國地方監獄に關して同様なる全躰指斥論は千八百八十八年世に公にせられたるオハイオ州公立慈善會社第十二回の年報にも之を登せたり該會社員中には此有力にして進歩したる州の知事并にゼネラル、プリンシパル、ダブリウー、エーチ、チ、フエー、シー、パイオルス氏其他の貴顯紳士をも網羅せり其報告中の一節に曰く、米國に於ける公共事業の中に就き地方監獄は其最も不完全なるものなり而して我オハイオ州の監獄も亦其不完全中の一たるを免かれず勿論之を他の各州に比較せば大に進歩したるものあるや疑なしと雖も之を全世界に徴し其最も進歩したるものに比すれば劣る數等にして吾人は決して誇る能はざるを信ずるなりオハイオ監獄の有様や十中の八九は精神的傳染病院の如くにして罪惡の稽古場とも謂つべきものなりと是れぞ千八百八十八年に於て米國中最も進歩したる州の一に於ける監獄の事情なりと知れ。

國家的怠慢に屬する米國の例證

新約克インターナショナル、リコールド紙上に於て明識の聞へあるカリホルニア人サンフランシスコのイー、デ、ド、リ、氏は太平洋沿岸の各州に於ける慈善的及行刑的獄政の甚だ不整備なる有様を説明せり其言に曰く吾人は主としてカリホルニア州に於て其運動を試みつゝあるものなるが其目的や單に謬妄なる學說の爲めにするにあらずして實に社會に現存する凡ての惡習を洗滌せんには必ずや之れが矯正法なかるべからずと信すればなり慈善的事業を適當に施行せんとするには必ず此に一定の學理を有せざるべからず然るに我米人の考察是に出でず只一時の感情の支配するところとなり却て一定の主義によらんとを主張するものに向て疑を懐くものゝ如し而して其結果や一の良効を收め得ずして了るものなりと氏は又言を繼て曰く我太平洋沿岸の地方監獄は罪惡の養成場にして恰も傳染病院の如し不運なる多くの者共を老弱となく男女となく其罪質の如何に關せず衛生法の適否に拘はらず一に之を混淆雜居せしむ……實に此處には囚徒階級法なるものも存せざるなりと氏は之を證せんか爲め示すに統計表を

以てカリフォルニアに於ける貧困と罪惡との非常に發達せるを表はしたり、而して其是に至れるの源は必竟立法者たるもの學理を根底にせざるに依るとなせり、果して以上の表白を以てジョン・ハワードの死後百年有餘即ち千八百八十七年に於けるカリフォルニア州の實際を穿てるものなりとせば其他の各州が進歩せざるは驚くに足らずと謂ふべし。

之を以てドーリー氏は慈善事業及監獄事業の進歩を計らんとするには學理的の原理を應用すると最も必要なりと主張せり、即ち一時の感情に依らんより寧ろ原理原則に因て以て之を管理すべしとなすにあるなり是れ實に吾人の熟考を價すへきものとす、且又合衆國に於ては官吏の交代極めて頻繁にして爲めに事業の成效を妨くると多ければ宜しく官吏の位置をして永遠に安固ならしむへきの必要と別に官途に就かす而も獨立の運動に依て社會の改良を計らんとするの人の向て愈其不拔の精神を發揮するの必要とを指示せり、元來米國人は貨殖の道に汲々たるか上にも政黨の勝敗によりて官吏の交代をなすを其例となすか故に是非なく匆卒の間に法律を制定し若くは慈善事業を竣了せんとするの愚を學ばしむる

の傾きあり。

千八百八十四年セントルイスに開かれたる監獄會議に於てウィリアム・エム・エフ・ラウンド氏は合衆國の地方監獄に關する驚くべき欠點を公言せり、氏は新約克監獄協會の書記にして最も才名ある人なり、氏の演説や同會議に於ける有識の士は何れも其説の着實なるを信したりと雖も其多數の議員は未だ之を信するの明なかりき而して當時該地方の新聞記者は左の如きことを記せり。

「ラウンド氏が其論文朗讀の終結を告げんとする頃には氏は實に同會議に於ける最も不入望の人なりしは疑ふへくもあらざるなりと。」

米國人の多數は其國內に於ける事業に對しては成るべく華麗に言ひ表はすを好み其實際の甚だ不完全なるを省みざるを常とす。

近來新に合衆聯邦に加盟せし或州に於ても同じく監獄上の最も惡しき弊害を持つ込みたり例せば千八百八十四年ミネソタ州の監獄協會の報告を見るに當時該州の監獄に於ける慘憺の顯象を登載せり、則ち該州監獄の或ものに於ては極惡非道の男女をして自在に交話せしめて之を制することをなさざるなり、同報告書中

に曰くラムセー地方監獄は種々の蟲類の爲めに囚徒の害を被るもの極めて多く其食物にすら種々の蟲の群走するありグロリン地方監獄は臭氣紛々たる穴藏なりドクラス地方監獄は二個の牢獄を有し其實全く地下に設けしものにて殆んど地中の石炭庫と彷彿たりと其他數多の實例を掲けたりしが何れも排水に不完全なるは實に恐るゝに堪へたるものなり暗黒と汚穢と昆虫との害は何れの監獄にも殆んど其特質となすものゝ如しウイノナ市監獄に於ては其掃除を乞食の手に委したれば之を怠ること久しきものあり他の監獄に於ては五人の囚徒換氣窓より逃走せしに今尙其儘にて放擲せるあり然りと雖も怠惰無頼の徒は却て此る汚穢の中に住ふをもて喜びとなす蓋し其規律緩慢にして而も佳良の食品を與へられ且煙草弄牌及び酒の如きものすら用ふることを許さるればなり去りながら犯罪軽くして夫々極悪に入らざる者に取ては誠に痛苦の上に痛苦を感せしむるなりイリノイスの博士エフ、エイチ、ワインズ氏は該州の監獄の一に於て白人種の男子と黒人種の女子と姦淫をなせりとの告發を受けしも之を糺すことなくして免せることありと云へり。

米國諸州及加奈太に於ても時として無辜の證人が極悪人の罪を證明せんか爲めに其極悪人と共に監禁せらるゝことあり前に引照したるミンチンタ報告によれば盜賊の爲めに品物を盜まれ且毆打せられたるものあり其盜賊は捕拿されたるも保釋人を立てしか爲めに放免されたり然るに憐むへし彼の被害者は旅人にして保釋人を立つる能はさりしか爲め却て永く獄内に呻吟したり千八百八十六年の調査によれば新約克州に於て三百十七人の無罪なる證人は空しく監獄に繋かれ居れり。

米國は亞細亞及亞非利加の諸州に向ては多くの宣教師を派遣すと雖も其内國の狀況を顧みるときは未だ注意の普からざる所多く所謂人を救ふに急にして自らを忽にする者なり去りなから吾人の記憶を要すべきは此合衆國の監獄官吏中實に尊敬すべきの人に乏しからず彼の近頃病に罹りたるペンシルバニア地方監獄の典獄の如きは即ち其一人にして既に同僚某は氏に關して左の言を云へり。
氏が監獄を管理するの大主義は常に天を畏るゝの力を以てするにありしど。
かゝる典獄なりせば如何なる監獄法にても之をして良効を收めしむるを得へし。

而して合衆國に取りて最も名譽となすべきものは官私の別なく監獄に對して宗教上の感化を重んずることなり、而して其結果も甚だ宜しく之がため眞に敬天愛人の大義を悟り來るもの頗る多し、斯く米國に於ける小數の人々は其國內に行はるゝ監獄の弊害を實際的に改良せんと力むるに拘はらず中央政府及各地方官の交迭頻繁なるか爲め之を全軀より云ふときは囚徒の上に好結果を見ること困難なるを免れず北米に於て四五の大監獄の高等司獄官は稍々長く其地位を保つものありと雖も他の地方監獄に至ては概ね其郡長の交迭と共に必ず其交迭を被るを常とせり而して其郡長なるものは只該地方の政治的黨派間に人望あるものを以て充つるものなれば其人の果して監獄事業に適當なるや否やは措て問はざるなり、シカゴのシー、イー、フェルトン氏は二十五年以上米國各地の大監獄の典獄たりし人なるが千八百八十八年に於て地方監獄は全く轉々たる「フットボール」(蹴球)の如く政治上の勢力變遷に連れて兩黨の間に彷徨するなり、官位官職は政黨か其威力を逞ふする唯一の動力なりと謂ふべしかる次第なるか故に僅少の例外を除きては米國地方監獄は實に嫌惡すべきものたるなりと。

又ウイスコンシン州の公立慈善會社は千八百八十七年其報告書に該州の有様を記載して曰く「通常の地方監獄は其亂雜と懶惰と下等人との雜居を以て僅に良心を存する監禁者に二重の大刑罰を受けしむるに拘はらず極惡の罪囚に向ては何の刑罰ともならざるなり而して事實上官吏は賄賂を得んが爲めに却て斯る不規律を獎勵するが如きことあるなり」と、米國より郵便の達する毎に監獄事業の弊害を云はざるもの殆んど稀れなり殊に郡長を政黨間の公撰となすより此不潔を起すの一因をなす、新約克州中最も觀察力に富める人より近來英國ハワード協會に通信せる其文に曰く「我米國の地方監獄は現に郡長一顧の支配下にあるものなり而して郡長は常に其地方政黨間の重立ちたるものなり、そも郡長は餘程手厚き報酬を受くるものにて或郡に於ては一人毎に毎年數千弗の多きに達すと云ふされば一見して明なるべし我新約克州のみにて郡の數六十以上あり而して之れに郡長たるの希望は即ち政黨か其勢力を得るに最も倔強の機關たるなり」。

合衆國の監獄事業は斯く哀むべき有様なるも國民の之に無頓着なるは實に奇態と謂つべし、彼の活潑なる米人も此事に關しては毫も其智力を用ひざるか如し多

額の金銀を浪費し又罪惡の増加をも顧慮せざるは誠に怪むべきの至りなり、之を以て是を觀るに米國は今後郡長又は判事の登庸法に就き一大改革をなさざる以上は其地方監獄に向て果斷なる改良をなさんこと到底覺束なかるべし、去りながら近來に到りて監獄にて最も嫌忌すべき衛生の不注意男女雜居の弊害は其實大に減却したるが如し米國の監獄協會は其數多しと雖も中に就きオハイオメリーランドイリノイスニューヨルクマサチューセツペンシルバニアの諸州にあるものは大に將來囑望すべきものなり。

茲に格段に注意すべきは米國の大監獄に従事する重なる官吏が地方監獄の官吏と大に其趣を異にして其中には有名なる紳士貴女を網羅することなり、此點に於ては恐く大英國と雖も凌駕する能はざるべし合衆國に滿ち亘る共和的精神は監獄をして殘酷の誇りを被らしむるが如きは殆んど稀なり、米國監獄の弊害は寧ろ寛漫に失し怠惰不注意及有害なる雜居等より起るを多しとす、尤も南米に於ては屢々以上の害惡に加ふるに殘酷を以てせり加奈太司法官の報告中加奈太の監獄視察官ツエ、マリ、モイラン氏の筆に成る地方監獄弊害の記事を登載せり固よ

り其報告は米國及殖民地に於けるの經驗なりと雖も不幸にして歐洲各監獄にも尙此れと全様の弊害を發見せらる、其報告に曰く吾人の意見によれば地方監獄は其之を撲滅せんと欲する罪惡の習練所にして而も最も便利なる場所なり此内に於て種々の學業を學び得て以て世に害惡を傳播するなりと、又此に附記すべきは英國の殖民地中殊に加奈陀、濠太利、新耳蘭の地方監獄が一般に合衆國の地方監獄よりは勝れること是なり。

合衆國エルマイラ監獄制度

新約克のエルマイラに於ては廣く名譽を博したる成年男子監禁の模範監獄あり、其囚徒の數は殆んど八百人にして不定刑期と稱する一種の方案を基礎とするものなり、現今に至るまで該監獄には宗教上の教訓大に欠乏したりと雖も其他の點に於ては非常に注意を喚起すべきものあり此模範監獄にては十六歳より三十歳までの罪人にして其刑期五ヶ年を超へざる初犯者を監禁するを以て常となす、而して囚徒を三等の階級に分てり初めて入監するものは之を中等の階級に編入し入監后役業品行學業に由て充分なる賞表點を得たるものは之を移して最下級に

下すなり去りながら若し其賞表點を得るに於ては六ヶ月にして最上等の階級に編入し若し其最上等の階級にありて尙ほ六ヶ月間謹慎を表すときは此れに六ヶ月の假出獄を許さる而して一旦假出獄を許されたる以上は何れの地方に至るも随意なりと雖も若し其假出獄期限内に於て品行に過失あること明白なるときは再び監獄に引戻され其刑期の満つる迄監禁せらるゝなり尤も彼の假出獄期限内に於て不良なる品行もなく只管謹慎を表するに於ては其殘刑期は全く放免せらる。

エルマイア監獄は囚徒をして毎日八時間の勞役を執らしめ而して其餘は囚徒の教育上に力を用ゆ之れ此監獄に於ける特殊の現象なりとす近傍の學校よりは絶へず六七人の教授又は教師來り種々の問題を設けて講義をなす該典獄の言ふ所を見るに作文繪畫圖按英米獨の歴史實業法算術地文學經濟學實踐道義學政治學等は其重なる講題にして又時々是等の問題に就きて囚徒を試験するの法あり其方法は最精密なる問題を印刷して彼等に其答文を爲さしめ若くは口頭問題を發して之れに應答せしめ其成績を鑑みて順次賞表を與ふるの制なり該監獄に於

ては工藝技術の實地演習人形細工模型製造圖案意匠鍍金術其他凡百の金銀細工等あり中には電信技術速記術の習練を受くる囚徒あるなり該監獄に於ける或囚徒の作文を見たりしにこは千八百八十八年の冬雪舞ひ風叫ぶの時監獄の鐵窓より我妻子の如何にも落魄して街衢を彷徨するの狀を見退て我身が囚徒にてありながら斯く幸なる有様に起居するを思合せ其所感を書きたるものなり今其一節を引かんに此監獄に於ては今や午飯時なり大なる食堂は香氣紛々たる味好き食物に充ち多くの囚徒は喜悅の色を以て低語き稀れには笑聲をさへ漏らすなり其食物は温にして其量は充分なり而して食堂は之を暖むるに蒸氣を以てし短き冬の日の終るときは忽ち電氣燈高く輝きて晝をも欺く計りなり囚徒は此明かなる光の下にありて己か好める書籍をも自在に繙き得るなれば冬の長き夜も何時しか過ぎて徒らに曙光の早きを啣つと屢々なりと此囚徒は充分なる満足を以て問を起して曰くかゝる待遇を受くるとして見れば正直律義を固守するは果して我身を益することなるや否やと而して其最終の結論として兎も角自由放免は彼れが希望する所なるの旨を表はせり。

エルマイラ監獄の監督者等は感化監獄圖書館として近代の著書中にて最有名なる者を網羅する書籍目録を備へ其中にはアレキサンデル、デューマス、ユウツニ、シエウ、ウルツル、シユルス、ホルチー其他の小説までも登録せり、且又新聞紙及び雑誌は自由に縦覧することを得べく尙ほ其上に略説と題する新聞紙をも該監獄に於て編輯し印刷し日曜日毎に之を發行することを許せり。

又該監囚徒が假放免に遇ふ前には既に彼等の朋友又は司獄官の知己に依て彼等の爲めに適當の地位を整へ遣はすを其常なりとす、實に恩惠も至れりと謂ふべきにあらずや斯る次第なるが故にエルマイラ監獄の囚徒は百人中八十人迄は改心すと謂へり、果して其言の如しとなすも(之は疑問にして未だ明白)其結果や囚徒に取ては甚だ幸なるべきも其影響の獄外に及ぶ所は實に罪惡を増加するに至るべきや免れざるべし、蓋し悪人に對して以上の如き多々の便利を得しむるを主眼とせば行刑と云ふの點に於て注意甚だ薄ければなり、且又茲に考察すべきは一旦エルマイラより放免されたる者の幾部分は其出獄後獨立の生計を營む能はざるよりして恰も監獄を救助院の如く見做し故意に犯罪をなし復監することこれなり。

千八百八十八年の報告書によれば過去十一年間に於て出獄者の數は千七百二十二人に達せしか其中百五十六人は亞米利加の他の部分に移され其二十五人は復監の目的を以て故意に犯罪をなしたるものなり、著者はエルマイラ監獄法の緩慢なる點に就きて該典獄シール、ブロックウエー氏に其意見を書き送りしに氏は甚だ丁寧なる書狀を裁して其監獄法の適用さるゝ所以を辨明せり、其言に曰く、世人が呼んで緩慢なりとなすものも其用方に依りては囚徒改良に充分の價値あるものなり、云々と、偕て此經驗に富める司獄官に對しては滿腹の尊敬を表すと共に茲に大に疑ひの存する所以は獄内の囚徒を斯く迄厚遇するの良果は其獄外幾千萬の人民に及ぼすの惡果を贖ふに足るや否やの點なり、そはブロックウエー氏も該監獄の囚徒中には假令初犯とは雖も或は強盜或は殺人等の大罪を犯したる者ある旨を記したればなり、試に見よ其犯罪の情狀は好し最惡の度に達せずと爲すも人を殺したる者に對して僅かに五年間の監禁を以てすと云ふが如き之を社會公通の法となし得べきや而して其五年の間も初め二ヶ年半の間に品行を慎めば餘の二ヶ年半は放免同様の寛典を受るなり若し其寛典に與かる能はずとす

るも残り二ヶ年半は或は中學程度の講義を聞き或は技術を習ひ或は小説を讀み以て其苦痛を軽くし之と同時に食物と云ひ衣服と云ひ又其居室と云ひ監獄外の良民よりも遙に優りたるものを享るなり、それ此の如くして果して監獄の目的を達し得べきや千八百八十八年の監獄報告書は稍注意を惹くべき事實を記載せり曰く千八百八十三年以後は年々囚徒の數増加し千八百八十三年には四百九十五人なりしもの千八百八十七年には七百八十五人となりたりと。

吾人はプロックウエー氏并に或米國慈善家諸氏に對して十分の尊敬を表する者なるもエルマイラ法の緩慢——少くとも其強盜殺人囚に對する緩慢に向つては之を公言せざるを得ず夫れ囚徒各箇の改良を圖るは監獄に取つて必要の事なるに相違なしと雖も是れより更に切要なるものは則ち良民社會の安全を保するに在り之れを是れ忘るべからざるなり、さればとて正當なる方法に依て飽くまで囚徒の改良に盡力すべきは勿論たるべし不定刑期の主義も其名の實に合はんことを欲するには茲に必要欠くべからざる用意あり他なし其囚徒にして眞誠改良の實なきもの又は奸惡極りなきものは何時迄と雖も其刑期を遅延し以て之れが改

良を促すべき是なり、エルマイラ監獄は此點に於て全く欠乏し居れり、是は該監獄は五ヶ年を以て監禁の最長期限とすればなり而して其實際を見るに未だ十分の改良をなさず自由世界に齒せしむるに足らざるものをも之を放免しつゝあるなり、余は斯る組織を以て現に英國に行はるゝ假出獄法よりも劣れるものなりと信ずるなり、五十年前即ち千八百三十五年ペペリヤの政府は不定刑期の實驗をエムオベルマイエル氏の手に屬したり多くの罪囚は一定の刑期を有せずして監禁せられ或は五年或は十年或は永遠に其習慣と性質の改良したりと認めらる迄繋留せられたり。

以上の事を記し畢りしとき著者はカリフォルニヤ監獄の委員イ、アール、ハイトン氏より一書を得たるに書中エルマイラ監獄法を痛く駁撃せり是氏か該法に向つて十分探究を遂げたる後則ちこゝに到れるものなりハイトン氏は又エルマイラ監獄醫よりの報告書を引照して近年該監獄内に於て二人の入殺しを出し又其在監囚は梅毒病の爲めに惱まざるゝを常とすと云へり去りながらハイトン氏も彼のエルマイラ監獄の典獄サー、アール、プロックウエー氏の人物に對しては最も尊

敬を表したり唯攻撃するところは其監獄法の不適當なる點に在るのみ。

歐洲及其他の監獄に於ける雜居房

米國地方監獄の大部分のみならず歐洲大陸監獄の大多數に於ても尙ほ雜居房の醜態をなし囚徒をして夜間言ふべからざるの不徳を行ふを得しむ、著書は歐洲大陸に於て他の諸件に就ては甚だ善く管理せらるゝ監獄にして其房内の臥床に至ては甚だ不注意なるを發見したり則ち監房の臥床極めて狹隘にして僅かに方五呎中に臥床の端四個を見たり故に就寢の時の如き相互身軀の隔り僅かに數寸に過ぎずして頭足の相距る一尺四五寸に過ぎず而して一房内には殆んど五十の臥床を排列す寔に囚徒の道德及將來の品行に有害なるの情態と謂ふべし而して之れ獄政上政府の頗る注意する監獄にして尙且然るなりさて又是等の囚徒が未だ自由界にありし時は如何と謂ふに其居室の有様は不幸にも監獄同様の雜居躰なり殊に大都府の裏屋住ひに至ては實に甚しきものあり去りなから是れ以て道義的の改良を目的とする公立監獄内の弊害を怨すべきにあらざらば則ち肉躰上道德上に必要なる分房の大主義を决行せんとするには監房建設の爲めに非常の

入費を要せざるを得ず而して此入費は取も直さず良民の頭上に歸するものなれば實に監獄事業は之を等閑に付するも又之を改良に赴かしむるも何れにしても良民の負擔を重からしむるものと謂ふべし。

監獄に於ける亂暴

世界中何れの監獄に於ても屢々其内に起る所の囚徒亂暴の大害に就ては之に十分の觀察を下したるもの恐くは少からん、著者が現に所持する監獄反亂統計表は甚だ不完全なるものなるにも拘はらず千八百八十四年より千八百八十八年に至る五ヶ年間に亂暴の數は四十度よりも尙ほ多きを示せり而して中に就き或暴擧の如き多くの生命を失ふに至り其他と雖も非常の創傷を蒙らしめたり之を實例に徴せんに千八百八十八年正月カウカリスの監獄に於て魯西亞の囚徒亂暴を働きたり之を鎮正せん爲に多くの兵隊を繰出し多くの囚徒を殺戮したりき、又同年春に於て佛國のピツリッ監獄の囚徒五百人計り亂暴したりければ二小隊の兵卒を繰出して之か鎮壓を計りたり而して又佛國の監獄協會は左の事を公にせり、千八百八十八年正月より四月迄の間に佛國の十七集治監に於て十八の亂暴起りた

り又千八百八十八年四月に於てカラヤに於ける墨西哥の囚徒は演劇興業中の劇場に放火し爲めに十八名の焼死者六十八名の重傷者を出さしめ彼囚徒等は悉く逃走したりき千八百八十八年三月英國地方監獄の一アムンイに於てすら三人の囚徒を同房せしめしに其中の一人他の者を殺害したり千八百八十八年四月埃及ダマンアナル監獄の亂暴に際して十九人の囚徒と一人の看守は無残にも殺害せられたり。

千八百八十七年魯西亞のレベル監獄に於て三百人の囚徒亂暴を企て其中二十人は斬殺せられ他のは負傷したり其後一ヶ月を経てダブリンのマウンツヨイ監獄に於て數人の囚徒は狂猛にも看守を毆打せり千八百八十六年に於て同様なる亂暴英國のポルツマウスとポルトランドの已決監に起りたり同年加奈太のモンワリール監獄に於ても暴行を起したりしが之を鎮めんが爲め十七人の囚徒銃殺せられ其他重傷を負ひしもの頗る多かりき千八百八十六年佛國の已決監に於て亂暴破裂し多くの雜傷を見るに至れり而して佛國に於ては同年中所々の監獄に於て屢々亂暴の起るありし千八百八十五年に於て魯西亞のコーカンド監獄

に於て起りし亂暴には十人以上の囚徒と看守とは斬殺せられたり同年ニューサウスウェールズ監獄に於ても同じく叛亂ありて一人の看守銃殺せられたり千八百八十四年濠洲に於けるメルボルンの近傍ペンツリツヂ監獄に於ても亂暴起りしが非常の慘狀を呈したり同年英國のダイトムール已決監に於ても屢反亂を起し爲めに社會一般の注意を喚起するに至れり千八百八十四年ブルマリのマングーに於て數百人の囚徒一時に蜂起し暴行を働きければ之を鎮定せん爲め多くの殺戮を加ふるに至れり即ち二百人の生命は其場にて消失せり同年合衆國のフランクフォールト監獄に於ても叛亂起りしが三人の囚徒は斬られ他のは傷を負ひたり。

而して茲に記憶すべきは各國共に其國內に起りし監獄の叛亂に就きては成る可く之を秘するの一事なりとすされば以上陳へたるが如き實例は既に一般の耳目に觸れ蔽はんと欲して蔽ふ能はざる所のもののみ更に他に幾多の叛亂の隱蔽され居るや知るべからず。

懲治監及感化院等に於ても放僻不逞の年少者を集むるか故に屢禍害を來すとあ

り尤も其舉動や稍穩かなりと雖も英國及蘇格蘭にあるものゝ如きは近年再三亂暴の企てをなしたり千八百八十六年に於て佛國感化院は大混雜を惹起し三十七人の少年は逃走せしかは銃器を以て之を追跡し終に發射するに至りしに憐むべし二人の少年は果敢なく銃殺せられたり之を驗するに其一人は六十七の彈丸を受け五個の彈丸は心臟を貫き居たり。

之を全體の上より觀察するに現今世界各國に存する監獄中其組織制度の最良なりと稱する事も尙ほ未だ不満足不完全の點少からず若し是等の監獄を以て適當なる管理者に委するとせば幾許の良効を奏せざるにあらざると雖も其範圍は極めて狭少にして見るに足らざるべし是れ畢竟監獄法に避くべからざる欠點あるに因るものなれば今日政事家裁判官納稅者慈善家の當に研究すべき問題は從來採用せる監獄の主義と實際とに如何なる改正變更を加へ得べきやの點にありとす。

第三章 分房隔離法并に階級法を論ず

第一要素

囚徒にして適當なる期限内互に相隔離せしむるとは監獄の管理上最も必要なるものにて假令監獄の目的監禁の點にありとするも將た改良の點にありとするも何れにしても遇囚上良効を收むるに欠くべからざるの條件なり實に隔離法は之を監獄に適用して最安全に且最も經濟的——眼前には然らざるも永遠を通算して論ずるときは——のものたりと云はざるべからず。

扱隔離法を實行するに當りて必ず常に注意すべきとは囚徒の身心をして絶へず有用なる職業に従事せしめ同時に善良なる人物の感化力を蒙らしめ以て奸惡なるものゝ感化力に代ふるにありとす單に寂寞たる一室に孤絶せしむるとを以て真正の隔離法とはなすべからざるなり然るに諸國に於て監獄の改良上最も有害たる一大障礙物となれるは孤絶と隔離とを同一視するの點にありとす孤絶法沈黙法隔離法等の名稱は通俗人の感覺に於ては如何にも同一義の如く聽取せらるるならん右管に通俗人のみならず頗る事理に明かなるの人すらも尙ほ此三名稱を以て同一物を指示するものと誤解し易し而も其實此三つの者は大ひに相異なるなり沈黙は多人數の中にも存し得へくして惡人との隔離は日々善良なる人と相

接せしむるの中に存するを得べし。

監房は囚徒隔離上第一の要件にして最有用なるに相違なしと雖も而かも是れ唯隔離の目的を達する一分子たるに過ぎず若夫れ監禁を以て絶對的孤獨のものとならしめ而して其刑期を不當に長からしむるに於ては是人類の上に言ひ解くべからざるの残酷と暴虐と害悪とを加ふるものなり孤絶と隔離とは別物たるを忘るべからず永續の孤絶は自然法に背くものにて害を精神上及肉體上に與ふると決して尠少ならず故に隔離法の眞意は只惡朋輩より分離するにありかくてこそ始めて受刑者にも最恩恵となるなれ。

隔離法なる名稱に屬する種々の意義

其名稱の當を得ざるが爲め若くは其名稱に附帶し來る謬想の爲めに其實物に害を及ぼさしむることあるは世に例なきとなり蓋し分房隔離法の如き亦其實例の一たるなり反對家よりも味方よりも此隔離法てう名稱に就ては種々の謬見を附會せられ之か爲めに今は此名詞をもて囚徒を一監房の中に誰一人訪問するなく又何一つ同伴すべきものなく只長年月の間單獨孤絶の様に在らしむるを意味す

となすに至れり尤も或國に於ては實際此意味を以て隔離法を實施するものあり而して其結果や案の如く甚た恐るべきものあり米國の諸州又稀れに歐洲の或國に於ても囚徒を數年間一房内に監禁し職業なく朋友なく只見る所のもの毎日巡視する看守あるのみにて哀感化とては絶へてなきものあり斯くて身軀の活動を止むるか故に其精神大に萎靡し終には白痴となり癡狂となり甚しきは死に至れるものさへ多かりし又死刑の代りに終身刑を用ひて同しく此分房監禁に處せしに其結果や何れも悉しく死刑は執行せざるも其實死刑より尙ほ苦酸にして長歲月を要するの極刑を蒙らしめたり是れに依て之を觀るも分房法若くは隔離法てう名稱か如何に異りたる事實に適用せられたるかを知らしむるに足らん則ち此名稱は一定の情態を顯はさずして種々異様のものを顯はしたり此國と此時代とに存する分房法は他の國他の時代のものと相異なりしかくて最も古く此隔離法を採用せし倫敦のペントンヒル監獄及コールドバスファイールズ監獄の隔離はローバイン及其他の白耳義監獄に行はれしものよりは一層嚴格なりし然るに新約克に於て實施せし法はペントンヒル監獄よりも又更に嚴酷なりし和蘭丁抹諾威獨逸

の分房監獄は數年の經驗により幾多の改良を加へたるものなり。そも〱監獄改良の道途に於て大なる障害物となれるは極論説と急速なる斷定論とにありとす。例へば或觀察者は短刑期囚徒を分房法に處せしに其効果顯然たりしとて直に取て之を長刑期囚若くは終身刑のものに適用し以て十分好結果を得べしと決論したるが如き其決論や所謂妄斷にして全く實驗上の確證を有せず人間自然の法則に背けるものなり、分房法を維持せんとて右の如き極端説を主張するが爲め悲むべし適當なる分房法を施かんとするに當り端なく極端の反對説を招くに至れり。

之を要するに監獄改良の一大原則たる分房隔離法の進路を妨ぐるものは果して敵よりなるか將た味方よりなるか之を判斷すると殆んど難し。

ハワード及ドクベチオックスは實驗に依て喚起されたり

ジョン、ハワードは英佛戰爭の際に當り佛國巡邏艦の爲めに囚虜となり終に同國の獄に繋留せられ親しく其嫌忌すべきの惡習を實驗し而して後監獄事業の忽諸に付すべからざるを感ぜり、爾來絶へず隔離法勞働法其他監獄改良の上に至要

なる條件を主張したり。

白耳義國有名の監獄改良家エム、ドクベチオックス氏も亦千八百三十年に於ける同國の革命に先立ち國事犯の罪を以て自ら監獄の苦楚を嘗め終に之れか改良を要するを感發せり、氏か其感覺を強めし主點は彼の奸惡無上不徳極まりたる者共と相雜居するの恐るへくして之れか爲めに義理人情の感覺も自然に破壊し去らるゝと謂ふにあり、謂へらく極惡の重罪人と輕罪の囚徒とを雜居せしむるは其結果極惡者を罰すると輕くして輕罪者を罰する却て重きに至らしむるものなり、凡そ人は其徳性を汚濁するに従ひます〱惡友を喜ぶに至る而して又極惡人は我よりも罪惡少きものを誘惑してます〱重罪に陷溺せしむるを以て一大愉快となすものなりと。

千八百三十年革命の後エム、ドクベチオックス氏は其以前反對政黨の爲めに報告を受けし報酬として皇帝レオパード第一世より異數の寵遇を受け終に監獄長官の職を受くるに至れり、ア、氏が曾て自ら呻吟せるの監獄は今や却て之を統轄し以て其改良意見を實行するの地位に立つに至りしは實に不可思議の循環とこそ

云ふべけれ去りながら氏は現行監獄法に對して自己の意見を加へんとするに先
ち愈精密なる觀察と調査とをなしたり而して結局雜居房は初犯者に向て大罪惡
を誘導し且全牀の囚徒に取ても其性質をますく腐敗せしむるの實證歴然たる
を鑑定し爾來氏は斷然白耳義監獄改良方針を一定し以て着々之を實行し現今に
至りては世界萬國中監獄の一事に於ては殆んど其冠たるに至らしめたり氏は皇
帝レオパード第一世より有益なる祐助を受けしが同皇帝は實に賢明なる君主に
して氏も亦畢生の忠義を以て之れに事へたり其他多くの有力なる助手もありし
か就中多年ローヒヤン分房監に典獄たりしエム、ストラウンス及エム、ホルツン其他
の人々を以て重なるものとす。

白耳義の隔離法

エム、ドクベチオックス并にストラウンスは漸進的に其改良の歩を進めたり氏等は
米國が經驗したる如き極端にして不穩當なる急進的の弊害を避けたり、そは米國
の實驗は常に失望と困難とに導きたるのみなるを知ればなり而して氏等は、長刑
期若くは終身刑のものには此隔離法を適用せず又個人的に其事情と實驗とを觀

察して以て各國に適する様なすなり而して分房監獄に伴ふの危害を避けんか爲
め各國に對して切りに職業の奨励と訪問とをなし且勤勞と希望との精神を養は
しめ傭工錢其他の報酬を與へて以て囚徒をして愉快の念を絶たざらしむ。

又教誨師教師看守等をして毎日囚徒と共に其房内に於て多くの時間を費さしめ
たり即ち屢囚徒を巡視せしめ隔離をして孤絶に陥らざらしむるに注意せり又個
々隔離せる一小庭内に於て各囚の運動を許し喫烟庭作り或は養禽等の許可を與
へて娛樂の一端となさしむ囚徒は又其傭工錢に依て麵包牛乳紙筆其他の物品を
買ふとを許され残りの傭工錢は之を貯積して出獄の資に供することを得、爲めに
出獄者中刑の長短勞働の厚薄に依て其貯蓄の金額五磅十磅十五磅にも達したるも
のありし、去りながら全牀傭工錢として囚徒に與ふる金額は彼等が監獄の爲めに
儲けたる金額に比するときは甚少額なるものなり、其職業には裁縫活版書籍綴靴
製造金細工時計師大工紡績等の數種ありて熟練なる授業者は囚徒に或職業を授
けん爲めに傭ひ置かれ從來職業に全く不案内にして何事をも爲し能はざるもの
に對しては夫々適應の業を授けしむ。

此不變不撓なる訓練はかの傭工錢保管の丁寧なると共に大に其効を收めたり實に白耳義監獄に於て報酬の確實なることは同國監獄に成效あらしめたる一大要素なり而して囚徒は其傭工錢の幾部分も父母妻子及其親族に送るを許さるゝよりして自然道義と人情の道に心を傾くるに至れるは是亦大に注意すべきの要件なり。

分房法の重なる利益の一は國家に對して著大なる大局の經濟を興るにあり此監獄法を實施せんには差當り監房建築の爲めに雜居法監獄よりは一層多額の入費を要すべし去りながら大結局より之を計算するときは非常に入費を減省するものなり蓋し多年の實驗に徴して分房法監獄に於ける一年乃至二年の監禁は其懲戒及改良の効力雜居法監獄の五年若くは十年の効力に比すべきものあればなり白耳義の罪囚統計表は吾人か希望する如き完全なるものにはあらずと雖も該國が分房法を採用したる以來著しく再犯者の數を減したるは事實なり即ち國會も人民も此事實に於ては十分確信したるを以て從來施行し來りたる刑期をさへ大に減縮するの法律を發布するに至りたり。

斯くて雜居監禁の時に於て二十年の處刑を受けたるものは分房監禁に於ては十年以下に減縮せられ其他の刑期に於ても同一の割合を以てそれ／＼減縮し大抵從來の刑期の半を以て之れに充つるととなせり事茲に至りては罪囚監禁上の入費を減し従て一國の經濟上大なる餘裕を生せしむるに至りたり之れと同時に囚徒に取りても亦以前よりは短き期限内に於て我家族に復歸し彼等を養ひ彼等を育つことを得るに至り而して長刑期の爲めに長らく家族との關係を絶ち之れが爲めに精神の頹迷を來すの患は大に取除かれたり夫れ刑期を長くなればとて決して監禁の効力を十分ならしむるものにあらずとの眞理を實際上より確めたるは實に白耳義國なり斯道に益を興へたるや大なりと謂ふべし適當なる期限を超へて尙ほも監禁するは是れ囚徒の心を改良するよりは寧ろ其精神上に廉恥と恐懼との感念を薄らがしめ徒に刑罰に其身を慣らすに至らしむるのみなり。白耳義に於ては分房監禁の最長期を九年とす去りながら是れ餘りの長きに失するものなり之れよりは更に短き期限にしても一般の罪人には其効果を奏し得べきなり。

完璧は何の事業にも甚だ得難き所にして國家の事業に於ても個人の事業に於ても皆然らざるはなし、白耳義も此通理に洩るゝ能はずして其監獄法も未だ以て完全無欠なりと云ふべからず、該國の監獄には最良監獄として必用なる二ヶの要素を欠けり即ち監獄以外より判斷力に富める人をして監獄上の巡察をなさしむる爲めに適當なる方法を設けざること、并に放免囚保護の爲めに有力なる保護會なきこと是なり、尤も有名なる行刑學者エム、ブリンズ、パーロン、デー、ベツラン、ホーヴ、エム、トニツセン其他有名なる白耳義人の盡力するあれば、早晚此方向に於ても切要なる進歩をなすや疑なかるべし。

然りと雖も此に一の注意すべきは外國人より見し白耳義に於ては嚴格に其分房法を實施するか如く考察さるゝと雖も時としては然らざることあり、ローバイン監獄に於てすらも長期の分房監禁者には時々其法を緩べ囚徒相互の交際を許して幾分の喜びを得せしめ居れり去りながら是等の些少なる不都合ありたればとて白耳義が分房監禁法に依りて十分の良効を表はしたるの名譽は決して抹殺すべくもあらず、白耳義か他の國々に比較して半分の刑期と半分の費額とを以て一

層善く其目的を達したるの事實は昭乎として明かなりと謂つへし近頃に至り白耳義に於てはエム、ドク、ヘチ、オックスの賢明なる意見を遠け之を厭ふの傾を生じ監獄改良に退歩の徵候を示しつゝあるは從來の名譽に對して該囚を羨慕しつゝありし外人に取りては如何にも痛惜に堪へざる所なり。

隔離法に關する佛國の説

佛國監獄法研究委員は短刑期囚に對し分房監禁の法を採るは其最も當を得たるものなりとの旨を報告せり、パーロン、デー、ハウソンプルは即ち此委員中の主導者たりし而して政府は少くも一年以内の刑を受けたるものに凡て此法を適用すべきことを決定したり、去りながら當時佛國の財政困難と其多額の國債とは分房監獄に對しても之が充分の効果を奏するに適當なる費用をしも支出する能はざらしめたり、其結果として彼の委員に依て推薦されたる隔離法たけも斷行せば之を鎮遏し得べきの犯罪も益々多く出顯するに至れり。

或有識なる佛國行刑學者等は此問題に關し有益なる論文を草したり千八百七十八年のストツクホルム監獄會議に於ける賞美すべき報告書は即ち佛國の代議員

エム、フ、オルナ、デー、デス、ポル、テス、とエム、レ、フ、エ、ビ、エ、ール、兩氏の編輯に係るものなり、此報告書こそ噴々たる分房法の批難を打破するに足るものなれ世の分房法反對者口を開けば則ち曰く、分房隔離は人間の天性に背くものなり如何となれば人間は社交的動物なればなりと是其常套語なりとす之れに對する辨駁の言に曰く、人類社會は善惡二個の感化力を有す而して此社會の力は確かに道徳を發動せしむる如く亦罪惡をも發生せしむるの傾きあるは否まんと欲するも得へからざる所なり然らば人をして單に惡感化のみならず又善感化をも被らしむる此社會より引去り之を其制限と壓抑と必要とより厭惡すへき惡黨輩の外他に何の接すへきものなき地位に投げ入るゝは其罪人改良の點より視て不得策なるは知るに堪へたり言を換へて云へば既に破壊したる彼等が道義上の健全を亦も再び破壊せしむるものなりかくて彼等の恢復を望まんと欲するも豈にそれ得べけんや論者は如何なる注意を以てかの避くへからざる罪惡の傳播を唯僅に夜中運動食事の時間のみ隔離することに依て之を避け得べしとなすや此方法たる或は幾分か極端の墮落を避くるに足ると雖も而かも彼等が其役場に集まるや互に其罪狀を

談し過去の惡業を誇るの亡狀を如何で避くることを得べきや論者答て曰はん沈黙の一法之れなりと夫れ沈黙の法たるや實に人情に乖戾するの甚しきものなり論者は多人數を一場に集めて彼等に眼と眼を以て交際することを許しながら舌と舌を以て交通することを禁ずるものなり而して論者は信ず此精神上の隔離は肉身上の隔離よりも更に合理的人情的にして且更に容易に全ふし得べきものなりと見よ此絶對的沈黙の間に於て論者が主張する社交的の必要は如何にして達するを得るや夫れ言語の助けに依り相互の思想を交通するは一般人類の常狀なるにあらざるや隔離法は社會の惡感化より罪囚を隔離せしめて之れに熟思黙考の機會を與ふるものなりと雖も必らずしも善感化よりも隔離せしむるの謂にあらざる唯善を以て惡に代ふるのみ、エム、デー、メ、ツ、ツ、曾て曰く若しも君が監獄内より罪囚を引出し之れを街衢に放ち置くも若し君にして此罪囚を惡人より隔離せしむるの用意を有せば余は勿論君に賛成すべしと。

監獄の集合的罪惡

前節に於て陳へたるに加へて囚徒の雜居交通は罪惡の集合點を形るものなるを

謂はずんばあらず、自由社會の最も惡しき場所と雖も多少道德の勢力はあるべきに獄内の社會は實に是れ奸邪敗徳の罪人のみを以て組織せらるゝなり。屢證明せられたる如く如何に注意を嚴にすと雖も罪人雜居に伴ふの惡影響は到底除去し得べからず、英國已決監の官吏は大に力を盡す所あり且其看守の數をも増加し教習をも充分にし又罪人に向てはそれ〱階級を設けて惡影響の傳播を拒かんとしてたりしかども其成效殆んど皆無に屬せり、チンベルン伯爵を其議長としたる監獄法案取調委員は一千八百七十九年の報告書に左のとを載せたり。吾人は吾人が面前に呼んで聽取したる證明者の大多數により又吾人が諸所の監獄を巡察して囚徒の口づから謂ふ所の證明により看守の注意如何に嚴格なるも囚徒が相共に役業を取るの際には相互の交通甚だ自由なるを明にしたりと。此言果して眞なりとすれば注意周到なる英國監獄に於て尙ほ且然り況んや注意普からざる一般の雜居的監獄に於てをや其弊害推して知るべきなり。

隔離法に對して米國の怠慢

貨殖上に於ては最も鋭敏なりとの名譽を博せる合衆國民にして彼囚徒隔離より

起る經濟的且行刑的利益に就て殆んど一般に不注意なるは實に奇態の現象と謂はざるべからず、然りと雖も彼等が歐洲人に優りたるもの一つあり、開は罪人をして其監禁の間自家の糊口を支ふるに自家の勞力を以てせしむるの一點即ち是なり米人は實際的に囚徒に示して曰く、汝等既に監獄に入りたる以上は曾て獄外にありし時の如く最早正直なる國民より盜むべからずと去りながら彼等は其監獄に於て有害なる雜居を獎勵するが爲めに彼の幾分の良効も全く消磨し去らるゝぞ笑止なれ、其結果や廣く罪惡を傳播せしめ從て監獄の費用大に増加し彼の雜居的職業より得る利益は到底これを償ふに足らざるなり。

米人は須く其自國中にて最も優逸なる行刑學者エドワード・リボン・グストン氏の痛快なる言説を服膺すべきなり、氏は合衆國に於ける拔群の監獄家にして現今米國が一般に實行するの監獄法を痛く批難し分房隔離によるの外適當なる階級法は到底立つべからざるを斷言せる人なり、其言に曰く、囚徒を雜居せしむるはヨシ多少の差等こそあれ彼等はます〱罪惡に浸染せしむるものにて之を改良するか如きは得て望むべきにあらざるなり而して吾人は實に否むべからざる論決を

得たりそは他なし嘗て必要なりと認められたる階級法も其實効は階級を組織する人員の高に逆比例をなすものなりとの點なりされば其効力の完全ならんとを望まば所謂個人的に囚徒を隔離するの外なく結局階級法の名と實とを打破して始めて其目的を達すべきなりかくて吾人の論結は囚徒を個人的に隔離せざるべからずと云ふに歸すとリヴェイグストン氏は此問題に對しては實に博士イロー、ワインズ氏よりも一層卓越せるものなり恐くは米國に於ける他の名家中氏の右に出るものなかるべし上陳の金言の如きは何れの監獄にも其入口に表掲して深く龜鑑とすべきものなり殊に米國に於て然りとす。

分房隔離囚にして期滿放免せらるゝときは非常の反動を起すべしとは米國及歐洲に於ける分房反對論者の論據とするところなるが是等の人士は囚徒たるもの其雜居房と獨居房とに拘はらず監禁後俄に放免せらるゝときは必ずや反動の結果を呈すること恰も卷鐵の反撥するか如きものあるを忘却せるものと謂ふべし獨居にもせよ雜居にもせよ其放免に際して直ちに絶体的の自由を以てするは其放免囚に取りて異常の誘惑となるは皆同一なり。

而して斯の如き急卒の自由に對して其放免以前に不義惡徳の輩と雜居せしむるは最其準備に反するとなり开は惡黨との雜居は社會に立つに不適當の性質を得せしむればなり故に此點より雜居法を辨護し以て分房法を批難せんとするものは前蘇格蘭の集治監典獄ヘンリー・メー氏の一言を聞きて可なり曰く囚徒を雜居せしめて其改良を促さんとするの難きは汚れたる綿布を洗はんとて之を泥水の盥に入るゝが如しと氏は監獄の實際に最經驗あるの一人なり。

囚徒階級法に就ての失敗

囚徒を箇人的に隔離せざる限りは何れの階級法も到底雜居の弊害を免るべからず有力なる牧師ジョン・クレイ氏の言に曰く予は安全に囚徒を分階することは人力の及ばざる所なるを信ず予は六人若くは七人の囚徒にても之を雜居せしめて自由に交話せしむるを肯ぜざるものなりと恐らく此言説は或特別の實驗よりして多少斟酌せらるべきことあらん而して撰拔的の良囚を少數の團體として或は農事其他の勞働をなさしむるに比較的は無害なるの例證なきにあらざるべし去りながら如何なる注意を以てするも到底雜居の危難又は或種類の弊害を免る能

はざるものなりノルフオルク、アイランドに於てキアアテン、マクノキの實驗は此事に關するの明證と謂ふべし氏は「分房隔離を以て人間の自然に背くものなりとなせり」實に然り管に分房隔離のみならず畢竟監禁中なるものは何れも必然的に人性に背くものなり而して氏は又囚徒を雜居的に勞働せしむるの危難と弊害をも了知せり是に於て氏は自ら成効すべしと信ずる所の一策を案出したるは開は他なし人性に反對せず却て之に應じて働かしめんとするにあり即ち撰拔的の囚徒を僅かづゝ一組となすものにて大抵一組を六人となしたり而して此六人の者は共に住ひ共に働き又共に其品行を戒めしむるの方法なり氏は之によりて自由界の良友より得らるゝ忍耐の精神緻密なる友情及び誘惑に抵抗するの力を發揮せしめんと希望したり如何にも此希望たるや尊きものたり而して此方法にして成就すべきものならばキアアテン、マクノキ氏を措きて他に其人なかるべし、然るに氏は此説の實行に於て失敗したりノルフオルク、アイランド監獄に於ける氏の同僚の一人にして後にはバルミンハムの監督となりシドグトル、ウイリヤム、ヒール、オルラソルネー氏は左の如きことを云へり是等の一群は悪計と反逆とを

企つる爲めに自らの便利を利用せり彼等は監獄を破壊せんとしたりしもキアソリックの僧侶の警告により幸にも其非望は遂げ得ざりしとミッセスフライも亦同様の失敗を實驗したり即ち自ら呼んで「分階法」と名づけしものにて其趣旨は囚徒を少數の群に分つにあり。

若しも團結と謀反の危難は斯る少數の囚徒にして尙ほ避くべからずとせば多數の雜居より起る危難は如何に大なるべきぞ已決監に於て再三破獄をなすものあるは各國共に實驗する所なり然るに分房の法は氣味よくも此反逆亂暴を遏たるなり英國分房監獄の典獄一日著者に謂へるあり曰く「予が管理する囚徒は常に隔離せり故に彼等は決して吾人を煩はすの方を有せず」と。

分房隔離と性理上及精神上の疾病

分房法の監獄に於ては流行病の起るに際してもこれが傳染を防ぐに甚だ便なり之は各房は已に避病院の如き形式をなすに由り其惡疫の攻撃を防ぐに足ればなり是亦分房法の大に必要な効能なりとす。

然りと雖も此分房法に伴ふ特有の一疾病あり是即ち瘋癲病なり而して分房法を

以て單に孤絶單獨ならしむるものとせずには此危難は實に免れ難し、例へば新約克州の監獄オーパルンに於て千八百二十九年に試験せられたる結果を見るも實に驚くに堪へたるものあり則ち皆に瘋癲のみならず自殺死亡又は精神上及肉體上の發育を全く壓縮さるゝが如き現象を呈したり、而して之れが爲めに分房法を批難するの傾きは直ちに事實に過ぎたるの悪言を流布し其實際を熟知し得べき人にして尙ほ且世の風潮に雷同して之を誹毀するに至りたり、倫敦に於けるペンントンヰイル監獄に於ても此分房法の實行に失敗を招きたりとして無闇に其失敗を言觸らすものありしと雖も其言觸らしの當を得ざることは該監獄の教誨師たりし牧師ポルト氏に依て證明せられたり、氏はペンントンヰイルに於て千八百四十二年より千八百四十八年までかの隔離法を實行して全く囚徒を隔離せしめ其期限十八ヶ月乃至二十四ヶ月に亘りしも其精神上の健全に於ては其後此法を緩めし時よりも却て優りたるものありしを言へり、氏は同監獄にて分房法を變更したる後瘋癲病者の數分房執行の四年間よりは八倍の増加をなせることを確めたり然りと雖もペンントンヰイル監獄法は勿論不完全なるを免かれざりし其之を稱

して摸範監獄と呼びしは全く事實に適合せざりしなり、此監獄に於ては他國の善なる分房監に用ゆる調和法を設けざりし則ち隔離の嚴酷を調ふ所以の道なかりしなり實にペンントンヰイル監獄法の不完全なりしは已上述ぶるが如しと雖も其囚人に與へたるの害は決して人の言觸らせし如き甚しきものにあらずりき。』現今に至りては囚徒の隔離よりして瘋癲を生ずるとの危険は殆んど皆無に歸したり、如何となれば過去幾年間の經驗は分房囚に對するに適當の用意を必要とするを認めしめられたればなり、例へば職業を廢せしめたること、書籍を供給すること、教誨師及教師よりして教訓せしむること、深切なる醫師の診察及官吏其他の人々の巡訪あること等孰れも分房隔離に伴ふの危害を調和するに必要なるものなり、而して恐らく此分房隔離に附隨して今尙ほ存する所の大危害は終身刑或は長刑期の者を監禁するの點にあり、彼等を其長年月間分房隔離せしむるは實に無情危険の所置と謂ふべし、此慘狀の近年まで續きしものは或魯西亞の監獄と他の數監獄に過ぎざるのみ。

大英國佛國獨逸諾威瑞典澳太利及白耳義に於ては長期刑囚及終身刑囚に限りて

之を雜居房に入れ置けり勿論之を雜居せしむれば避くべからざるの害を醸すと雖も其害や長年月間全くの孤絶單獨たらしむるより起る精神上及肉體上の害に比するときは却て恕すべきものあればなり之を略説すれば近年の分房監獄に關する發狂者の統計を見るに其數雜居房の監獄に比すれば却て少數なるを知るのみならず間々反對の現象を見るなり則ち發狂者の數分房制よりは雜居制のものに於て多きものあるなり。

隔離法の率先者

分房遇囚に力を盡したる白耳義國の監獄改良家に加へし此遇囚法の適用に成效ある四人の紳士は則ち和蘭のエム、ダブリュー、エイチ、シユリンガー英國の牧師マヨ、クレイと監督オルラソルチ及諾威のエム、ソチヤード、ヒールセルンなり是等實際的の慈善家は自家の監督下にある監獄に於て必要なる監獄問題を實地に研究し終に穩當にして一般の人情に適する方法を案出したるなり故に彼の無經驗なる卓上の學說若くは極端なる分房法主張論者などとは決して同日の論にあらざるなり。

ダブリウ、エツチ、シユリンガー

ウイリヤム、ヘンリー、シユンソングは或點に於てはマヨ、ハワードより超越したる人なり幾んど五十年間政府の官吏として又は一個の慈善家として監獄及其他の慈善會に力を盡したり氏はアムステルダムに於ける司獄官會議の副議長たりし人にて國內の監獄事情には最も善く通曉したるなり氏は其友人なるエム、ワールンシング、エム、エル、スツラスツ及びエム、マヨ、エス、モルレットと共に千八百二十三年に於てニールランド囚徒道德改良會を設立したり氏は此會が有用なる働きをなして其第五十年目の春を迎ふるを目撃したり千八百七十二年氏が病に罹る僅か以前に氏が五十年間特に内外の監獄に對して觀察したる結果を記載して曰く予は囚徒の階級法若くは他の方法によりて様々と試験したる其結果により我國の隔離法こそ好し完全無欠とは言ふべからざるも之を他の監獄法に比するときは最も良善なることを確めたり故に宜しく之を適用せざるべからずと。氏は又ワウアーデンに於ける和蘭大監獄の委員等が囚徒を分階せんとて或は少人數の群となし或は多數の群となし又分房法と雜居法の混合法によりて屢々

試験をなしたることを記せり又た曰く彼等は視察委員派遣の法によりて他國の實驗したる監獄法をも充分攻究するの道を設けたりとエム、シユリンガー之に附言して曰く而して彼等が到達したる論決は如何なりしや彼等は異口同音に論決して曰く「分房監禁に如くものなしと其他凡ての巡視者及探究者は何れも此と同様の論決に達したり囚徒を全く相隔離せしむると同時に一定の職業書籍の看讀知識の教育宗教の薰陶監房訪問及毎日清潔なる空氣を呼吸せしむる等の用意を與ふるなりと此數箇の用意はエム、シユリンガーと其同盟者の頻に主張して必要欠くべからずとなせるものなり而して氏は終りに左の一言を加へたり曰く囚徒を改良するは隔離法の監房其物にあるにあらざ監房は唯醫藥をして効を全からしむるの必要具たるに過ぎず夫れ宗教こそ罪人の心情を改良すべき良藥なれば宗教は人類の人類たる所以の要性なればなり」

エム、シユリンガー及び其創立にかゝる監獄協會は該協會員中判断力に富める人々を以て囚徒を訪問せしむることに大必要を置けり和蘭の皇帝陛下も是等慈善家に自由に監獄に入りて囚徒と談話するを許し玉へり

此方法や和蘭監獄の特質となり以て其組織をして自耳義監獄法より一層完全なるものとならしめたり訪問者の爲す働きは無報酬の教師となり教誨師となり書籍係となり及放免囚に其雇口を得せしむる世話係となしたるにあり是等四つの要務特に雇口を得しむるの點に於ては監獄に訪問者を要する特段の事情と云ふべし如何となれば有給の一二人の教師教誨師にして(勿論大切にして貴重たるに相違なしと雖も到底幾百人と云ふ多數囚徒の道義的并に智識的の要求に向て充分の満足を與ふべからざればなり)扱外來の訪問者を許せばとて司獄官の職務執行に關し若くは其特權の活用に對し或は妨碍を來たし或は衝突を來たすが如きことあらざ却て司獄官は斯る定期訪問者によりて大に其負擔を軽くせられ其職務を助けらるものなりとは屢々司獄官自身の承認公言したる所なり又た和蘭監獄の實際に徴するも訪問者が囚徒の爲めに害を被りたること決してなし否な

エム、シユリンガー氏は該國監獄協會の廿五年期祝日に於て左の如き言を發せり曰く「此二十五年間に於て訪問者中一人として其頭髮の一條だに囚徒の爲めに害を加へられしことなし」と

試験をなしたることを記せり又た曰く彼等は視察委員派遣の法によりて他國の實驗したる監獄法をも充分攻究するの道を設けたりとエム、シユリンガー之に附言して曰く而して彼等が到達したる論決は如何なりしや彼等は異口同音に論決して曰く分房監禁に如くものなしと其他凡ての巡視者及探究者は何れも此と同様の論決に達したり囚徒を全く相隔離せしむると同時に一定の職業書籍の看讀知識の教育宗教の薰陶監房訪問及毎日清潔なる空気を呼吸せしむる等の用意を與ふるなりと此數箇の用意はエム、シユリンガーと其同盟者の頻に主張して必要欠くべからずとせざるものなり而して氏は終りに左の一言を加へたり曰く囚徒を改良するは隔離法の監房其物にあるにあらざ監房は唯醫藥をして効を全からしむるの必要具たるに過ぎず夫れ宗教こそ罪人の心物を改良すべき良藥なれ之は宗教は人類の人類たる所以の要性なればなり」

エム、シユリンガー及び其創立にかゝる監獄協會は該協會員中判斷力に富める人々を以て囚徒を訪問せしむることに大必要を置けり和蘭の皇帝陛下も是等慈善家に自由に監獄に入りて囚徒と談話するを許し玉へり

此方法や和蘭監獄の特質となり以て其組織をして白耳義監獄法より一層完全なるものとならしめたり訪問者の爲す働きは無報酬の教師となり教誨師となり書籍係となり及放免囚に其雇口を得せしむる世話係となしたるにあり是等四つの要務特に雇口を得しむるの點に於ては監獄に訪問者を要する特段の事情と云ふべし如何となれば有給の一二人の教師教誨師にして勿論大切にして貴重たるに相違なしと雖も到底幾百人と云ふ多數囚徒の道義的并に智識的の要求に向て充分の満足を與ふべからざればなり扱外來の訪問者を許せばとて司獄官の職務執行に關し若くは其特權の活用に對し或は妨碍を來たし或は衝突を來たすが如きことあらず却て司獄官は斯る定期訪問者によりて大に其負擔を軽くせられ其職務を助けらるゝものなりとは屢々司獄官自身の承認公言したる所なり又た和蘭監獄の實際に徴するも訪問者が囚徒の爲めに害を被りたることを決してなし否なエム、シユリンガー氏は該國監獄協會の廿五年期祝日に於て左の如き言を發せり曰く此二十五年間に於て訪問者中一人として其頭髮の一條だに囚徒の爲めに害を加へられしことなしと

エム、シユリンガー及其同盟の人々等は書籍購求の爲めに公衆より義捐を得たり則ち其書籍中には特に無教育の囚徒を教育し且つ讀書を好むの精神を發揮して智識を得せしむるに適當なる書籍を主とせり宗教上の書籍に向ては新教と羅馬教と猶太教との信徒に對して各々其嗜好に應ずる所のものを精撰せり抑も和蘭國に於ては猶太人の住居するもの甚多く隨て此種の囚徒を適遇せしめんか爲め政府は成るべく彼等を同一の獄舎に監禁せり和蘭監獄協會は如何にもして其罪囚に宗教的の薰陶を全からしめんが爲めに和蘭國內にありて教誨師を有せざる監獄に對し之に宣教師を送らん爲めに資本金を募集せり彼等は熱心に慈善家を獎まして獄事に當らしめたりエム、シユリンガー曰く、説教は常に無効力にてあらざりし一切信心の何物たるを知らざりし囚徒も大に信心を起し彼等は祈願懺悔の何物たるや教へられたり去りながら是等の訓誡をして消失散漫せしめざらんとするには隔離法の肝要欠くべからざるを疾呼せずんばならずと氏は又言を繼きて曰く、囚徒をして雜居せしむるときは折角宗教の眞理を聞くも忽ち他の同囚の爲めに其志を奪はる斯の如き監獄は實に罪惡稽古場にして特に年少囚の爲めに

に大害を醸すなり。

エム、シユリンガーは特に出獄人を保護し且之を監督することを大切視せり氏は氏の同盟者と共に出獄人をして其親屬朋友若くは地方の宗教家等に交際を得せしめんが爲めこゝに一定の方法を立て以て彼等の改心を益すると同時に彼等をして前きの惡朋輩とは十分絶交隔離せしめ再び其惡風に染まざらしめんことを勉めたり、出獄人にして衣服諸道具及旅費の欠乏するものには之を供給し又工場會社の支配人を巡廻せしめて出獄後雇主を求めんとするもの、便に供せしめたり而して是等の盡力が實際上に及ぼしたるの成功は著大なりと謂ふべし。

之を要するにエム、シユリンガーと其同盟者が監獄事業の上に一功績を立てしものは其多年の實驗によりて分房隔離法の必要なるを主張したると適當なる制規の下に於て觀察力に富める良民をして囚徒を定期訪問せしむるの必要を主張したるにあり、エム、シユリンガーの病後和蘭に於ける監獄上の進歩はエム、ゼー、エシヨルレス、エム、ベクテチエーヴ、エム、イ、ローリライド、エン、ヴテン、セルテマイ、エム、マヨイヤ、ベリンフワンテ、エム、ボルス、エム、ブルス、ラム、アムステル、エム、モツドル

マン、カオント、リンボルグ、スチイロン、エム、ウワン、ブルイランド、エム、デー、エス、ローマン其他の人の盡力によれり。

牧師ジョン・クレイ

大英國に於ては分房隔離法が和蘭及白耳義に於て適用せらる頃ほひ若くは其以前よりして之が功能如何に就ては甚しく論議を惹起したり而して分房法を主張する者も亦之に反對する者も何れも極端に其所説を主張したるか爲めに他國よりも其功能を見ること少かりし各縣の知事就中ミッドルセックス、ソックス、及ボルクシャイアの知事リッチモンド公、ジョー、ポール、卿、牧師ゼー、ギンクル、スマイル、牧師ダブリユー、シー、オー、ポルン、ジョセフ、アドセツド氏其他の人々も一個人として多年の間熱心にも英國に於て分房隔離法の廣く行はれんが爲めに大に其力を盡す所ありたり、牧師ジョン・クレイは多年間プレストン監獄の教誨師を初め分房法に就ては英人に稀なる穩當説を持つるの一人にして又同時に分房法を辯護したる熱心家の一人なり併しながら或人は無暗に此監獄法を過信して只囚徒を寂寥なる場所に閉ぢ籠めて之れに聖書を與へは足れりとし彼等をして偽

善と怠惰と無智とに陥らざらしむるの警戒を加へざりしより却て人の輕蔑を招きたり、ジョン・クレイ氏は之に反し分房監を以て唯囚徒を正義に感化して罪惡に染まざらしむるに必要の條件と信じたるのみ氏の實子及其傳記著者の曰くクレイ氏が分房隔離を必要と認めしは囚徒をして互の汚穢に染まざらしめ又心を静めて省察せしむるに必要なりと認めしによる一旦囚徒の心中に起りたる善心を尙ほも啓發誘導するの任は是れ教誨師其人の力にあつて存するものにて監獄法の力にはあらず氏は實に聖書を以て頑狂極まりたる無賴漢に妄讀せしむることを甚だ厭へり然りと雖も又分房法の弊害を豫防するに最も力あるものは實に此聖書に如くものなしとせり氏か教誨を腹案するや之をして最も威力に充ち愛心に充ち又面白くして而も頑迷を覺破せしむる極力を籠めたり氏は教誨堂に於て宗教の頌歌を用ひ又自筆に成りし基督の優美なる畫像を飾れり氏は信じ易く又騙まされ易き人にあらず却て英敏活達にして偽善者を一目の下に看破するの明を具へたり氏は世情の眞味にも深く通じ最も零落したる罪人のの上にも基督敎の感化は最も力あるものなりと信したり而して多くの囚徒中文學を讀むとも

書くことも全く知らずして算術は勿論聖書の最も單純なる真理さへも了解せざる者あるを認めて乃ち曰く是等の哀はれなる者に社會か負ふ所の義務は大なりと謂ふべし而して之を盡すは其監禁の間に於て彼等の智識上に教訓を加へ彼等をして其兩親又は親屬に對しての責務を感せしむると必要となすと氏は其信心上より深く個人的靈魂の價值あること、其生涯の神聖なること、を確信し且又性理上經濟上の點よりしても罪人を改良することは無量の必要なるを主張したり其語に曰く窃盜者をして自由界に横行せしめば一年に百五十磅つゝの損耗を社會に醸す故に罪囚を改良するは大に國家全體の經濟となるなりと氏は此點より着眼して分房法は罪囚改良に必要なるか故に他の雜居法よりは非常に經濟的にして且安直なる所以を論せり氏は又屢々分房隔離して囚徒の交通を遮絶するにあらずんば教誨師の盡力は誠に其結果薄かるべしと雖も亦他の一方に於て宗教の力を以て此隔離と沈黙との苦痛を償ふにあらずんば管に無効なるのみならず進て害を醸すに至るものなるを警告せり。

羅馬教の監督ウオルラソルンは新教の教師と同じく力を監獄に致せし人なり氏がオーストラ、シヤ監獄に於ける長き實驗は端なくも氏をして深く監獄法を研究するに至らしめたり氏の言に曰く「神が人類を創造せしとき語り賜へる第一の語は人獨りなるは善からず」と云ふにありし人をして寂寥なるどころにあらしめんとするには必ずや神と默識心通せしむるを要す然らずんば是れ却て害惡を起すの源となる」とそは氏が慧明なる緒言にも言へる如く神を離れて一個單獨の自省に放擲する時は人は自己に向つて其光となり又力の源となる能はず古の仙人だに寺院より嫌忌せられたる所以は遜世者は天使なるか將た惡魔なるべしと云ふにありたり而して是等の仙人にても尙ほ其住所の周匝には廣濶なる原野を眺むるの自由を有し若くは時に人間界に下りて貧民を訪問し又之か爲めに働きをなしたり最も嚴重なる寺法の束縛を受けたるカルシニシアン宗の僧侶と雖も其甚しき寂寥と沈黙とを愈さん爲め各僧何れも若干の花園を與へられ且僧侶相集りて頌歌を唱ふる等のことゝなせりと羅馬教會にして其僧侶と仙人に寂寥より來るの害を避けしむるには神明の祐助を要すとせば况んや孤絶單獨なる罪囚に

向て其善感化力の必要なるは言ふ迄もなきことならん而して千七百〇三年法王クレメント第十一世が建築師カーン、フォンタナの圖案を採用して建立したる羅馬府の「サン、マイケリ」監獄とて幾分か分房法に則る監獄にては感化的刑罰的此二つを結合するの必要を明記したる格言を其監獄の扁額に刻せり其語に曰く「奸悪なるものを刑罰に依て矯正せんとするも其効を全ふすべからざるなり若し感化的の訓誡を與へて道義心を喚發せしめざる限りは」此格言は「ジョン、ハワロ」が羅馬を巡廻したるの際見て以て大に刺激されたるどころなり。

されば吾人は羅馬教會か抱持する所の此寛大なる意見を注意すること最も必要なりとす、そは該教會こそ監獄改良の率先者にてありたればなりクレメント第十世の監獄は「ミラン」に於ける同種類監獄の模範となれり監房を小さく造りて其數を多くし御光形に監舎を建築することさへ既に羅馬法皇と其建築師に由て圖案せられたり爾來歲月を経るに従ひ是等の監獄は「セント」に於て白耳義人の模倣する所となれり尋て「ミルバンク」に於て「ジュエレミ、ベンザム」之を模倣し而して或合衆國人民も模倣したり或は時に分房法監獄は米國に於て始めて興りたるかの如

く信せられしと雖も是れ然らず監督ウオルラントは佛國政府より千八百三十九年監獄検査の爲め羅馬に派遣せられたる委員エム、コルピールの語を引證したり曰く予は眞理を再び確立すべき義務あるを感ず監獄を以て人心改良の効を奏すべく組織せしは基督信徒なり而して其基督信徒は即ち羅馬教徒なりしなり此法を決して斬新なるものにあらず其誕生は之を寺院に於てせり而して其誕生の時に命名したるは法王なり米國人の發明せしものにあらず又米國人は之を完成したることもし只「セント」より之を借り來りしのみ而して「セント」は之を「ミラン」と羅馬より得たるなりと尤も此エム、コルピールの斷言を採らんとするには幾分の斟酌を要すべきものあらん。

監督ウオルラント氏は監獄法を採つて人類の天性に適ふや否やの點より深く研究を試みたり而して氏は人類の性質を改良せんとするは中々瑣細なる人間の工夫工面にて遂げらるべきものにあらず宜しく神の遣はし賜へる救主の償罪を信せざるべからず此に至て頑心雪の如く融けて善心草の如く萌すと信じたり。

前章に於て羅馬教の監督が監獄改良に最も適當なる方法を以て盡力したること
を述べたるが茲に又新教の女豪傑ミツセス、エリサベス、フライが同様監獄の爲め
に盡力したると一言せざんばあらず女史の子たる兩人の娘が其母の傳記中に記
して曰く囚人をして罪惡より隔離監禁せしむると同時に靜肅にして且善良なる
人々と交通せしむるは我母の最も完全なりと考へし監獄法たりしと此歎賞すべ
き簡單なる而も意味深博なる説明的の一句は恰も大英國「ハワード」協會が熱心に
主張せる監獄法を言表はせり左に千八百八十六年「ハワード」協會の年報に掲げた
る一節を引かん。

委員等は斷乎として信ず凡て監獄をして効力あらしむる所以の原則は可及的惡
朋輩と隔離し可及的善感化に接せしむるにあり即ち官吏又は民間の訪問者をし
て可及的訪問を頻繁ならしむるの用意を必要なりとす。

ミツセス、フライの當時に在つて驚くべき極端の隔離法を實行したる監獄米國及
英國の各地に散在せり即ち長刑期囚を暗澹たる監房に職業もなく教育もなく又
適當なる訪問者もなく其他改悛上の感化を及ぼす何一物もあることなくして只
獨り幽閉せしむるの慘况は女史をして同情同感に堪へざらしめ奮然として斯る
分房法の弊害に對し飽く迄も矯正せざるべからざるを感ぜしめたり。

英國の監獄法も其初めに當りては實に建築上の不完全と共に大に遇囚上の進歩
を妨ぐるものありしを以てミツセス、フライ及び女史を助けし有力なる慈善家の
一團夥即ちポックストン、ゴルニードクトル、ロッシントン、ウヰリアム、アレン其他
の人々等は頻りに盡力して其進歩を計りたりミツセス、フライが聖書及宗教上の
感化に依て囚徒を改良せんとするの貴き熱心も嚴正なる分房隔離より起るの助
援なきか爲めに其障害を受けしこと少しとせず女史がニューグレートに於ける第
一の成功は稍々此分房法に則とりしものあるによる女史は囚徒を十人若くは十
二人の小群に分ち其一群毎に一人の目付け役を同群中より撰み置けり此方法は
或便益と獄事上の進歩を與へたりと雖も終にはキヤプラン、マコノキイが實驗し
たるか如く此ニューグレートに於ても囚徒を群居せしむるより起るの弊害は自然
に發生し改心と行刑二者の上に大なる障害を與へたりミツセス、フライが實に尊
重したる聖書は其眞理を囚徒待遇の間に證明せり曰く惡き交りは善き行を傷ぶ

なり。若し當時監獄法をして今一層の完全なるを得せしめば女史の功績は管に今日の如きに止まらざりしなるべし。

過りたる反動の勢力

千八百三十八年に於て英國監獄の視察者として最も考察力に富めるミッセス、クロフト、オールド及ホウ井トウオールズ、ロツセルの二婦人は沈黙を嚴守する雜居法さへも之を排斥し斷乎として分房隔離の最も欠くべからざるを世に公にした。然るに間もなく輿論の大勢は過つて反動の方面に傾きたり是或著作家中にも嘲諷家の聞へあるトマス、カライルが其の慣手の冷嘲を以て分房法を誹謗し且つ種々の淺薄なる思想を吐露し以て分房法の非なるを言觸らせると千八百四十年チャーンズ、ヂッケンズが僅かに米國フィラデルフィアの一監獄を瞥見したるのみにて頻りに分房法の不可なるを唱道したりとによる氏は該監獄の一監房に就き一の日耳曼人を見しに其眼に涙を滿たせ口に憫れの言を吐きしより忽ち心を感はし穩當正則なる分房法までも之を一概に否定するの過ちに陥りたり然るにヂッケンズは彼の日耳曼囚徒に先ちて死せしも彼は却て其後四十二年も生き長

らへ千八百八十四年再び同しフィラデルフィア監獄に訪ひ來り願はくは此監獄に於て餘命を了はらしめ賜はし之れに過ぎたるの幸なしとて頻に入監の事を哀訴せしかば一時の慈悲心より終に其要求を許容することとなり彼は此監獄を恰も養老院の如くして數週間後に死去せり斯くてヂッケンズが過日苛刻の證言は全く其虛妄なるを現はせり去りながら英國及び他の國の輿論が大に分房隔離法の結果を誤表するの傾あるは蔽ふべからず而して此一般に流布せる反動的の意見は又大に行政官吏の尊重する所となり曩きに英國に於ける地方監獄の基礎となしつゝありし適當なる監獄法も之を嚴行せざるの傾向を生ぜしめたり。

分房隔離法の効驗に就き英國か有する幾分の名譽

千八百六十三年と千八百七十八年とに發布されたる英同監獄法なるものは實に地方監獄に於ても分房監禁の勝れることを法文上に認めたるものなり而して其法文の示すところを確然實行し若くは少くとも可及的法文の規定に離れざる様實行せし所に在りては大に社會に利益を及ぼしたり英國地方監獄に於て頻發する重なる弊害は法律の明文に於て囚徒を全く隔離せしむべしとの命令あるを實

際に緩慢視するより起るものなり例へば千八百八十八年に於てアイムリー監獄の囚徒が他の同囚を殺したるか如き其所以を尋ねるに三人の囚徒を雜居監禁せしに依るなり。

蘇格蘭の監獄に關しては該國に於ける大新聞が近頃其監獄費の甚だ不適當に多額なること、其遇囚法の餘りに中央集權なること、に付き多くの不平を洩したるあり、嘗に侯爵エルキン氏が千八百八十八年國會に於て蘇國の囚徒一人の費用千八百七十七年に於ては二十四磅なりしもの千八百八十六年に於ては三十磅十志まてに増加したるの一事を駁撃したるのみならずエヂンボローのスコットマン新聞は幼年囚と成年囚と相混じて監禁中若くは其監獄に護送せらるゝの途中に於て種々の弊害を醸生することあるを指摘せり。

公共事業を執らしむるの囚徒は多くは相群居して就業せしむるを常とするを以て其結果や甚だ恐るべきものあるを致せりと雖も是等の勞働を取締る重なる官吏中殊にフルイ、デューク、インサ、ウオーター、クロフトン、キャプラン、ダブリウ、エイチ、ハーロー、其他の有力なる人々が熱心に且有効なる盡力を以て群居勞働の弊を

矯めたることは予が斷言するに踴躍せざる所なり、之れが矯弊の法としては賞點表又は品行と勞働との度に應じ其待遇を進むるの方法を用ゐたり之れにより漸次囚徒の希望を誘起し殊に其身の品行次第にて本刑の大部分を假出獄監視放免等の法によりて減等せらるゝとを得せしめたる一事は大に彼等の改良を促したり千八百八十六年英國監獄局長ソル、エー、エフ、デューク、イン氏は、ハワード協會書記に向て地方監獄に關する一書を寄せたり其文中に曰く、分房隔離の法は決して現今の如く一般に且一轍に行はれたることなし、而して亦現今の如く其効を表はしたることなし、我英國の地方監獄は分房隔離法を實行せるなり、而して過る八年間に於て五十乃至六十の監獄を廢滅せしは畢竟分房監獄の効力あるを證するものなり、是れ監獄法として分房隔離の必要なることを證明するの公文と謂つべし、而して今一層普通に總ての監獄及囚徒に對して此法の必要なるを承認せらるれば今一層社會と犯罪者に向つて効力を有すべきなり。

英國已決監

長刑期囚に對し英國已決監に於ては囚徒の品行を接する如何役業を勉むる如何

に、囚り漸次男は本刑の四分の一、女は其三分の一を減刑せらるゝの機會を與へらる斯くて十二年刑に處せられたる男囚は九年にして其身の自由を得べく、(三年はの監視の下)女囚は八年にして其身の自由を得べし。

此終局の報酬に加へて囚徒は尙を所遇上、下等より上等に進むの特權を自家の働きに依て儲け得るなり入監後の第一年は即ち試縛の期にして九ヶ月間は分房内に獨居せしめらる若しも此期限内に於て七百二十の賞點を得たる者は第三等の階級に入り雜居勞役を執るを得斯くて少くも一ヶ年此階級に止まりて而して二千九百二十の賞點を得たるものは三年目に第二級の階級に入るを得其後更に二千九百二十の賞點を得るときは最高の階級即ち第一等に入るを得其第一等に於ても亦分階ありて之を特別階級と稱す此特別階級に入るものは本刑に一週間の減刑を與へらる。

一日に八つの賞點を得るを以て最高點となす第三等の階級に在りては囚徒は一ヶ月一志(シリング)の工錢と毎半年間に一度朋友の訪問を受くることを許さる第二等の階級にありては毎月一志六片を儲け粥の代りに茶を與へられ日曜日に運動時間

を長くせられ尙ほ接見書信の度數も増加せらる其第一等の階級にありては更に特許の範圍を擴められ食品等も一層良好に日曜日に於ても一層運動時間を永く與へられ而して一ヶ月に半クラオン(シリング)の金を儲くるを得しめらる茲に近年より殊に明星階級と名つくる一階級を設けて本刑以上全く刑辟に觸れたることなき者を入ることゝす而して此に入りたる者は尙ほ格段の特許を與へられ又他の囚徒と區別せん爲めに其衣服に赤き星票を着けらる。

一般に囚徒は最高の階級に入るを許さるゝの前に讀み書きを學ばざるべからず階級の異なるに從て其着衣も異なるなり此進歩的方法の實施は其監獄に於て懲罰の數を大に減するに至りたり是れ此方法の重なる効能にして官吏を助け且行刑の目的を達せしむるに功ありと謂つべし然りと雖も茲に常に記憶すべきは此法によりて囚徒の精神を改良すべしとの證據を得るの甚た難き一點なり實際最も大なる僞善者最も狡猾なる習慣的の盜賊が最も容易に是等の特權を享受するに至るは此法の欠點と謂つべしされば此法の價值あること大なりと雖も亦之を監督するの必要甚だ大なるを忘るべからず。

に、囚り漸次男は本刑の四分の一、女は其三分の一を減刑せらるゝの機會を與へらる斯くて十二年刑に處せられたる男囚は九年にして其身の自由を得べく(三)殘りのに(四)女囚は八年にして其身の自由を得べし。

此終局の報酬に加へて囚徒は尙を所遇上下等より上等に進むの特權を自家の働きに依て儲け得るなり入監後の第一年は即ち試縛の期にして九ヶ月間は分房内に獨居せしめらる若しも此期限内に於て七百二十の賞點を得たる者は第三等の階級に入り雜居勞役を執るを得斯くて少くも一ヶ年此階級に止まりて而して二千九百二十の賞點を得たるものは三年目に第二級の階級に入るを得其後更に二千九百二十の賞點を得るときは最高の階級即ち第一等に入るを得其第一等に於ても亦分階ありて之を特別階級と稱す此特別階級に入るものは本刑に一週間の減刑を與へらる。

一日に入つての賞點を得るを以て最高點となす第三等の階級に在りては囚徒は一ヶ月一志(一)工錢と毎半ヶ年間に一度朋友の訪問を受くることを許さる第二等の階級にありては毎月一志六片を儲け粥の代りに茶を與へられ日曜日に運動時間

を長くせられ尙ほ接見書信の度數も増加せらる其第一等の階級にありては更に特許の範圍を擴められ食品等も一層良好に日曜日にも一層運動時間を永く與へられ而して一ヶ月に半クラオンの金を儲くるを得しめらる茲に近年より殊に明星階級と名づくる一階級を設けて本刑以上全く刑辟に觸れたることなき者を入ることゝす而して此に入りたる者は尙ほ格段の特許を與へられ又他の囚徒と區別せん爲めに其衣服に赤き星票を着けらる。

一般に囚徒は最高の階級に入るを許さるゝの前に讀み書きを學ばざるべからず階級の異なるに従て其着衣も異なるなり此進歩的方法の實施は其監獄に於て懲罰の數を大に減するに至りたり是れ此方法の重なる効能にして官吏を助け且行刑の目的を達せしむるに功ありと謂つべし然りと雖も茲に常に記憶すべきは此法によりて囚徒の精神を改良すべしとの證據を得るの甚だ難き一點なり實際最も大なる偽善者最も狡猾なる習慣的の盜賊が最も容易に是等の特權を享受するに至るは此法の欠點と謂つべしされば此法の價值あること大なりと雖も亦之を監督するの必要甚だ大なるを忘るべからず。

英國地方監獄に於ても四つの段階を通じて漸次昇等せしむるなり而して一日に八ツの賞點を得るを以て賞點の最高度となす最初の階級にありては囚徒は工錢を儲くること能はず而して最も困難なる勞役と最も下等なる食物を與へられ夜に入りては疊を敷かざる板張の臥床に寝ねざるべからず(尤も毛布だけ)去れども此囚徒にして二百二十四個の賞點を得るときは第二の階級に進むとを得らるゝに進めば毎週五夜間は疊を許され加ふるに書を読み教育を受くることを得而して其階級にある全期間に於て一志を儲くることを得て日曜日に於ては特別の運動を許さる第三の階級に於ては(前の階級に在て更に二百二十四個の賞點を得れば此級に達す)板張りの臥床は只一週間に一夜のみにて一志六片を儲くるを得而して其他にも些少の特權を與へらる此上に尙ほ二百二十四個の賞點を得るに於ては即ち最高等の階級に進むとを得此に至れば板張の臥床は全く用ゆるなくして二志を儲くることを得而かも特段の良品行を有し又長刑期のものは二磅までは儲くるを得且通信接見讀書等の如きも段々其度數を加へらる英國の地方監獄は一日より二ヶ年迄の刑期囚を收監するものにて已決監は五年以上終身迄の刑期囚を收監するものなり。

以上の規則は是迄一般に英蘭愛蘭に實施せられたるものなるが愛蘭の既決監に於ては此法律實施前より既に幾分か此進歩的組織を施行したり而してキアアテ、マコノキ、及びバ、リヤの監獄官吏は尙ほそれより早く此方法を適用したり愛蘭の已決囚は其最高の階級に入れば英蘭又は米國に移住せしめらるゝを常とす。

佛蘭西以太利及合衆國

分房法の有効なる一明證は以太利佛蘭西及合衆國に於て此法を用ひざるが爲め又は初めより之なきが爲めに醸す處の害悪と費用の多額なるとに徴して知るところを得べし以上の三ヶ國に於ては一般に分房法を重んぜず何れも日中囚徒の雜居を差許すのみならず概して夜間と雖も之を許せり又是等の國々に於ては第一の必要として雜居勞役より生ずる眼前の收益に注目す而して之より得る所の金額も亦甚多額に達するなり去りながら佛國以太利及合衆國に於ては近年犯罪の數と其罪質の激烈なる度とは一般の人口よりは一層迅速なる割合を増加するに至れり是れ最も吾人を警戒するに足るものなりとす。

特に伊太利に就て吾人の怪訝に堪へざる所は該國に於ける犯罪の大原因は主と

して囚徒の維居、刑罰の緩慢、一般人民の愚昧等に存する者なるに該國行刑學者の間に一層實際的の注意を惹起せざるこれなり夫れ有名なる行刑學者ベルツラニ、スカリア、エム、ベリ、エム、ビー、エス、マンシニ、エム、ベツシナ、エム、エル、オノフリオ、エム、ロツキニ、エム、ビー、エレロ、エム、キアノ、エム、ブルサア、エム、ロンブローザ、其他の人々は皆伊國の民たるにあらずや吾人は彼の有名なる監獄改良の卒先者エム、ベツカリアの繼續者等が今一層適當なる隔離法の眞價を知りて之れに重きを置かんことを望むなり。

佛國に於ては人殺し、叛逆、盜賊、慣習的罪人の驚くべき増加を來し人民も立法府も之れが治療法を考慮せざるべからざるに至りければ終に其方法として千八百八十五年移住法なるものを發布して犯人を南洋諸島に移轉することゝなせり、米國に於ても亦犯罪の増加より多くの困難を経験したりしも感化院又は禁酒會の勢力大に犯罪の豫防上に助力を與へたり若し之れ微りせば罪惡の流行は尙今日よりも甚しきものあるべきなり。

合衆國に於ける犯罪人の勢力は其境域の絶大なるにも拘はらず多年間分房法監獄とてはフィラデルフィアの外他に之れなかりしより養成せられたるもの少しとせず而して此フィラデルフィア監獄すらも其分房法を十分に實行せば効驗更に大なるものあるべきに之を緩慢に附するの傾ありきされば米國社會改良家中にて最も敏慧なるオハイオ州のセラチル、プリンケルホフが千八百八十五年に於て「合衆國罪惡の潮流は驚くべき速力を以て滿ち來りつゝあり」と揚言せるも宜なりと謂つべし、千八百五十年に於ては合衆國の良民三千三百四十一人に對して囚徒は唯一人の割合なりしが千八百六十年に於ては良民千六百人に囚徒一人の割合となり千八百七十年に於ては良民千〇廿一人に囚徒一人の割合となり千八百八十年に至ては良民八百三十七人に對し囚徒一人の割合とまで増加したり、かかる結果を呈するの原因は其一部は維居監禁の弊に起因し又現在の收利に眼を著けて大局に及ばず個人的改良のみに偏して社會的救済に重きを置かざりしによるものなり、千八百八十八年シカゴの「トリビュン」雜誌は以上陳べたる事實を確むる統計表を公にせしが其中に合衆國に於て千八百八十一年には一千二百六十五人の人殺と六百〇五人の自殺者あり千八百八十六年に於ては千四百九十九人の

人殺しと九百十四人の自殺者あり而して千八百八十七年に於ては其數噸に増加して二千三百三十五人の人殺しと千三百八十七人の自殺者ありしとを示せり」

監房の構造 ———— エム、ピートルセン

或國に於ける分房法反對説の一材料は該法の濫用と弊害とに起因するや疑なし就中分房法監獄の建築場欠點より起るもの甚多し即ち監房の極めて小さきが爲か若くは闇黒なるが爲めなる故に分房法を實行せんとするには可及的大陽の光線と空氣の流通とに適當の注意を加へざるべからず或監獄に於ては此分房法施行上等の點には十分の注意をなせるものありと雖も他の監獄に於ては是等の諸點に就て甚だ不注意なるものあるは顯著なる事實なり、エム、リチャード、ピートルセンは那威國のクリスチヤニアに於て分房監獄の典獄として最も慈愛深き名を得たる人なり氏は監房内に光線を透射せしむると空氣を流通せしむると否とは分房法の成功に關する頗る大なるものありとなせり數年以前氏が噠馬國の各監獄を巡察せしときの如き監獄の大さと光線の必要とに就ては益々感動するところありき此監獄に於ける氏の觀察と探究とは氏をして自國の監獄に於ても同

様の改良をなすべきことを主張するに至らしめ而して其説を實行して果して其結果を收むることを得たり氏は再三囚徒を餘り小さく且闇黒なる監房内に殘酷にも籠鳥の如く閉ぢ込め置くことに反對を表したり是れ實際上多くの監獄に於て實行せらるゝ所に於て是れが爲め或論者をして一も二もなく分房法を攻撃するの傾きを生ぜしめればなり。

エム、ピートルセンは初期の輕罪囚に向ては頗る嚴重に分房法を施行するの必要を主張すと雖もラブランド人の如き甚だ愚昧なる半開人に向つて此法を適用するの可否に就ては疑を存することを言表はせり想ふに是等の入種に向ては嚴格なる分房監禁は其適當なるものにあらざるべし若し斯る場合に此法を適用せんとならば十分なる注意を以て取捨斟酌するを要す而して學説及實際に於ても極端に馳するの恐れ最も警むべきものありとす。

分房隔離法の費額及其經濟

或英國監獄の司獄官等は分房監禁は一般の罪囚に向つて効力ありと雖も懶惰なる慣習的窃盜に向ては殆んど其功なきことを觀察せり之は彼等窃盜者の最嫌惡

するものは労働にして労働をさへ免れ得べくんば隔離監禁は意とせさればなり。夫れ分房囚の勞役は輕易なるなり去りながらベントンツイル監獄其他に於ける囚徒は初期の分房監禁を免れて野外に就業するを喜ぶなり之を要するに分房隔離は實に監禁の目的を達するの上に於て最も適當なるものなり。

さて適度に光線を入れ空氣を流通し且暖にして身體に適するの監房を造るには頗る多額の費用を要することは分房法實施上に一大障害を與ふるものなり然りと雖も之を大局より觀察するときには其初め多額の費用を要するに拘はらず何れの監獄法よりも此分房法の經濟的なるを記憶せざるべからず蓋し之を全體より論ずるときは他の監獄法よりも囚徒の入監を比較的減少し即ち犯罪人の數を一般に減ずること確なればなり是れ眼前の入費を節減するよりは寧ろ監獄法の大目的となす所にあらずや大局の良効は大局の經濟にして此結果は二つの勢力の作用より起る而して是れ分房隔離に特有の効果と謂ふべきなり二つの勢力とは第一行刑上の効力著大なるが故に罪惡の勢力を殺ぎ且之を滅却せしむるなること第二よし時としては吾人が希望の如く囚徒を改良し且之を懲戒するの目的

を達し得ざるも入監の當時よりも更に一層の墮落を來し又罪惡に浸染せしむるの患はこれなきこと。

尤も之を大觀するに以上二つの點に於ても從來用ひられたる雜居法に比する時は遙に良効を奏すと雖も而かも精神改良の効力に於ては尙ほ一層の多きを望まざるべからず抑も監禁なるものは如何なる方法によるも精神上の改良に對しては只準備と刺激の力を與ふるに過ぎざるなり如何となれば克己自活信用及び自ら勞して自ら糊すると云ふが如き改心上の要素は必ずや不羈自由の狀態にあらずんば活用すべからざればなり。

されば監禁なるものは其如何なる種類なるを問はず其効果の絶頂や甚だ制限せられたるものにて分房法を適當に施行するときには最も間近く其制限點に達するを得るなり即ち罪囚の數を滅却するに於ては他の監禁法よりも格段に經濟的なるなり勿論大酒及貧困を減ずる爲めに必要なる豫防的事業は此法と共に盛ならしめざるべからず。

凡て監禁なるものは之を最も最負目に視るも或弊害を以て伴はるゝを免れず然

しながら短く鋭く而かも確實なる執行法は最も有力なるものなり此執行法は只分房隔離に依るのみ安全に嚴格に而も慈愛を以て施行することを得べし而して短刑期犯罪者に向つて再三一様の刑を施行するは害ありて利なし刑罰は漸次に而かも確實に之を加重するを要す是れ實驗に徴して罪惡防遏上有効なる一條件なり斯く漸次段階を経て刑を執行するの法はかの同様の短刑期を再三施行し或は又俄に刑期の度を増加するが如き不確實なるものよりは其効力の優ること大なりと謂つべし。

一般に社會に對するの犯罪は少くも其四分の三は輕罪犯なりとす之を處するに單純なる分房隔離若くは漸次刑期を加重するの分房監禁法により短期にして而も嚴正なる監禁を以てするを最も良法となすべし而して分房監禁の最長期限は其犯行の極めて重惡なるものにて一犯罪に對して滿二十年を超過すべからざるは大英國及瑞典の監獄に於て既に證認せられたる所なり。

去りながら大英國にても犯罪者に對して漸次其刑期を確實に加重すると共に監視附にて假出獄を許す等の整理法を立つるに不行届なりき若し此の點にして整

理したらんには二十年の監禁は其必要を見るとなかるべし而して短刑期は再犯以後の加重刑に其威嚴を減殺せしむとの從來の經驗も其實なからしむるを得べきなり余がアムステルダムの尊きエムジュリッガー氏を其病に罹るの前一年に訪問したりし時氏が余に談話したる所は深く余を感動せしめたり氏曰く余は殆ど五十年の間罪惡鎮滅に關する官務に従ひたり余は常に監獄問題に對して多くの觀察と研究の機會を有するを得たり余が家の數室は殆んど監獄上の文書に依りて充溢するほどなり而して余が此長年月間の觀察と攻究とよりして決斷し得たるの論結は罪惡鎮滅の目的を達するに於て唯一の有力法は囚徒をして互に相隔離せしむるの主義にありとの事是なり尤も他に種々の方法を講じ或は一時人望に適ふの監獄法を案出し或は有力なる人々に維持せらるゝ者ありと雖も概ね其本來の成立に於て大欠點あるを以て到底其失敗を免るべからざるなりしと爾來余は多くの實驗家と往來し又多數の監獄を巡察し且又監獄問題に就て多く讀み多く考へ斯くて考察を積むに従ひ益々彼エムジュリッガーの論結の肯綮に當れるを確信するに至れりそも精神の廣潤なると一時の感情に支配せられざる